
「子ども・子育て支援に関する県民ニーズ調査」

報 告 書

平成26年3月

新潟県 福祉保健部 児童家庭課

< 目 次 >

第1部 「子ども・子育て支援に関する県民ニーズ調査」の概要

1. 調査の目的	1
2. 調査の実施概要	1
3. 調査結果の概要	2

第2部 「子ども・子育て支援に関する県民ニーズ調査」の結果

1. 回答者の属性	
(1) 性別・年齢	8
(2) 居住地	9
(3) 職業	10
(4) 結婚の状態	11
(5) 家族構成	12
(6) 子どもの状態	13
2. 子育てや子どもに関することについて	
(1) 子育ての印象	15
(2) 子どもがいる生活で良いと思うこと	16
(3) 理想とする子どもの人数	17
(4) 実際の子どもの人数	18
(5) 実際の子どもの人数が、理想とする子どもの人数よりも少ない理由	19
(6) 子育て支援策に対するニーズ	20
(7) 特に重視する子育て支援策	46
3. 育児休業について	
(1) 育児休業の申請	47
(2) 育児休業の取得	50
(3) 社会的に育児休業制度が推進されるための条件	55
4. 仕事と家庭生活について	
(1) 仕事と家庭生活のバランスについて	56
(2) 子どもとのふれあい時間について	59
(3) 家事・育児の分担	62
5. 子育てへの支出について	
(1) 世帯収入	66
(2) 子育てのための費用	67
(3) 行政に望む子育てに対する経済的支援対策の制度	70

6. 結婚について	
(1) 結婚に対する意識	71
(2) 未婚または独身の理由	72
(3) 結婚しやすい環境の整備として望むこと	73
7. 育児について	
(1) 子育てに関する不安・悩み	74
(2) 子育てに関する情報	75
(3) 子育てに関する相談相手	77
(4) 子どもが病気の時の対応	78
(5) 保育所について	80
(6) 学童保育について	100
(7) 各種子育て支援サービスについて	101
8. 自由意見	105

(参考資料) 県民アンケート調査票

[注釈]

本報告書における「前回」及び「前々回」の調査年月は以下のとおり

[前回調査]

「少子化対策に関する県民意識・ニーズ調査」報告書（平成22年1月）

【平成21年12月調査実施】

[前々回調査]

「少子化対策に関する県民意識・ニーズ調査」報告書（平成15年10月）

【平成15年5月調査実施】

(余白)

第 1 部 「子ども・子育て支援に関する県民ニーズ調査」の概要

1. 調査の目的

本調査は、少子化が急速に進行するなか、県民を対象としたアンケート調査を実施することによって、新潟県における少子化の実態や少子化問題に対する意識等を把握すると同時に、県民が安心して子どもを産み育てることができる環境づくりや、仕事と子育ての両立支援体制の整備等、今後の子育て支援環境整備に関する方向性を専門的に検討するための基礎資料とするものである。

2. 調査の実施概要

(1) 調査の対象

新潟県内各自治体の住民基本台帳に基づいて、平成 25 年 8 月 1 日現在で 20 歳以上 50 歳未満の男女個人 3,000 人を無作為に抽出（層化二段無作為抽出）し、調査の対象とした。

(2) 調査の時期

平成 25 年 8 月 26 日～9 月 13 日

(3) 調査の項目

子育てに関する意識、理想とする子どもの人数と実際の子どもの人数、育児休業制度の認知状況、結婚に対する意識、子育てに関する不安や悩み、家事や育児の負担感、充実を希望する子育てサービス等 計 57 項目

(4) 調査の方法

対象者に調査票を郵送、無記名回答方式にて、郵送による回収を行った。

(5) 調査票の回収結果

調査票の配布数及び回収状況は、以下の通りである。

配 布 数	3,000 人
有効回答数	1,073 人
有効回答率	35.8 %

3. 調査結果の概要

(1) 回答者の属性について

①結婚の状態（問5）

■「現在、結婚している」が61.2%、「未婚である」が33.6%、「かつて結婚していたが、現在は独身である」が5.1%となっている。

②子どもの状態（問7）

■子どもは「いない」の割合は41.2%となっている。

■子どもの人数は、「2人」の割合が29.6%と最も高く、次いで「1人」が16.4%、「3人」が10.0%と続いている。

(2) 子育てについて

①子育ての印象（問9）

■「とても楽しい（とても楽しそうだ）」が26.6%、「楽しい（楽しそうだ）」が47.8%となっており、子育てに楽しさを感じている人が全体の7割超となっている。これに対して、「あまり楽しくない（楽しそうでない）」は3.2%、「全然楽しくない（全然楽しそうでない）」は1.9%となっているほか、「どちらでもない」が20.0%となっている。

②子どもがいる生活で良いと思うこと（問10）

■「家庭が明るく楽しい」が74.4%と最も高く、以下「親としての喜びや楽しみが得られる」が69.2%、「子育てを通じて自分が成長する」が57.3%、「生活に張り合いができる」が54.4%と続いている。

③理想の子どもの人数と実際の子どもの人数（問11～問13）

■理想とする子どもの人数は、「2人」が44.9%と最も高く、次いで「3人」が34.1%となっており、両者の合計で全体の約8割を占めている。

■今後の予定も含めた実際の子どもの人数は、「2人」が39.7%と最も高く、次いで「1人」が15.4%、「3人」が12.1%と続いている。

■実際の子どもの人数が、理想とする子どもの人数よりも少ない要因としては、「大学教育に対する教育費にお金がかかるから」が36.2%と最も高く、次いで「保育所や幼稚園の保育料にお金がかかるから」が28.8%、「高等学校教育に対する教育費にお金がかかるから」が28.1%、「年齢的に妊娠・出産が難しいから」が27.6%と続いている。

④子育て支援策に対するニーズ（問14～問15）

■支援策に対するニーズの上位5支援策は、「教育費用の軽減」の割合が29.0%と最も高く、以下「子育てに理解のある職場環境の整備」が23.0%、「税負担の軽減」が22.6%、「保育所や幼稚園の保育料の軽減」が17.5%と続いている。

■教育費や保育料などの経済的な負担軽減に対する支援要望が上位を占めているほか、職場環境の整備や育児休業などへの支援要望も上位を占めている。

(3) 育児休業について

① 育児休業の申請のしやすさ (問 16～問 18)

- 「申請しにくい」(32.6%)、または「少し申請しにくい」(13.0%)の合計(『申請しにくい』)は45.6%となっている。それに対して、「まあまあ申請しやすい」(22.2%)、「申請しやすい」(19.6%)の合計(『申請しやすい』)は41.8%で、『申請しにくい』という割合が上回っている。
- 申請しにくい理由は、「制度はあっても申請しない慣習があるため」の割合が44.5%と最も高く、以下「同僚同士で遠慮があるため」が30.6%、「上司の理解がないため」が26.5%、「職場復帰する時に待遇が悪くなるため」が19.6%と続いている。
- 妊娠、出産、育児を理由に退職した経験(又は退職する意向)については、「このような経験(予定)はない」の割合が61.4%を占めるなか、「自分で望んで退職した経験がある」が13.9%、「自分では望まなかったが退職した経験がある」が6.5%となっている。

② 取得したい育児休業の期間 (問 19～問 20)

- 取得したい育児休業の期間は、「生後1年まで」の割合が26.0%と最も高く、以下「取得しない」が18.5%、「生後2年まで」が14.4%、「生後3年まで」が12.2%と続いている。
- 実際に取得する(あるいは、取得した、取得する予定の)育児休業の期間は、「生後1年まで」の割合が30.0%と最も高くなっている。

③ 育児休業取得の際の不安の要因 (問 21)

- 不安の要因としては、「復帰後、子どもが病気になった時の対応をどうするか」の割合が56.5%と最も高く、以下「仕事のことで職場に大きな迷惑をかけていないかどうか」が50.1%、「休業していた期間の仕事の変化などに対応できるかどうか」が47.4%と続いている。

④ 育児休業中の生活の感想 (問 22)

- 育児休業中の生活の感想としては、「子どもと一緒にいられて楽しかった」が31.3%と最も高く、次いで「経済的な不安を感じた」が12.1%となっている。

⑤ 育児休業を申請しない理由 (問 23)

- 育児休業を申請する意向がない人の理由としては、「経済的に困難になるため」の割合が35.4%と最も高く、以下「制度があっても、申請しにくい」が34.3%、「職場の同僚に迷惑をかけるため」が32.3%と続いている。

⑥ 社会的に育児休業制度が推進されるための条件 (問 24)

- 「休業期間中の経済的保障」の割合が61.6%と最も高く、以下「職場における管理職の理解」が61.3%、「職場における同僚の理解」が50.1%、「育児休業を推進する事業主への経済的支援」が40.3%と続いている。

(4) 仕事と家庭生活について（子どもがいる人を対象）

①仕事と家庭生活のバランスについて（問 25～問 27）

- 仕事と家庭生活のバランスに関しての希望するスタイルは、「仕事と家庭生活を両立させたい」の割合が 49.6%と最も高く、次いで「仕事も行うが、家庭生活を優先させたい」が 37.1%で続いている。
- 仕事と家庭生活のバランスに関しての実際のスタイルは、「家庭生活にも関わっているが、仕事などを優先させている」の割合が 34.7%と最も高く、次いで「仕事と家庭を両立させている」が 25.6%、「仕事も行うが、家庭生活を優先している」が 22.9%で続いている。
- 自身のバランススタイルに対する満足度は、「満足している」(11.1%)、「どちらかといえば満足している」(30.6%)の合計（『満足』）は 41.7%となっているのに対し、「どちらかといえば不満である」(19.2%)、「不満である」(6.2%)の合計（『不満』）は 25.4%と、『満足』の割合が上回っている。

②子どもとのふれあい時間（問 28～問 30）

- 子どもとのふれあい時間に関しての希望する時間は、「2 時間以上 3 時間未満」の割合が 27.4%と最も高く、次いで「1 時間以上 2 時間未満」が 21.3%で続いている。
- 子どもとのふれあい時間に関しての実際の時間は、「2 時間以上 3 時間未満」の割合が 21.4%と最も高く、次いで「1 時間以上 2 時間未満」が 21.0%で続いている。
- ふれあう時間に対しての満足度は、「満足している」(15.7%)、「どちらかといえば満足している」(28.3%)の合計（『満足』）は 44.0%となっているのに対し、「どちらかといえば不満である」(18.1%)、「不満である」(10.1%)の合計（『不満』）は 28.2%と、『満足』の割合が上回っている。

③家事・育児の分担（問 31～問 33）

- 家事・育児の分担スタイルは、「女性が中心となって行っているが、男性も手伝う」の割合が 59.4%と最も高く、次いで「女性が行っている」が 24.5%と続いている。
- 家事・育児に対する負担感は、「非常に感じている」(12.2%)、「少し感じている」(34.9%)の合計（『負担に感じている』）は 47.1%となっているのに対し、「あまり感じていない」(24.2%)、「全然感じていない」(5.8%)の合計（『負担に感じていない』）は 30.0%と、『負担に感じている』の割合が上回っている。
- 配偶者との家事・育児の分担に対する満足度は、「満足している」(14.6%)、「どちらかといえば満足している」(29.0%)の合計（『満足』）は 43.6%となっているのに対し、「どちらかといえば不満である」(14.9%)、「不満である」(8.0%)の合計（『不満』）は 22.9%と、『満足』の割合が上回っている。

④自分の時間を取得するために必要な条件（問 34）

- 自分が希望する時間を確保するために必要な条件としては、「育児休業や短時間勤務など、仕事と家事・育児を両立するための制度が整備されること」が 53.3%と最も高く、以下「保育所など仕事と子育てを両立するための施設が整備されること」が 30.2%「配偶者が家事・育児などに参加すること」が 25.8%と続いている。

(5) 子育てへの支出について（子どもがいる人を対象）

①世帯収入（問 35）

■家庭全体での収入は、「200万円～400万円未満」の割合が31.4%と最も高く、次いで「400万円～600万円未満」が28.3%と続いている。

②子育てのための費用（問 36～問 38）

■子育て費用の月間支出額は、「1万円～5万円未満」の割合が34.9%と最も高く、次いで「5万円～10万円未満」が32.3%と続いている。

■子育て費用の負担感は、「非常に重く感じる」(26.7%)、「少し重く感じる」(36.8%)の合計（『負担に感じる』）は63.5%となっているのに対し、「あまり重く感じない」(12.0%)、「全然重く感じない」(2.6%)の合計（『負担に感じない』）は14.6%と、『負担に感じる』割合が上回っている。

■家計に占める子育て費用の割合に関して、「もっと子育てにお金をかけたい」(10.7%)、「もう少し子育てにお金をかけたい」(22.6%)の合計（『お金をかけたい』）は33.3%となっているのに対し、「もう少し子育てのお金を減らしたい」(28.5%)、「もっと子育てのお金を減らしたい」(10.6%)の合計（『負担を減らしたい』）は39.1%と、『負担を減らしたい』とする割合が上回っている。

③子育てに対する経済的支援（問 39）

■行政に望む、子育てに対する経済的支援対策としては、「大学教育に対する教育費の軽減」の割合が44.6%と最も高く、次いで「保育所や幼稚園の保育料の軽減」が40.0%、「高等学校教育に対する教育費の軽減」が37.8%と続いている。

(6) 結婚について（未婚者を対象）

①結婚に対する意識（問 40）

■「結婚したい」(41.9%)、「どちらかといえば結婚したい」(27.5%)の合計（『結婚したい』）は69.4%となっているのに対し、「どちらかといえば結婚したくない」(4.3%)、「結婚したくない」(5.1%)の合計（『結婚したくない』）は9.4%と、『結婚したい』とする割合が上回っている。

②未婚または独身の理由（問 41）

■未婚または独身でいる理由としては、「相手が見つからないから」の割合が50.8%と最も高く、「給与が少ない、または不安定だから」が22.2%、「自由さや気楽さを失いたくないから」が17.1%、「結婚生活に自信がないから」が15.9%と続いている。

③結婚しやすい環境整備として望むこと（問 42）

■結婚しやすい環境を整えるために望むこととしては、「出会いの場（婚活イベントなど）の創出」の割合が37.6%で最も高く、「福利厚生制度の充実（結婚祝金、結婚休暇など）」が27.5%、「住宅費用の支援」が23.9%、「結婚が望ましいと思える気運の醸成」が19.3%と続いている。

(7) 育児について（子どもがいる人のみ対象）

①子育てに関する不安・悩み（問 43）

■子育てに関する不安・悩みは、「自分の自由な時間が持てない」の割合が 43.5%と最も高く、次いで「子育てで出費がかさむ」が 38.1%、「子どもが病気の時の対処に不安がある」が 32.3%と続いている。

②子育てに関する情報（問 44～問 45）

■子育てに関する知識や情報の入手先は、「友人・知人」の割合が 68.5%と最も高く、次いで「親・配偶者・兄弟姉妹・親戚」が 67.8%と続いている。

■入手したい情報は、「子どものしつけや教育に関すること」の割合が 53.3%と最も高く、次いで「子どものけがや病気に関すること」が 49.3%と続いている。

③子育てに関する相談相手（問 46）

■日ごろの子育てに関する相談相手は、「配偶者」の割合が 68.3%と最も高く、次いで「自分の親」が 58.6%と続いている。

④子どもが病気の時の対応（問 47～問 48）

■子どもが病気になった時に主に看病する人は、「母親」の割合が 81.6%と、圧倒的に高くなっている。

■子どもが病気になった時に困ることは、「仕事を休めない」の割合が 46.6%と最も高く、次いで「どうすればよいか、自信がない」が 20.6%、「子どもを見てくれる人がいない」が 17.9%と続いているほか、「特にない」の割合も 20.6%となっている。

⑤保育所について（問 49～問 53）

■保育所入所時に重視することがあったかどうかは、「ある（あった）」が 42.9%、「ない（なかった）」が 18.7%、「選ぶ余地はない」が 21.4%となっている。

■保育所の選択時に重視する事項があったと回答した 268 人を対象に、重視した具体的な内容を尋ねたところ、『非常に重視する』または『やや重視する』の割合が最も高かった項目は、「子どもの送迎に便利か」（非常に重視する：66.4%、やや重視する：25.4%）となっており、次いで「自宅から近いか」（同 67.9%、22.8%）、「利用する時間の融通がきくか」（同 50.7%、33.6%）と続いている。

■朝の開所時間に対する希望は、「午前 7 時から 7 時 29 分」の割合が 33.4%と最も高く、次いで「午前 7 時 30 分から 7 時 59 分」が 26.4%と続いている。

■夕方の閉所時間に対する希望は、「午後 6 時 30 分から 6 時 59 分」の割合が 20.8%と最も高く、次いで「午後 7 時から 7 時 29 分」が 18.6%と続いている。

■保育所の開所時間と就労時間等について、希望する実態と合致しているかどうかは、「出勤時間に十分間に合う時間である（であった）」が 43.8%となっているのに対し、「出勤時間にギリギリ間に合う時間である（であった）」が 19.8%、「出勤時間に間に合わない時間である（であった）」が 15.4%となっている。

■保育所の閉所時間と就労時間等について、希望する実態と合致しているかどうかは、「退社時間後、迎えに行くのに十分間に合う時間である（であった）」が 35.2%となっているのに対し、「退社時間後、迎えに行くのにギリギリ間に合う時間である（であった）」が 21.0%、「退社時間後、迎えに行くのに間に合わない時間である（であ

った)」が22.7%となっている。

- 保育所に対して望むことは、「病児・病後児保育を実施して欲しい」の割合が32.8%と最も高く、次いで「土曜日も開設して欲しい」が26.7%、「開設時間を延長してほしい」が25.0%、「保育士の質を向上させてほしい」が24.6%と続いている。

⑥学童保育について（問54）

- 学童保育に対する希望は、「利用できる学年を延長してほしい」の割合が16.6%と最も高く、次いで「土曜日も開設して欲しい」が13.6%、「開設時間を延長してほしい」が12.3%と続いている。

⑦各種子育て支援サービスについて（問55～問56）

- 各種子育て支援サービスに対する満足度は、『満足している』または『ほぼ満足している』の割合が最も高かった項目は、「保育所の朝・夕の開所・閉所時間を延長する制度（延長保育）」（満足している：14.0%、ほぼ満足している：25.0%）となっており、次いで「幼稚園で時間を延長して園児を預かる制度（預かり保育）」（同10.5%、26.2%）、「放課後に就労家庭の小学生を預かる制度（放課後児童クラブ）」（同7.6%、26.2%）と続いている。
- 特に取り組みを進めて欲しい支援サービスは、「公園・児童遊園等、子どもが遊ぶための広場（屋外遊戯場等）の設置」の割合が30.6%と最も高く、次いで「児童館等、子どもが遊ぶための建物（屋内施設・遊戯場等）の設置」が30.4%、「病気の子どもや、病気回復期にある子どもを専用施設で預かる制度（病児・病後児保育）」が29.4%と続いている。

第2部 「子ども・子育て支援に関する県民ニーズ調査」の結果

1. 回答者の属性

(1) 性別・年齢

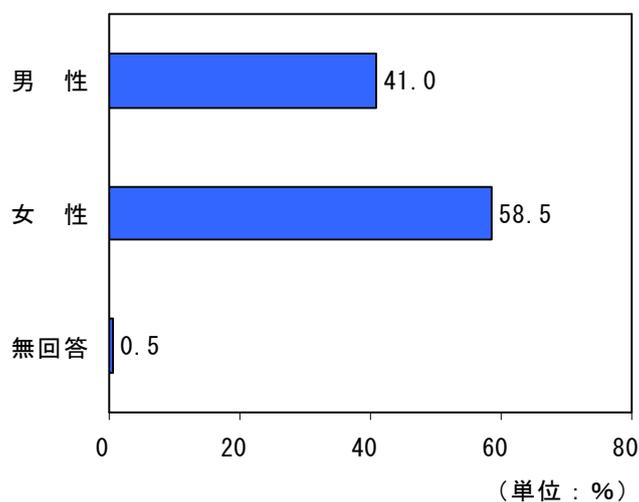
問1 あなたの性別をお聞かせください。

問2 あなたの年齢をお聞かせください。

回答者の内訳を性別にみると、「男性」が41.0%、「女性」が58.5%となっている。
年齢別にみると、「45～49歳」の割合が22.8%と最も高く、以下「35～39歳」が21.0%、「40～44歳」が18.9%、「30～34歳」が16.1%、「25～29歳」が12.2%、「20～24歳」が8.5%と続いている

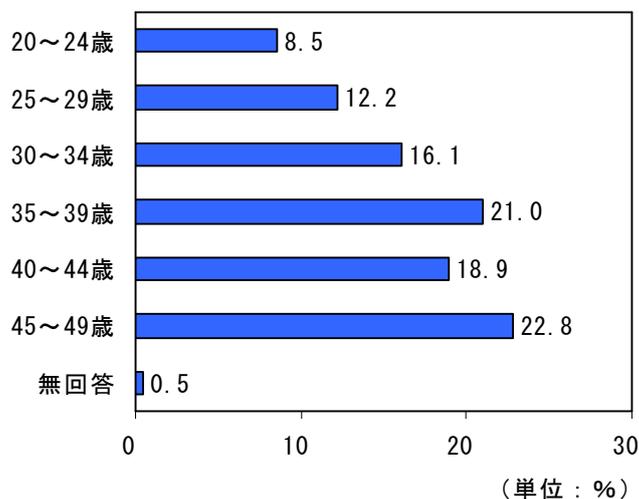
回答者の性別内訳

全体 (N=1,073)



回答者の年齢別内訳

全体 (N=1,073)



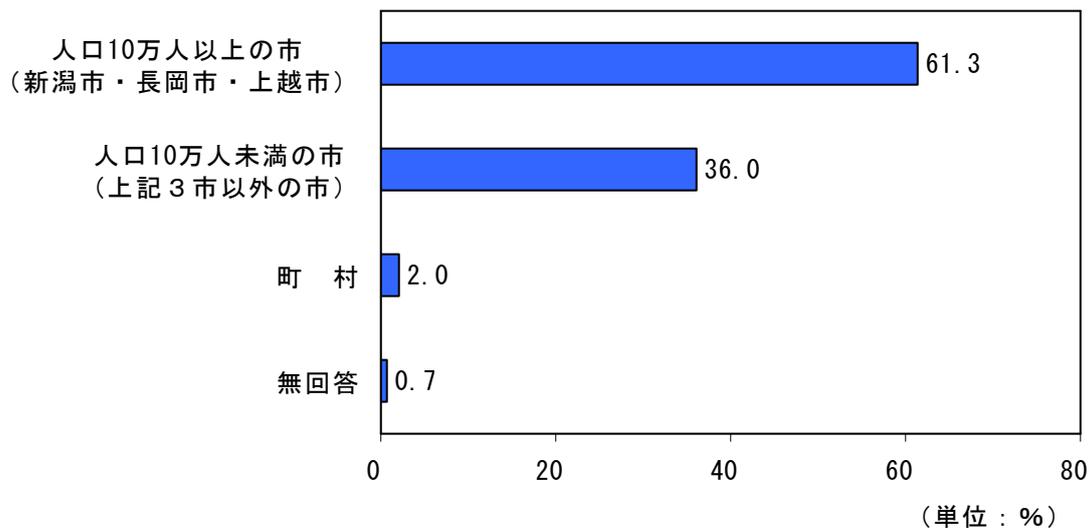
(2) 居住地

問3 あなたがお住まいの市町村はどちらですか？お住まいになられている市町村名をご記入ください。（新潟市にお住まいの方は、区名まで記入してください。）

回答者の居住地を市町村の特性別にみると、「人口10万人以上の市＝新潟市・長岡市・上越市」が61.3%、「人口10万人未満の市」が36.0%、「町村」が2.0%となっている。

回答者の居住地別内訳

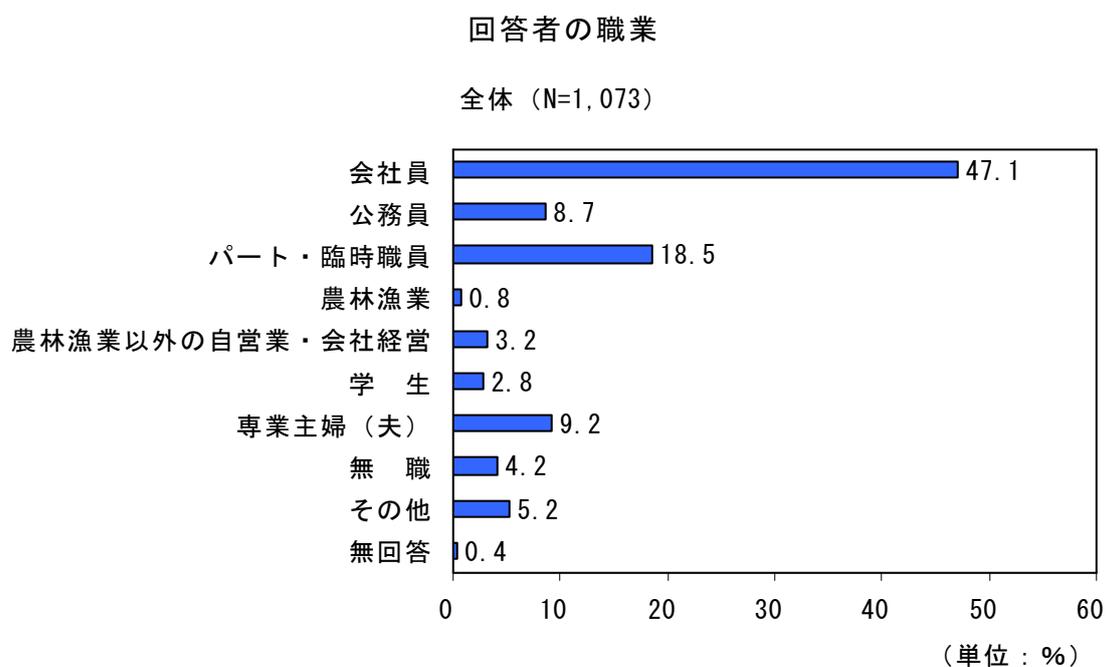
全体 (N=1,073)



(3) 職業

問4 あなたのご職業は何ですか？（複数の職業をお持ちの方は、最も収入の多いものに1つだけ○印を付けてください。）

回答者の職業をみると、「会社員」の割合が47.1%と最も高く、以下「パート・臨時職員」が18.5%、「専業主婦（夫）」が9.2%、「公務員」が8.7%と続いている。



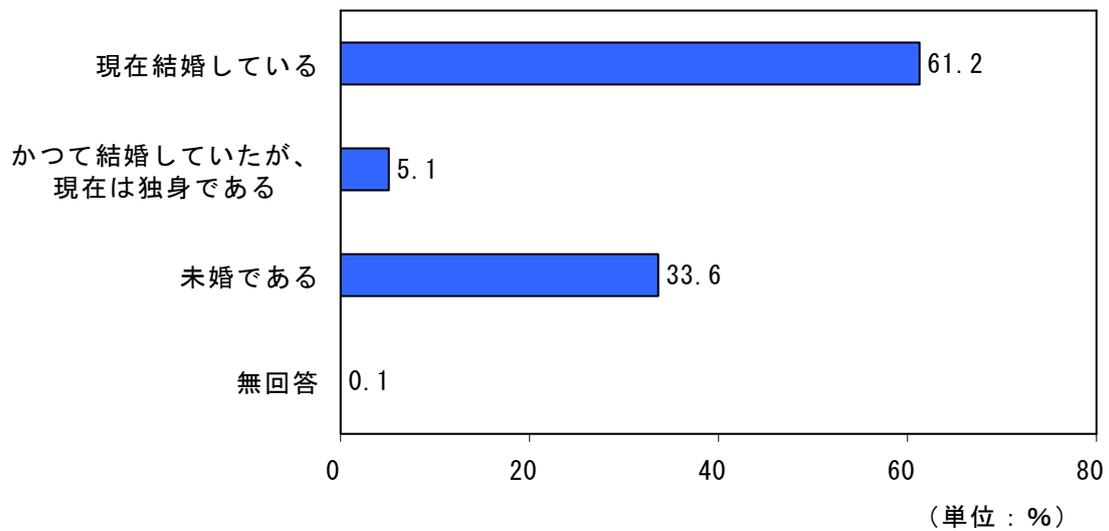
(4) 結婚の状態

問5 あなたは現在、結婚していますか？あるいはこれまでに結婚していたことがありますか？当てはまる番号に1つだけ○印を付けてください。

回答者の結婚（既婚・未婚）の状態をみると、「現在、結婚している」が61.2%、「未婚である」が33.6%、「かつて結婚していたが、現在は独身である」が5.1%となっている。

結婚（既婚・未婚）の状態

全体 (N=1,073)



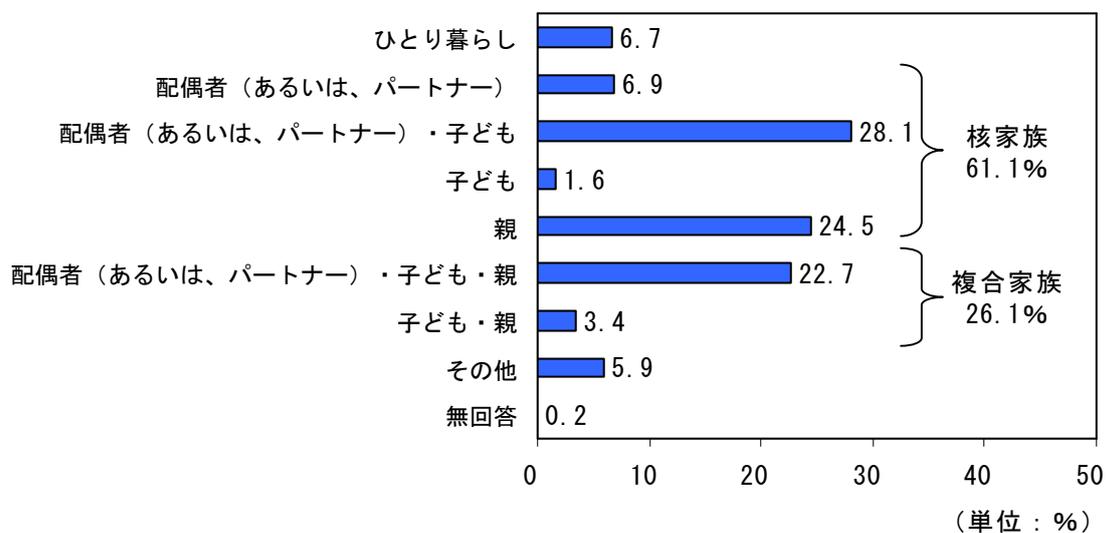
(5) 家族構成

問6 あなたは、どなたと同居していますか？次の中から、当てはまる番号に1つだけ○印を付けてください。

回答者の家族構成をみると、「配偶者（あるいは、パートナー）・子ども」の割合が28.1%と最も高く、次いで「親」が24.5%、「配偶者（あるいは、パートナー）・子ども・親」が22.7%と続いている。

回答者の家族構成

全体 (N=1,073)



(6) 子どもの状態

①子どもの人数

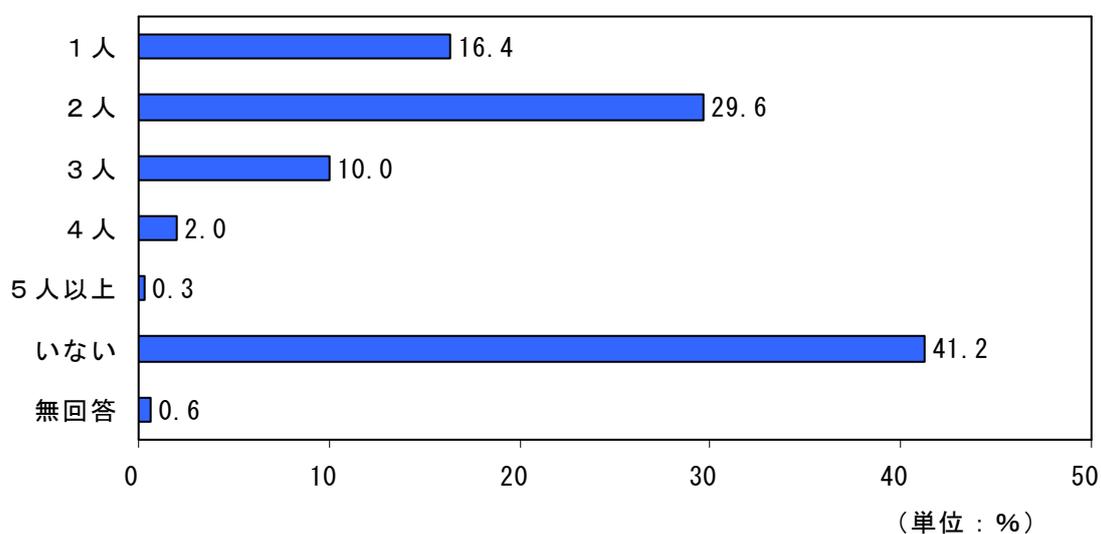
問7 子どもを何人お持ちですか？次の中から、当てはまる番号に1つだけ○印を付けてください。

回答者の子どもの人数をみると、「2人」の割合が29.6%と最も高く、次いで「1人」が16.4%、「3人」が10.0%と続いている。

一方で、子どもは「いない」の割合は41.2%となっている。

子どもの人数

全体 (N=1,073)



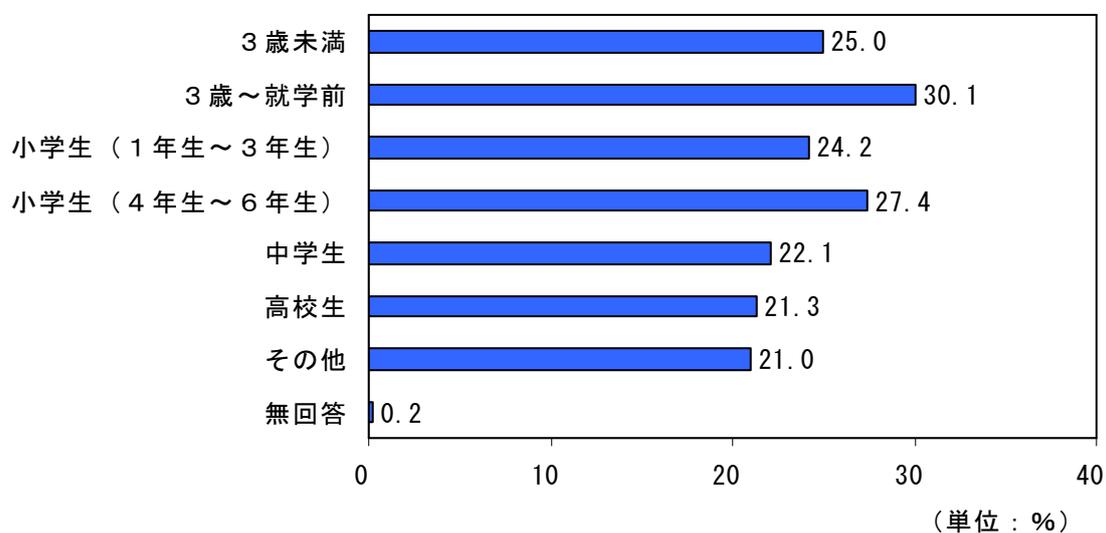
②子どもの年齢

問 8 子どもをお持ちの方にお聞きします。あなたの子どもの年齢は、次のどの項目にあてはまりますか？すべての子どもについて○印を付け、□に人数をご記入ください。

「子どもがいる」と回答した 625 人を対象に、子どもの年齢を尋ねたところ（複数回答）、「3歳～就学前」の割合が 30.1%と最も高く、次いで「小学生（4年生～6年生）」が 27.4%、「3歳未満」が 25.0%、「小学生（1年生～3年生）」が 24.2%、「中学生」が 22.1%、「高校生」が 21.3%と続いている。

子どもの年齢（複数回答）

全体（N=625）



2. 子育てや子どもに関することについて（全員）

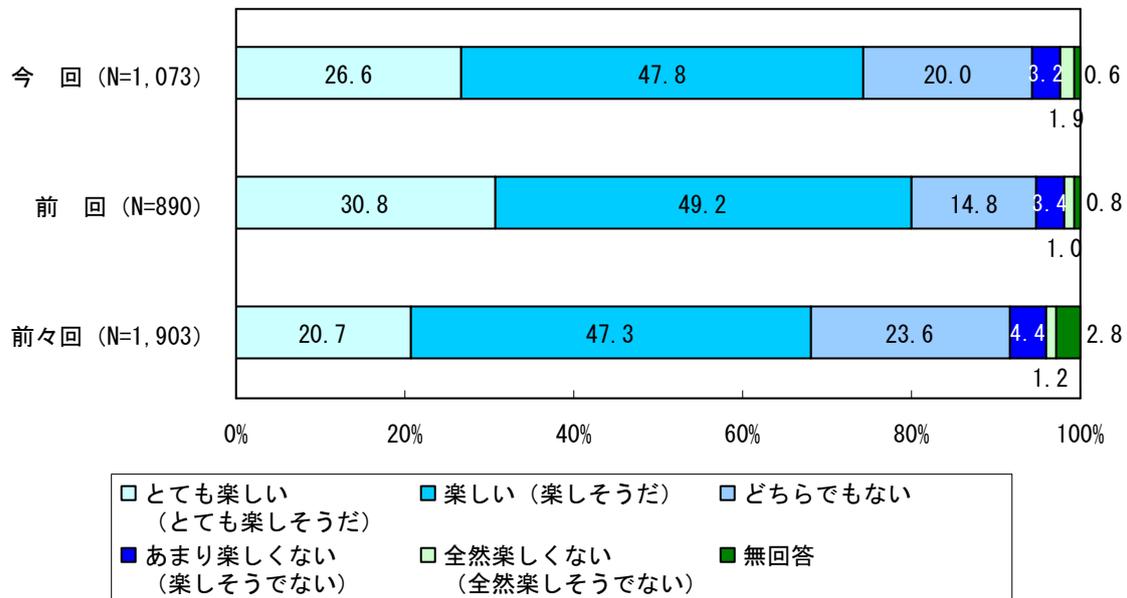
（1）子育ての印象

問9 あなたは、子育てを楽しい、または将来、子どもをお持ちになった場合に楽しそうだと感じていますか？次の中から、当てはまる番号に1つだけ○印を付けてください。

すべての人を対象に、子育てに対する印象について尋ねたところ、「とても楽しい（とても楽しそうだ）」が26.6%、「楽しい（楽しそうだ）」が47.8%となっており、子育てに楽しさを感じている人が全体の7割超となっている。これに対して、「あまり楽しくない（楽しそうでない）」は3.2%、「全然楽しくない（全然楽しそうでない）」は1.9%となっているほか、「どちらでもない」が20.0%となっている。

前回調査と比較すると、子育てに楽しさを感じている人の割合は5.6%減少している。

子育ての印象



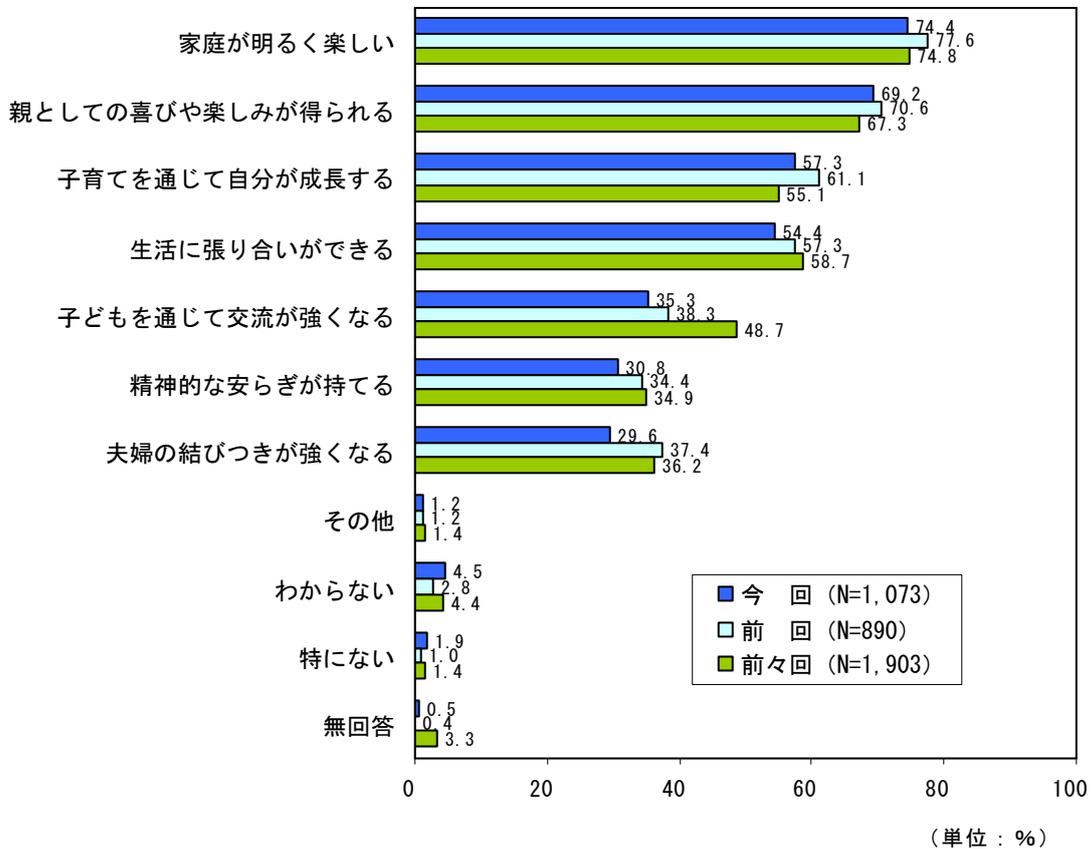
(2) 子どもがいる生活で良いと思うこと

問 10 子どもがいる生活で良いと思う、または将来、子どもをお持ちになった場合に良さそうだと思うのはどんなことですか？次の中から、当てはまる番号にすべて○印を付けてください。

すべての人を対象に、子どもがいる生活で良いと思うことを尋ねたところ（複数回答）、「家庭が明るく楽しい」が74.4%と最も高く、以下「親としての喜びや楽しみが得られる」が69.2%、「子育てを通じて自分が成長する」が57.3%、「生活に張り合いができる」が54.4%と続いている。

前回調査と比較すると、順位を含め、上位の項目に大きな異同はみられない。

子どもがいる生活で良いと思うこと（複数回答）



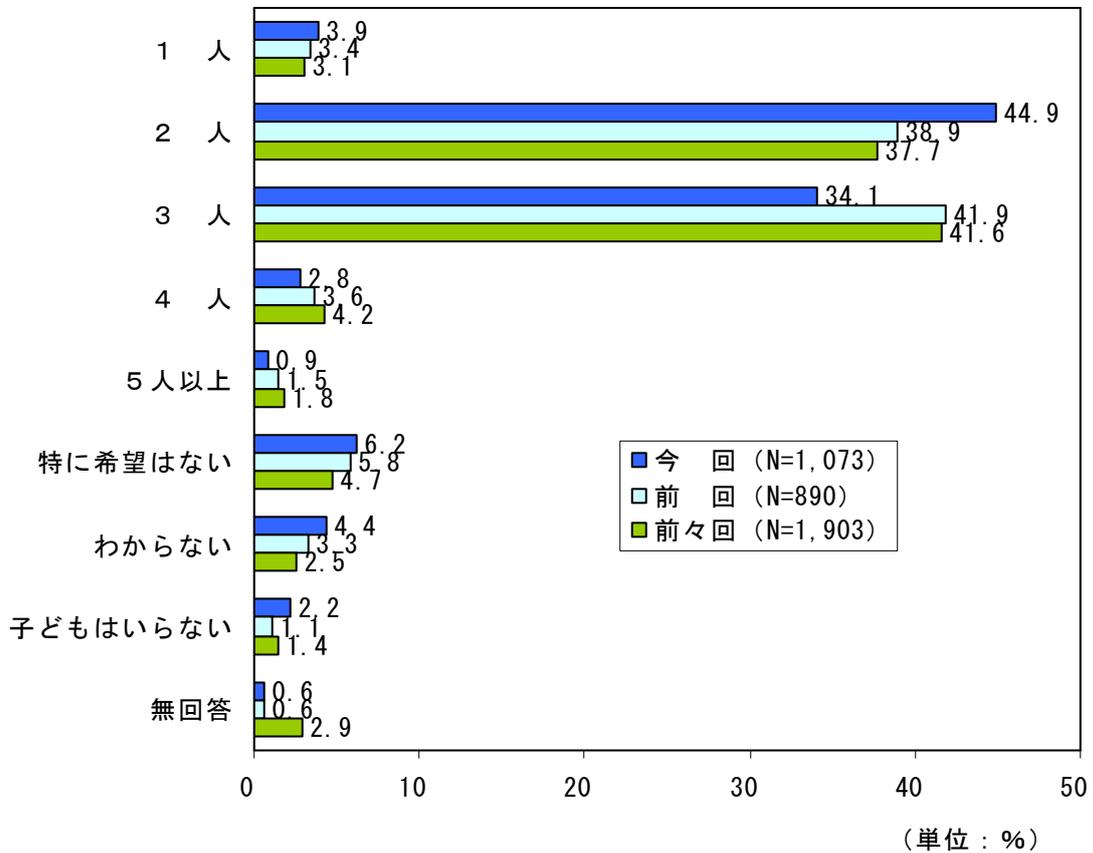
(3) 理想とする子どもの人数

問 11 実際に出産するかは別として、あなたの理想としては全部で何人の子どもが欲しいと思いますか？あるいは、思いましたか？次の中から、当てはまる番号に1つだけ○印を付けてください。

すべての人を対象に、実際に出産するかどうかは別として、理想とする子どもの人数は何人かを尋ねたところ、「2人」が44.9%と最も高く、次いで「3人」が34.1%となっており、両者の合計で全体の約8割を占めている。

前回調査と比較すると、「3人」の割合が7.8%減少する一方で、「2人」の割合が6.0%増加している。

理想とする子どもの人数



(4) 実際の子どもの人数

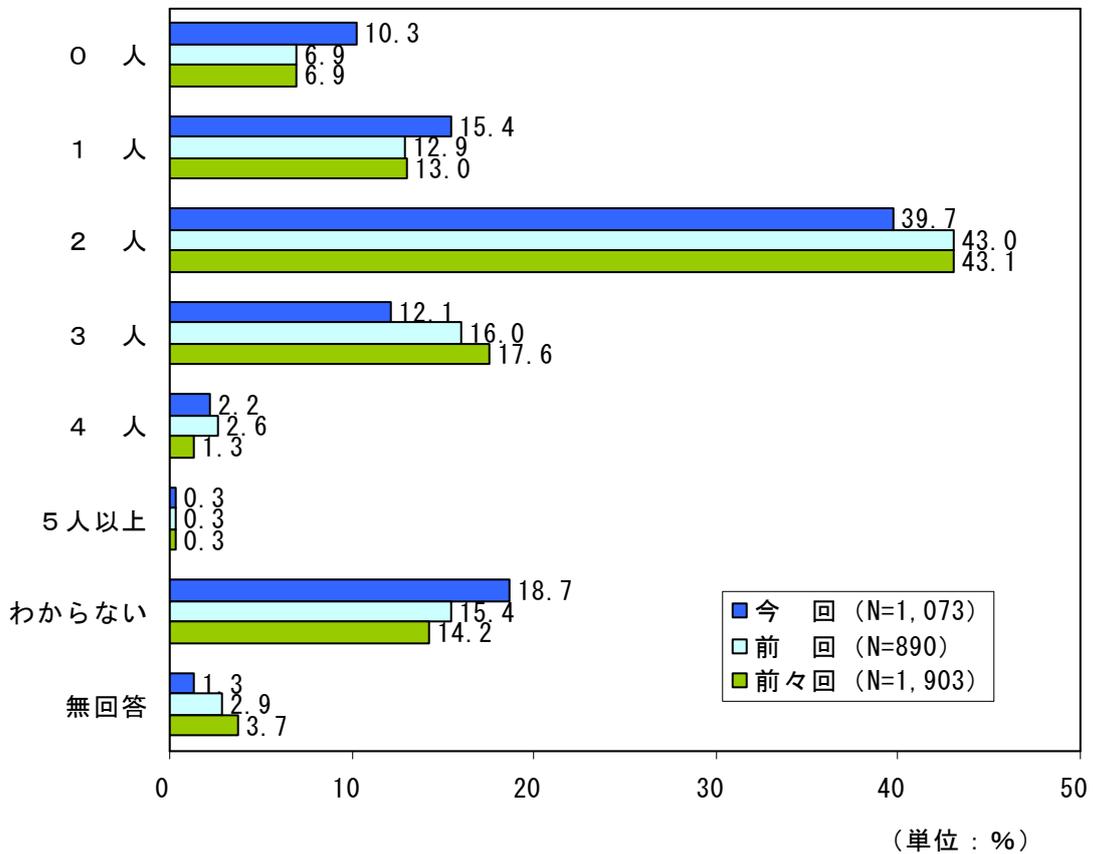
問 12 それでは、実際には子どもが何人ですか、あるいは何人持てそうですか？これから出産されるご予定も含めて、全部で何人になりそうか、次の中から、当てはまる番号に1つだけ○印を付けてください。

すべての人を対象に、今後の予定も含めた実際の子どもの人数を尋ねたところ、「2人」が39.7%と最も高く、次いで「1人」が15.4%、「3人」が12.1%と続いている。

前回調査と比較すると、「2人」の割合が3.3%、「3人」の割合が3.9%それぞれ減少する一方で、「1人」の割合が2.5%増加している。

前回調査と比較すると、前回までは割合の高い順（「わからない」を除く）に、「2人」「3人」「1人」であったのに対し、今回は「2人」「1人」「3人」となっている。

実際の子どもの人数



(5) 実際の子どもの人数が、理想とする子どもの人数よりも少ない理由

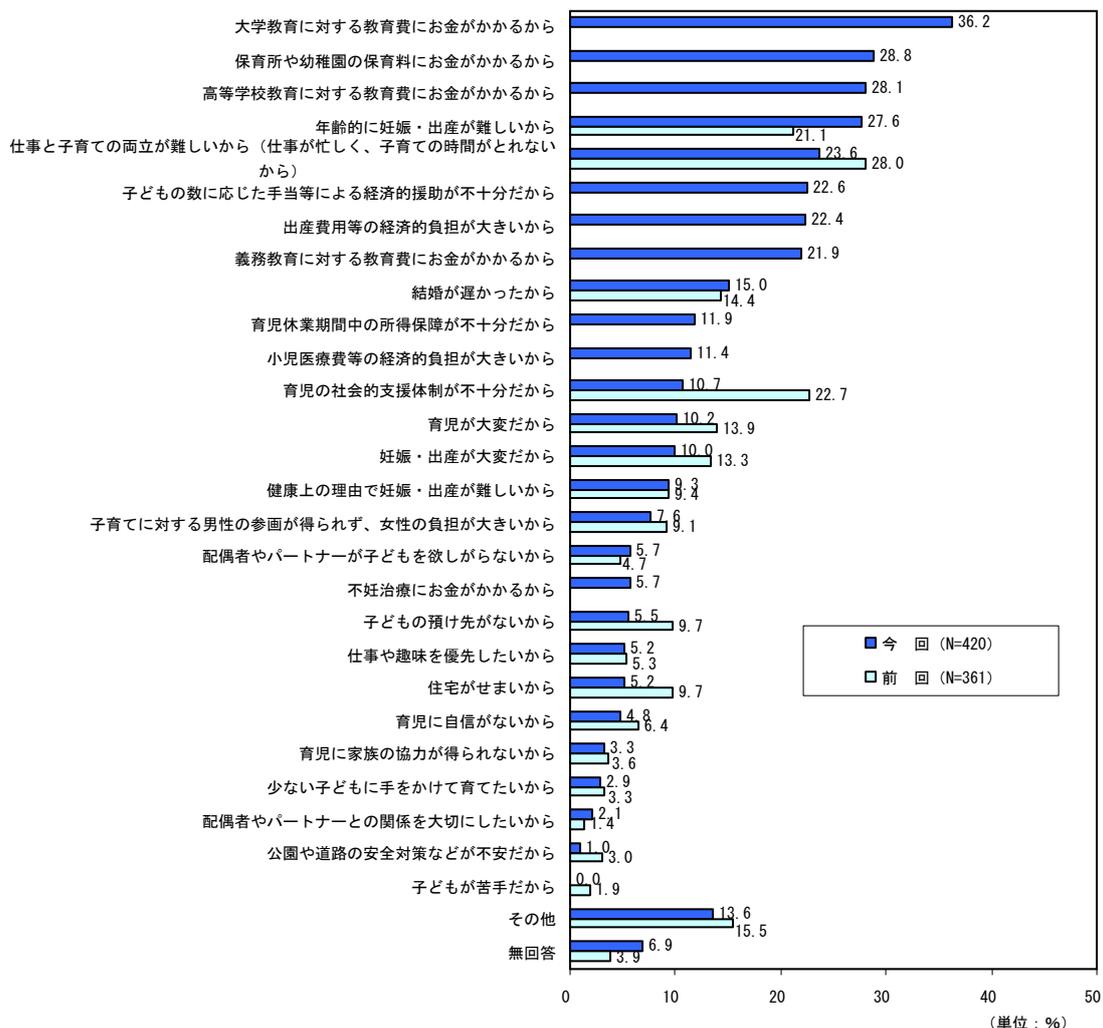
問 13 問 12 でお答えの人数が、問 11 でお答えの人数よりも少ない方にお聞きします。実際に持てそうな子どもの人数が、欲しいと思う子どもの人数より少ないのはなぜですか？次の中から、当てはまる番号にすべて○印を付けてください。

実際の子どもの人数が、理想とする子どもの人数よりも少ないと回答した 420 人を対象に、その理由を尋ねたところ（複数回答）、「大学教育に対する教育費にお金がかかるから」が 36.2%と最も高く、次いで「保育所や幼稚園の保育料にお金がかかるから」が 28.8%、「高等学校教育に対する教育費にお金がかかるから」が 28.1%、「年齢的に妊娠・出産が難しいから」が 27.6%と続いている。

前回調査と比較すると、「育児の社会的支援体制が不十分だから」が 10%以上減少しているほか、「子どもの預け先がないから」「住宅がせまいから」「育児が大変だから」「妊娠・出産が大変だから」などの割合が減少している。

※前回調査では、「教育費などにお金がかかるから」という項目のみで、「大学教育」「高等学校教育」「義務教育」「保育所や幼稚園」それぞれに分けた項目設定ではなかった。ちなみに、前回の「教育費などにお金がかかるから」の割合は 56.2%であった。

実際の子どもの人数が、理想とする子どもの人数よりも少ない理由（複数回答）



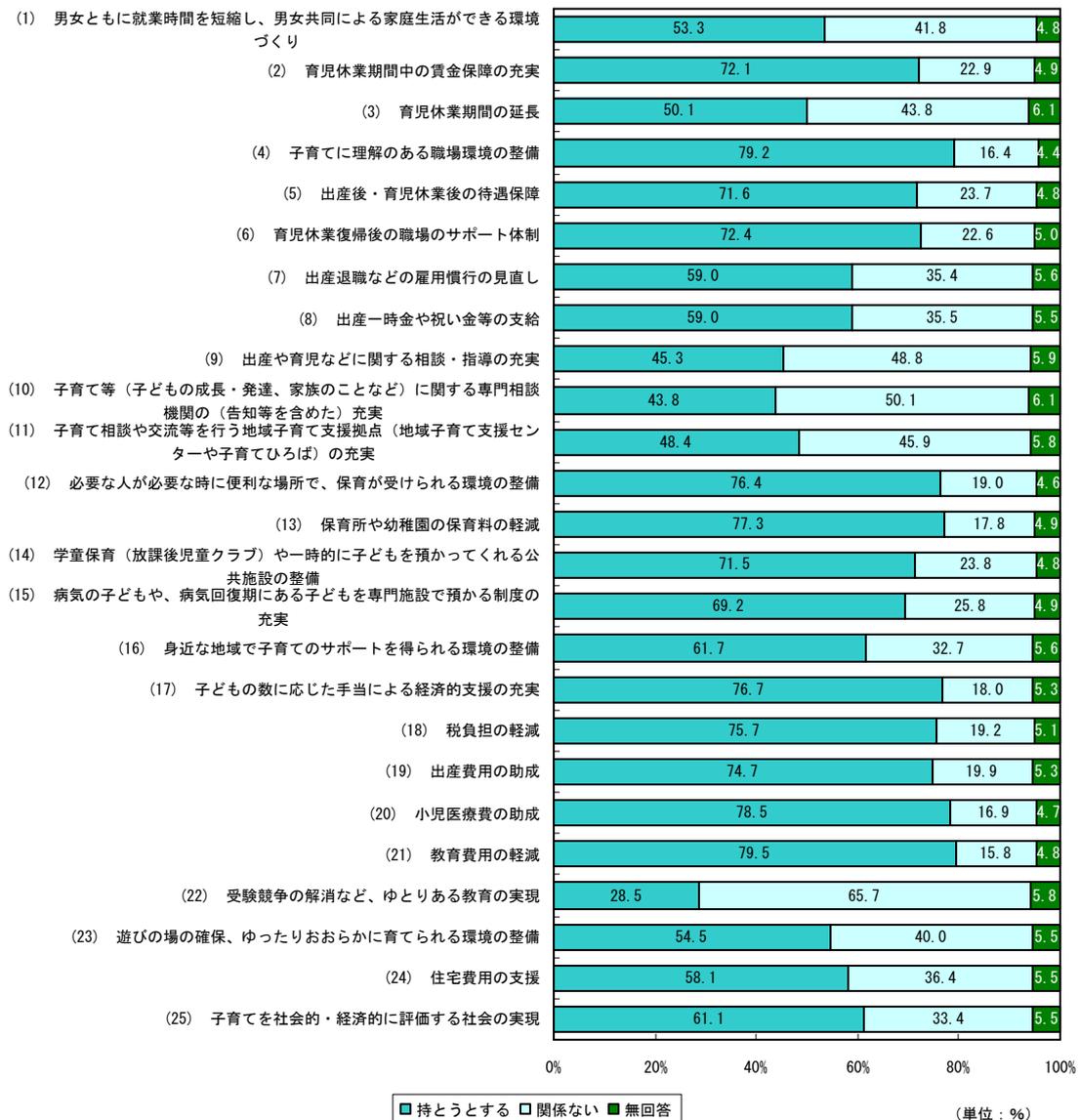
(6) 子育て支援策に対するニーズ

問 14 次の子育て支援策について、もしその支援策がとられたら、あなたは子どもが欲しいと思いますか？あるいは欲しいと思う人数の子どもを持とうとしますか？次の(1)～(25)までの支援策それぞれについて、「持とうとする」か、「関係ない」のどちらかの番号を1つだけ選び、○印を付けてください。

すべての回答者を対象に、子育て支援策に対するニーズについて尋ねたところ、子どもを『持とうとする』の割合が高かった上位5支援策は、「(21)教育費用の軽減」(79.5%)、「(4)子育てに理解のある職場環境の整備」(79.2%)、「(20)小児医療費の助成」(78.5%)、「(13)保育所や幼稚園の保育料の軽減」(77.3%)、「(17)子どもの数に応じた手当による経済的支援の充実」(76.7%)である。

これに対して、「(22)受験競争の解消など、ゆとりある教育の実現」(65.7%)や「(10)子育て等(子どもの成長・発達・家族のことなど)に関する専門相談機関の(告知等を含めた)充実」(50.1%)については、『関係ない』の割合が5割超となっている。

子育て支援策に対するニーズ



①男女ともに就業時間を短縮し、男女共同による家庭生活ができる環境づくり

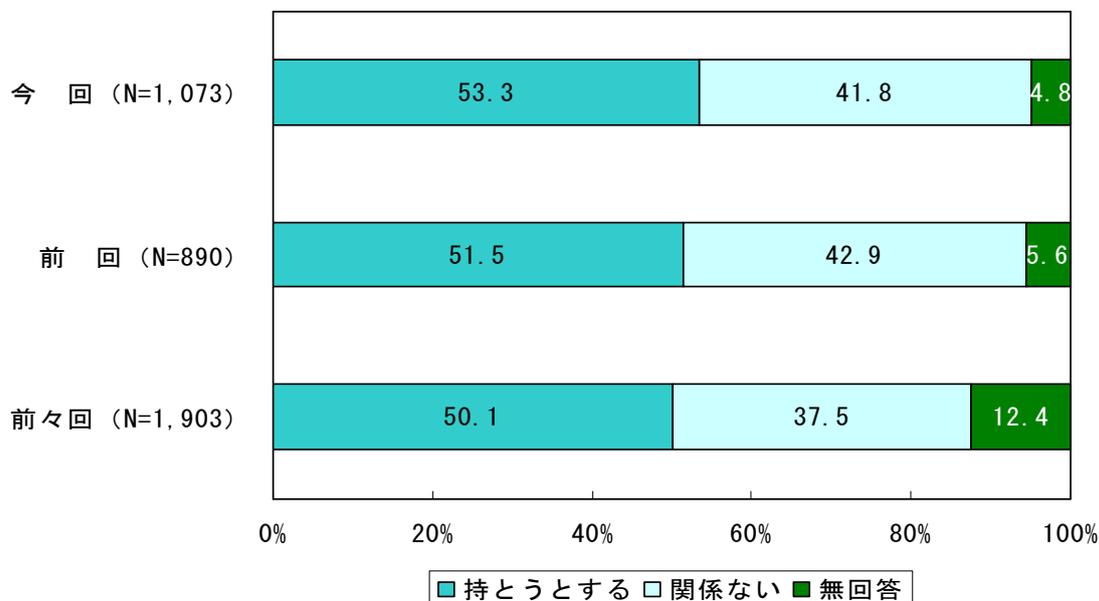
問 14 次の子育て支援策について、もしその支援策がとられたら、あなたは子どもが欲しいと思いますか？あるいは欲しいと思う人数の子どもを持つとうとしますか？
次の（１）～（２５）までの支援策それぞれについて、「持とうとする」か、「関係ない」のどちらかの番号を１つだけ選び、○印を付けてください。

①男女ともに就業時間を短縮し、男女共同による家庭生活ができる環境づくり

すべての回答者を対象に、「男女ともに就業時間を短縮し、男女共同による家庭生活ができる環境づくり」が行われることによって、子どもを持つとうと思うかどうかを尋ねたところ、「持とうとする」が53.3%、「関係ない」が41.8%となっている。

前々回、前回調査と比較すると、「持とうとする」の割合が僅かずつではあるが増加している。

男女ともに就業時間を短縮し、男女共同による家庭生活ができる環境づくり



②育児休業期間中の賃金保障の充実

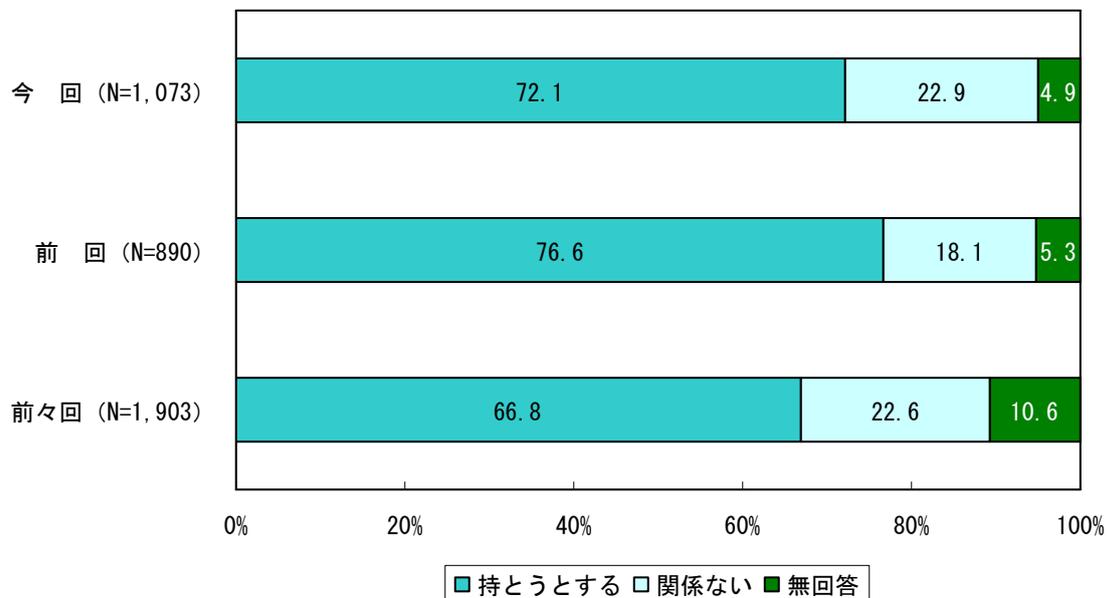
問 14 次の子育て支援策について、もしその支援策がとられたら、あなたは子どもが欲しいと思いますか？あるいは欲しいと思う人数の子どもを持とうとしますか？
次の（１）～（２５）までの支援策それぞれについて、「持とうとする」か、「関係ない」のどちらかの番号を１つだけ選び、○印を付けてください。

②育児休業期間中の賃金保障の充実

すべての回答者を対象に、「育児休業期間中の賃金保障の充実」が行われることによって、子どもを持とうと思うかどうかを尋ねたところ、「持とうとする」が72.1%、「関係ない」が22.9%となっている。

前回調査と比較すると、「持とうとする」の割合が若干減少し、「関係ない」の割合が若干増加している。

育児休業期間中の賃金保障の充実



③育児休業期間の延長

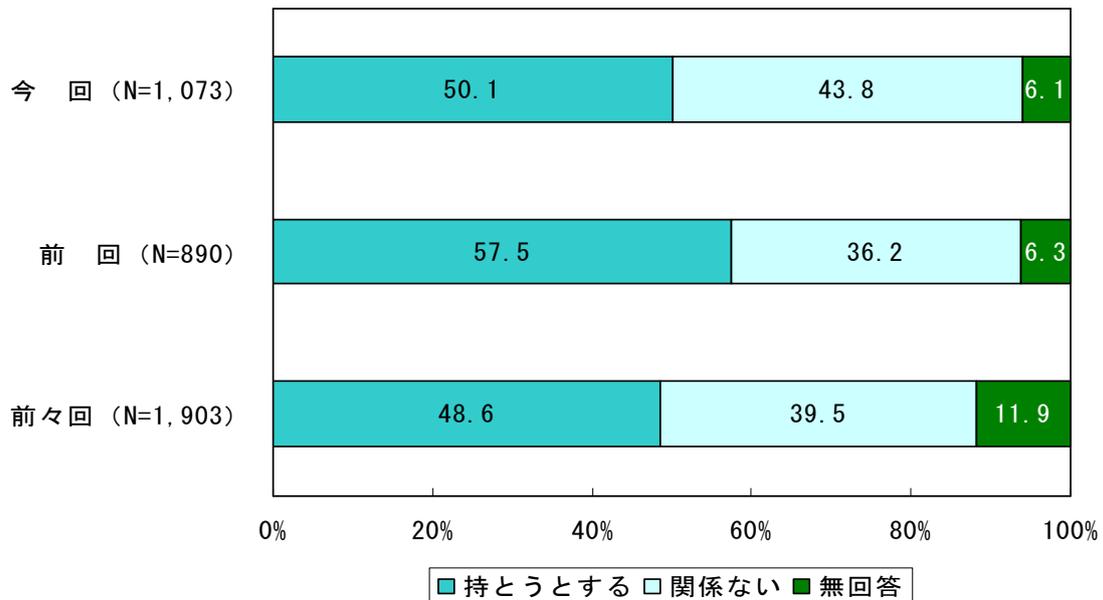
問 14 次の子育て支援策について、もしその支援策がとられたら、あなたは子どもが欲しいと思いますか？あるいは欲しいと思う人数の子どもを持とうとしますか？
次の（１）～（２５）までの支援策それぞれについて、「持とうとする」か、「関係ない」のどちらかの番号を１つだけ選び、○印を付けてください。

③育児休業期間の延長

すべての回答者を対象に、「育児休業期間の延長」が行われることによって、子どもを持とうと思うかどうかを尋ねたところ、「持とうとする」が50.1%、「関係ない」が43.8%となっている。

前回調査と比較すると、「持とうとする」の割合が若干減少し、「関係ない」の割合が若干増加している。

育児休業期間の延長



④子育てに理解のある職場環境の整備

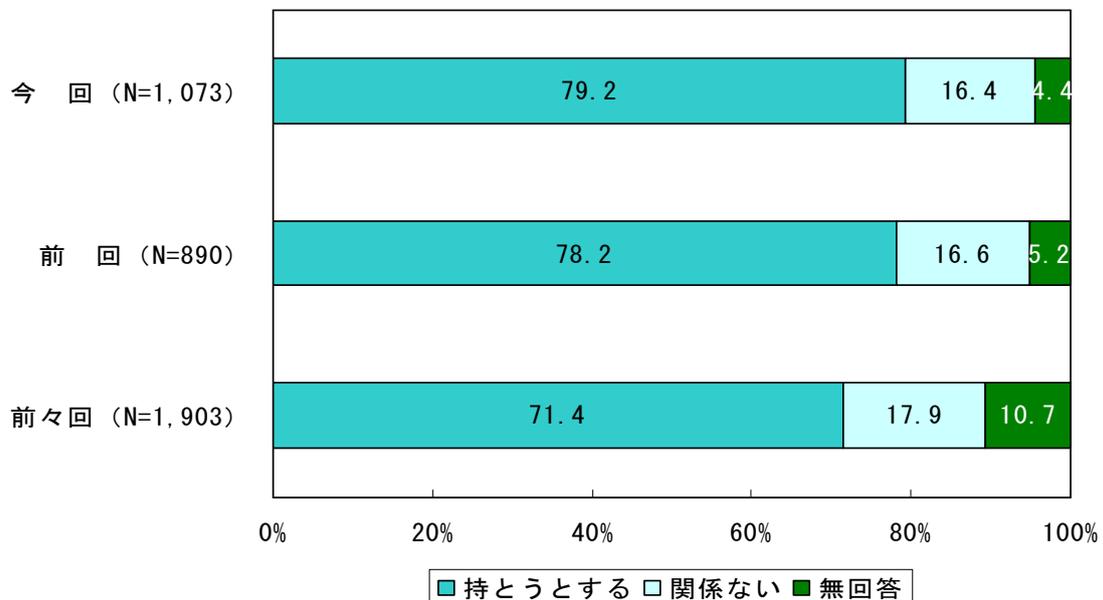
問 14 次の子育て支援策について、もしその支援策がとられたら、あなたは子どもが欲しいと思いますか？あるいは欲しいと思う人数の子どもを持つとしますか？
次の（１）～（２５）までの支援策それぞれについて、「持とうとする」か、「関係ない」のどちらかの番号を１つだけ選び、○印を付けてください。

④子育てに理解のある職場環境の整備

すべての回答者を対象に、「子育てに理解のある職場環境の整備」が行われることによって、子どもを持つと思うかどうかを尋ねたところ、「持とうとする」が79.2%、「関係ない」が16.4%となっている。

前回調査と比較しても、大きな異同はない。

子育てに理解のある職場環境の整備



⑤ 出産後・育児休業後の待遇保障

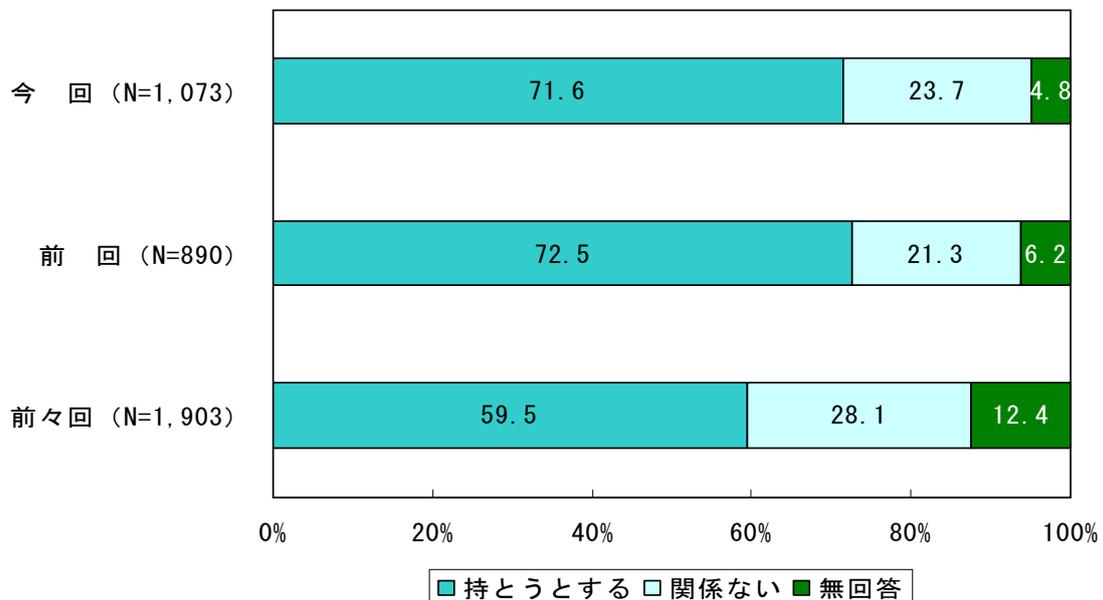
問 14 次の子育て支援策について、もしその支援策がとられたら、あなたは子どもが欲しいと思いますか？あるいは欲しいと思う人数の子どもを持とうとしますか？
次の（１）～（２５）までの支援策それぞれについて、「持とうとする」か、「関係ない」のどちらかの番号を１つだけ選び、○印を付けてください。

⑤ 出産後・育児休業後の待遇保障

すべての回答者を対象に、「出産後・育児休業後の待遇保障」が行われることによって、子どもを持とうと思うかどうかを尋ねたところ、「持とうとする」が71.6%、「関係ない」が23.7%となっている。

前回調査と比較しても、大きな異同はない。

出産後・育児休業後の待遇保障

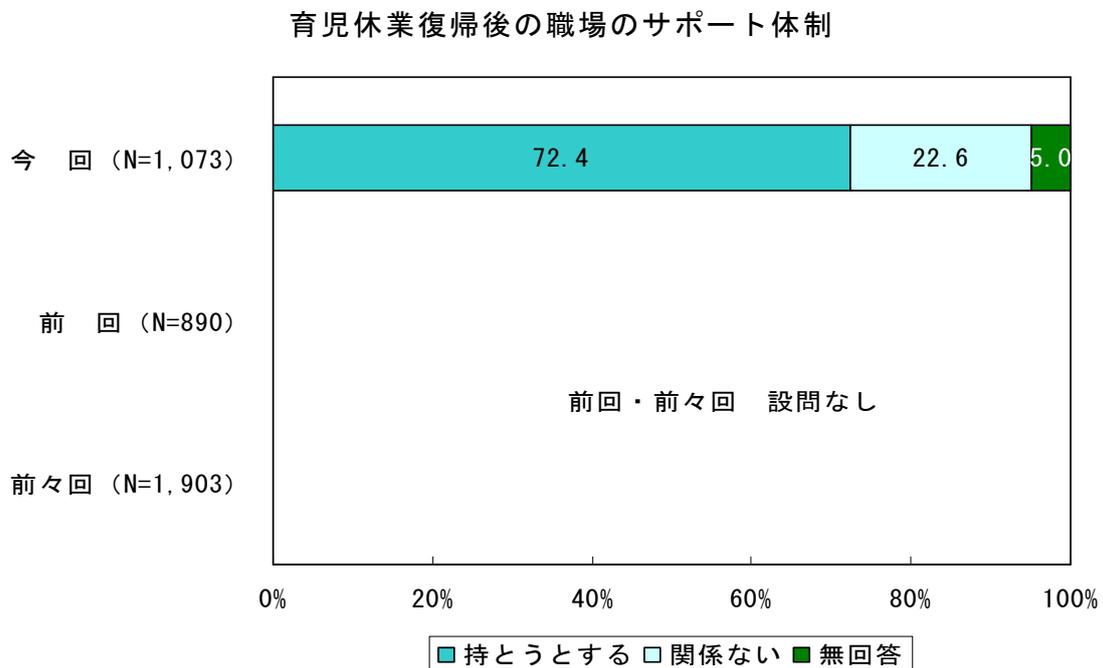


⑥育児休業復帰後の職場のサポート体制

問 14 次の子育て支援策について、もしその支援策がとられたら、あなたは子どもが欲しいと思いますか？あるいは欲しいと思う人数の子どもを持とうとしますか？
次の（１）～（２５）までの支援策それぞれについて、「持とうとする」か、「関係ない」のどちらかの番号を１つだけ選び、○印を付けてください。

⑥育児休業復帰後の職場のサポート体制

すべての回答者を対象に、「育児休業復帰後の職場のサポート体制」が行われることによって、子どもを持とうと思うかどうかを尋ねたところ、「持とうとする」が72.4%、「関係ない」が22.6%となっている。



⑦ 出産退職などの雇用慣行の見直し

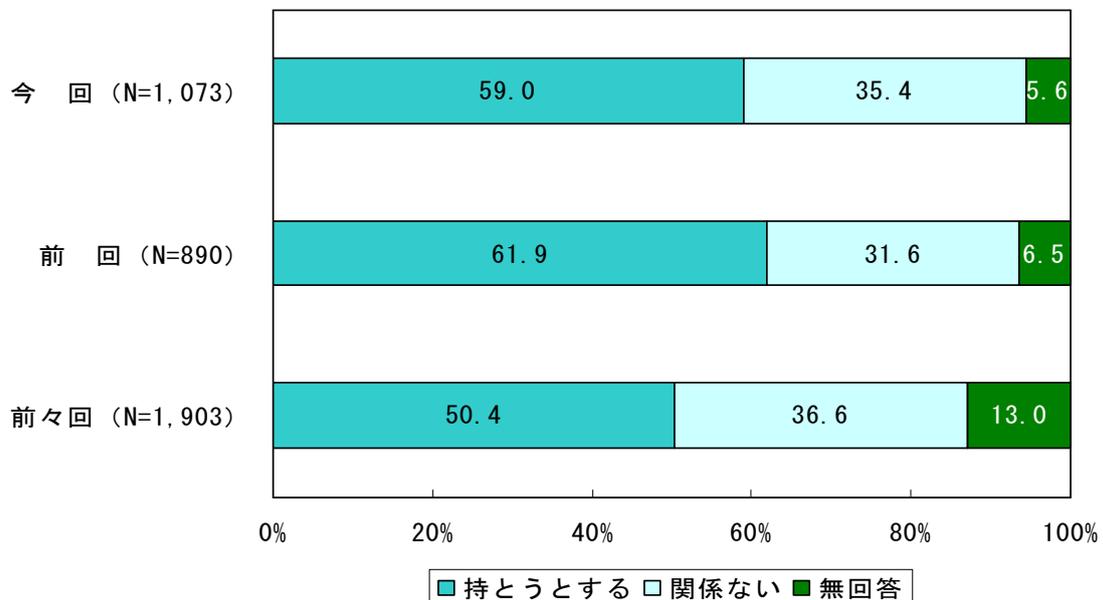
問 14 次の子育て支援策について、もしその支援策がとられたら、あなたは子どもが欲しいと思いますか？あるいは欲しいと思う人数の子どもを持とうとしますか？
次の（１）～（２５）までの支援策それぞれについて、「持とうとする」か、「関係ない」のどちらかの番号を１つだけ選び、○印を付けてください。

⑦ 出産退職などの雇用慣行の見直し

すべての回答者を対象に、「出産退職などの雇用慣行の見直し」が行われることによって、子どもを持とうと思うかどうかを尋ねたところ、「持とうとする」が 59.0%、「関係ない」が 35.4%となっている。

前回調査と比較しても、大きな異同はない。

出産退職などの雇用慣行の見直し



⑧ 出産一時金や祝い金等の支給

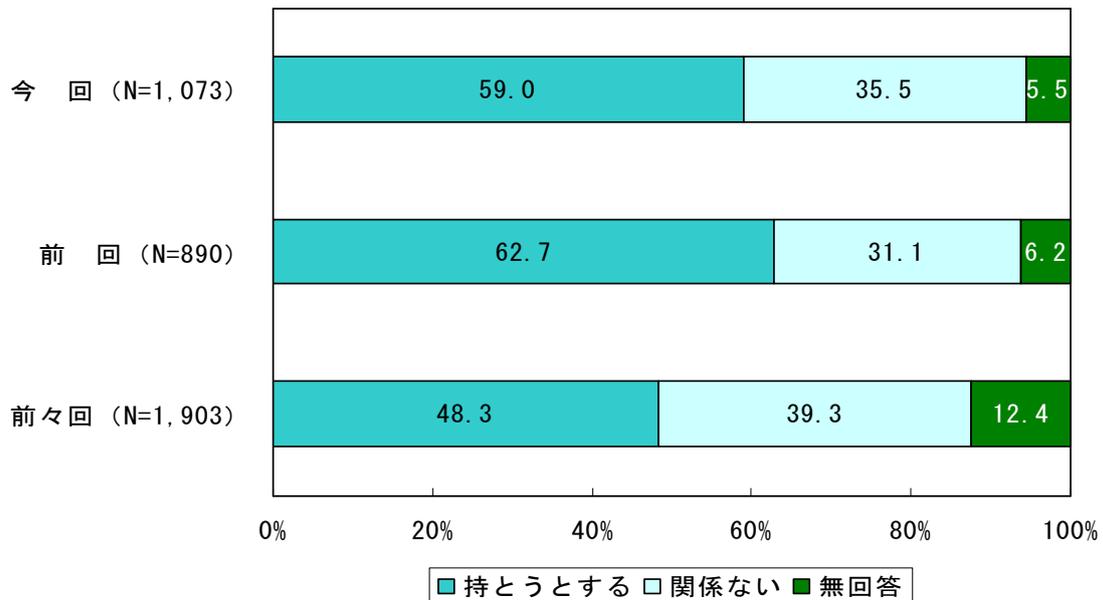
問 14 次の子育て支援策について、もしその支援策がとられたら、あなたは子どもが欲しいと思いますか？あるいは欲しいと思う人数の子どもを持とうとしますか？
次の（１）～（２５）までの支援策それぞれについて、「持とうとする」か、「関係ない」のどちらかの番号を１つだけ選び、○印を付けてください。

⑧ 出産一時金や祝い金等の支給

すべての回答者を対象に、「出産一時金や祝い金等の支給」が行われることによって、子どもを持とうと思うかどうかを尋ねたところ、「持とうとする」が 59.0%、「関係ない」が 35.5%となっている。

前回調査と比較すると、「持とうとする」の割合が若干減少し、「関係ない」の割合が若干増加している。

出産一時金や祝い金等の支給



⑨出産や育児などに関する相談・指導の充実

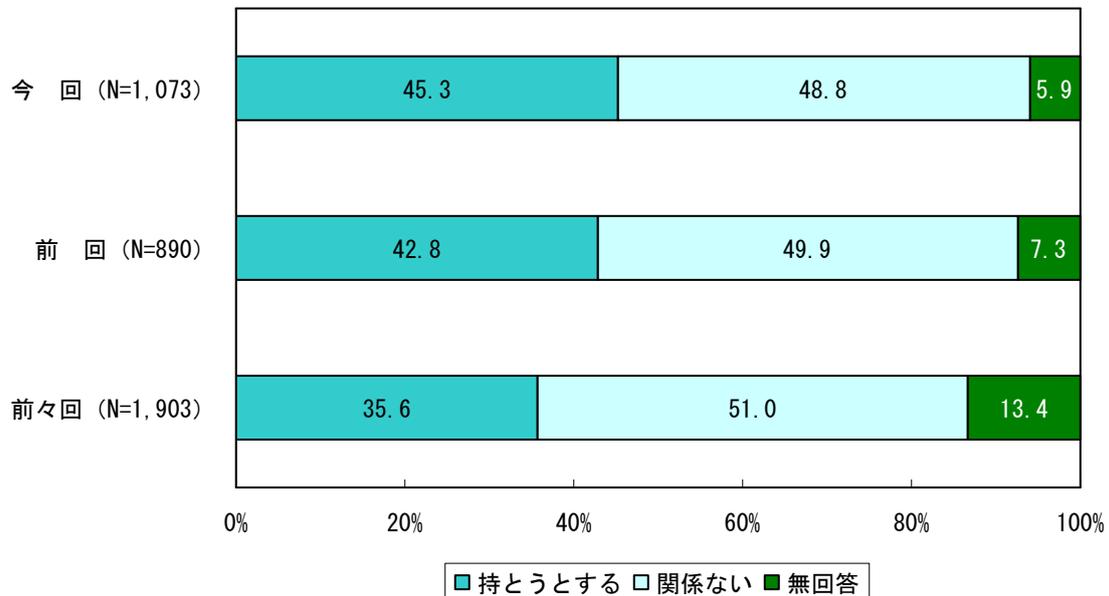
問 14 次の子育て支援策について、もしその支援策がとられたら、あなたは子どもが欲しいと思いますか？あるいは欲しいと思う人数の子どもを持つとしますか？
次の（１）～（２５）までの支援策それぞれについて、「持とうとする」か、「関係ない」のどちらかの番号を１つだけ選び、○印を付けてください。

⑨出産や育児などに関する相談・指導の充実

すべての回答者を対象に、「出産や育児などに関する相談・指導の充実」が行われることによって、子どもを持つと思うかどうかを尋ねたところ、「持とうとする」が45.3%、「関係ない」が48.8%となっている。

前回調査と比較しても、大きな異同はない。

出産や育児などに関する相談・指導の充実



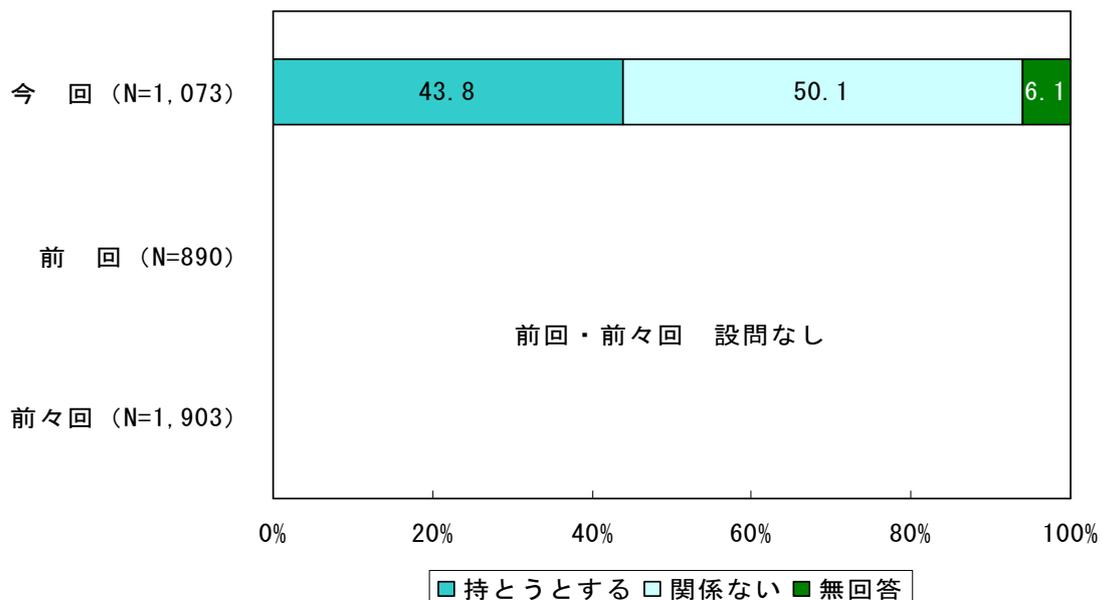
⑩子育て等（子どもの成長・発達、家族のことなど）に関する専門相談機関の（告知等を含めた）充実

問 14 次の子育て支援策について、もしその支援策がとられたら、あなたは子どもが欲しいと思いますか？あるいは欲しいと思う人数の子どもを持つとうとしますか？
次の（1）～（25）までの支援策それぞれについて、「持とうとする」か、「関係ない」のどちらかの番号を1つだけ選び、○印を付けてください。

⑩子育て等（子どもの成長・発達、家族のことなど）に関する専門相談機関の（告知等を含めた）充実

すべての回答者を対象に、「子育て等（子どもの成長・発達、家族のことなど）に関する専門相談機関の（告知等を含めた）充実」が行われることによって、子どもを持つかどうかを尋ねたところ、「持とうとする」が43.8%、「関係ない」が50.1%となっている。

子育て等（子どもの成長・発達、家族のことなど）に関する
専門相談機関の（告知等を含めた）充実



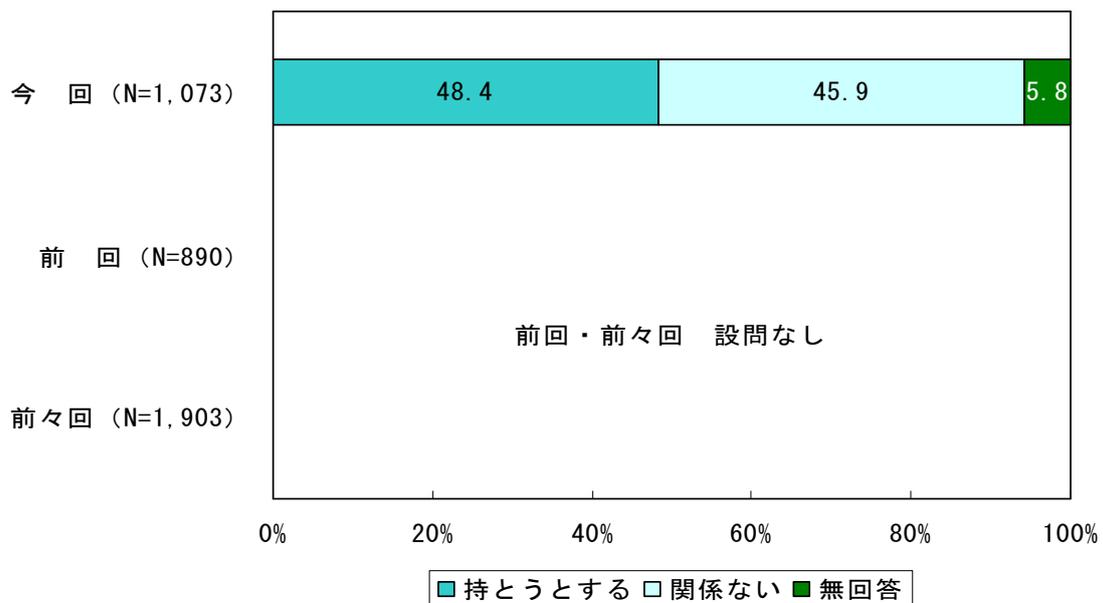
⑪子育て相談や交流等を行う地域子育て支援拠点（地域子育て支援センターや子育てひろば）の充実

問 14 次の子育て支援策について、もしその支援策がとられたら、あなたは子どもが欲しいと思いますか？あるいは欲しいと思う人数の子どもを持つとうとしますか？
次の（1）～（25）までの支援策それぞれについて、「持とうとする」か、「関係ない」のどちらかの番号を1つだけ選び、○印を付けてください。

⑪子育て相談や交流等を行う地域子育て支援拠点（地域子育て支援センターや子育てひろば）の充実

すべての回答者を対象に、「子育て相談や交流等を行う地域子育て支援拠点（地域子育て支援センターや子育てひろば）の充実」が行われることによって、子どもを持つと思うかどうかを尋ねたところ、「持とうとする」が48.4%、「関係ない」が45.9%となっている。

子育て相談や交流等を行う地域子育て支援拠点
（地域子育て支援センターや子育てひろば）の充実



⑫必要な人が必要な時に便利な場所で、保育が受けられる環境の整備

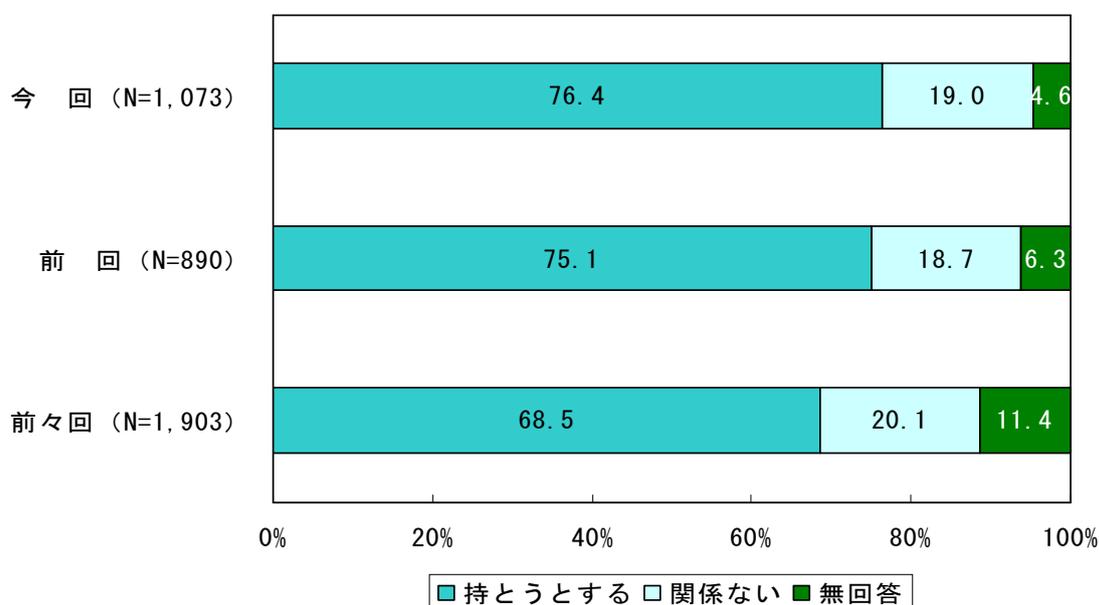
問 14 次の子育て支援策について、もしその支援策がとられたら、あなたは子どもが欲しいと思いますか？あるいは欲しいと思う人数の子どもを持とうとしますか？
 次の（１）～（２５）までの支援策それぞれについて、「持とうとする」か、「関係ない」のどちらかの番号を１つだけ選び、○印を付けてください。

⑫必要な人が必要な時に便利な場所で、保育が受けられる環境の整備

すべての回答者を対象に、「必要な人が必要な時に便利な場所で、保育が受けられる環境の整備」が行われることによって、子どもを持とうと思うかどうかを尋ねたところ、「持とうとする」が76.4%、「関係ない」が19.0%となっている。

前回調査と比較しても、大きな異同はない。

必要な人が必要な時に便利な場所で、保育が受けられる環境の整備



⑬保育所や幼稚園の保育料の軽減

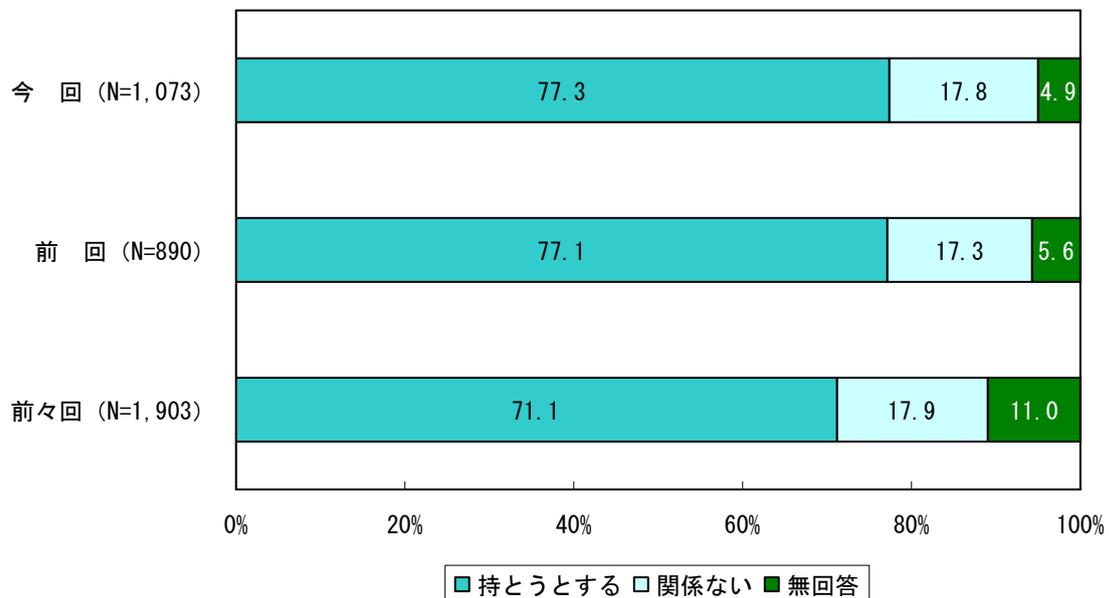
問 14 次の子育て支援策について、もしその支援策がとられたら、あなたは子どもが欲しいと思いますか？あるいは欲しいと思う人数の子どもを持とうとしますか？
次の（１）～（２５）までの支援策それぞれについて、「持とうとする」か、「関係ない」のどちらかの番号を１つだけ選び、○印を付けてください。

⑬保育所や幼稚園の保育料の軽減

すべての回答者を対象に、「保育所や幼稚園の保育料の軽減」が行われることによって、子どもを持とうと思うかどうかを尋ねたところ、「持とうとする」が77.3%、「関係ない」が17.8%となっている。

前回調査と比較しても、大きな異同はない。

保育所や幼稚園の保育料の軽減



⑭学童保育（放課後児童クラブ）や一時的に子どもを預かってくれる公共施設の整備

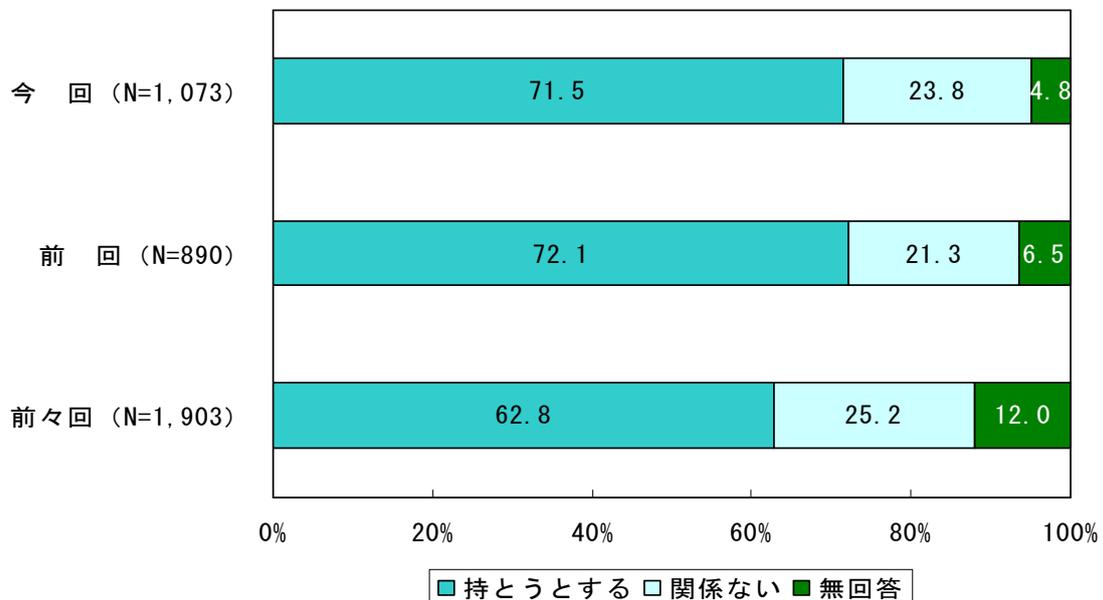
問 14 次の子育て支援策について、もしその支援策がとられたら、あなたは子どもが欲しいと思いますか？あるいは欲しいと思う人数の子どもを持とうとしますか？
次の（１）～（２５）までの支援策それぞれについて、「持とうとする」か、「関係ない」のどちらかの番号を１つだけ選び、○印を付けてください。

⑭学童保育（放課後児童クラブ）や一時的に子どもを預かってくれる公共施設の整備

すべての回答者を対象に、「学童保育（放課後児童クラブ）や一時的に子どもを預かってくれる公共施設の整備」が行われることによって、子どもを持とうと思うかどうかを尋ねたところ、「持とうとする」が71.5%、「関係ない」が23.8%となっている。

前回調査と比較しても、大きな異同はない。

学童保育（放課後児童クラブ）や一時的に子どもを預かってくれる公共施設の整備



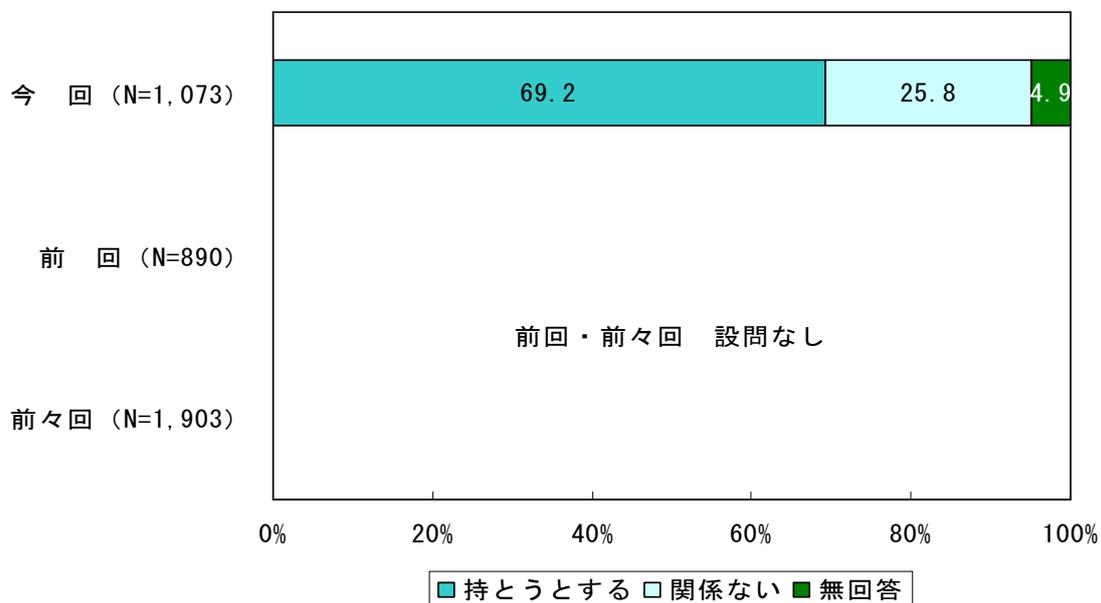
⑮病気の子どもや、病気回復期にある子どもを専門施設で預かる制度の充実

問 14 次の子育て支援策について、もしその支援策がとられたら、あなたは子どもが欲しいと思いますか？あるいは欲しいと思う人数の子どもを持つとしますか？
 次の（１）～（２５）までの支援策それぞれについて、「持とうとする」か、「関係ない」のどちらかの番号を１つだけ選び、○印を付けてください。

⑮病気の子どもや、病気回復期にある子どもを専門施設で預かる制度の充実

すべての回答者を対象に、「病気の子どもや、病気回復期にある子どもを専門施設で預かる制度の充実」が行われることによって、子どもを持つと思うかどうかを尋ねたところ、「持とうとする」が69.2%、「関係ない」が25.8%となっている。

病気の子どもや、病気回復期にある子どもを専門施設で預かる制度の充実



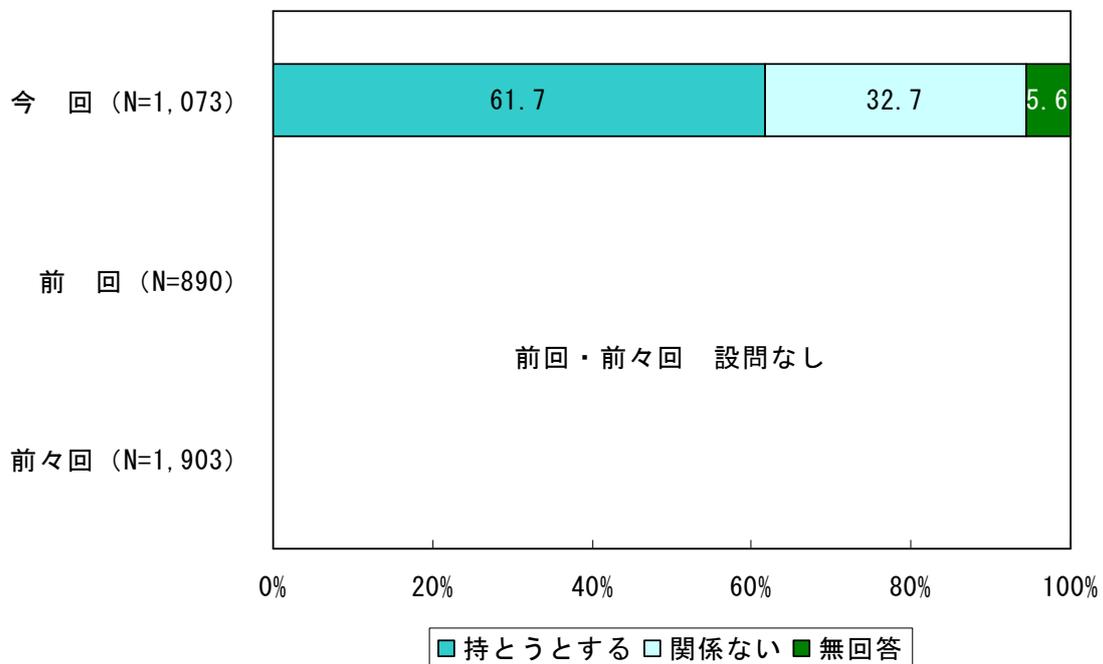
⑩身近な地域で子育てのサポートを得られる環境の整備

問 14 次の子育て支援策について、もしその支援策がとられたら、あなたは子どもが欲しいと思いますか？あるいは欲しいと思う人数の子どもを持とうとしますか？
次の（１）～（２５）までの支援策それぞれについて、「持とうとする」か、「関係ない」のどちらかの番号を１つだけ選び、○印を付けてください。

⑩身近な地域で子育てのサポートを得られる環境の整備

すべての回答者を対象に、「身近な地域で子育てのサポートを得られる環境の整備」が行われることによって、子どもを持とうと思うかどうかを尋ねたところ、「持とうとする」が61.7%、「関係ない」が32.7%となっている。

身近な地域で子育てのサポートを得られる環境の整備



⑰子どもの数に応じた手当による経済的支援の充実

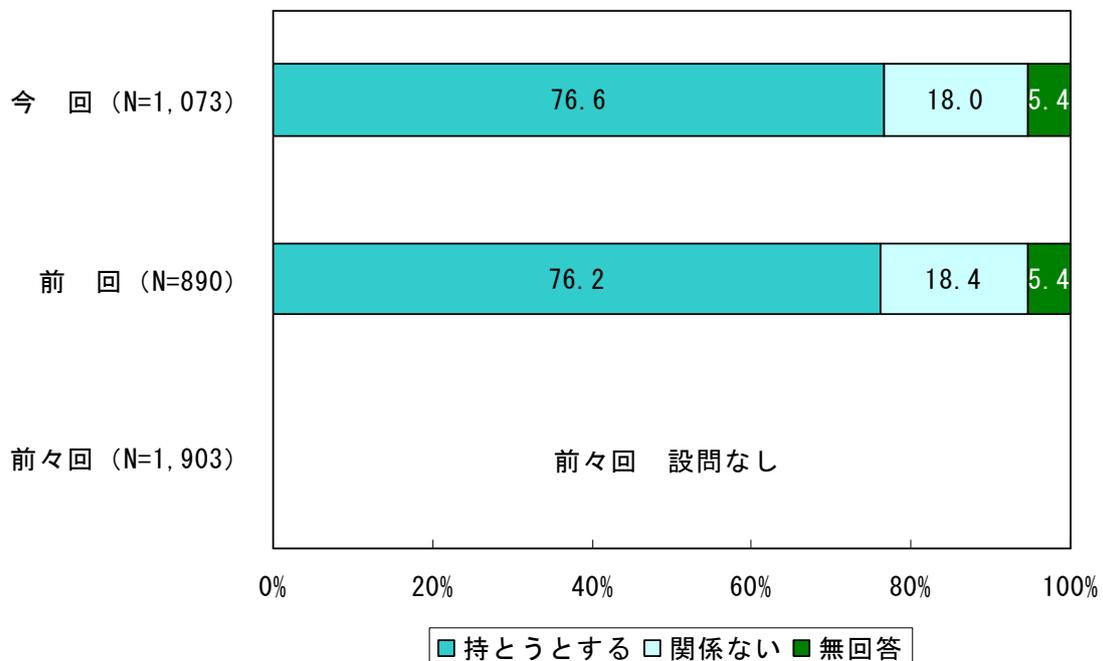
問 14 次の子育て支援策について、もしその支援策がとられたら、あなたは子どもが欲しいと思いますか？あるいは欲しいと思う人数の子どもを持とうとしますか？
次の（１）～（２５）までの支援策それぞれについて、「持とうとする」か、「関係ない」のどちらかの番号を１つだけ選び、○印を付けてください。

⑰子どもの数に応じた手当による経済的支援の充実

すべての回答者を対象に、「子どもの数に応じた手当による経済的支援の充実」が行われることによって、子どもを持とうと思うかどうかを尋ねたところ、「持とうとする」が76.6%、「関係ない」が18.0%となっている。

前回調査と比較しても、大きな異同はない。

子どもの数に応じた手当による経済的支援の充実



⑱ 税負担の軽減

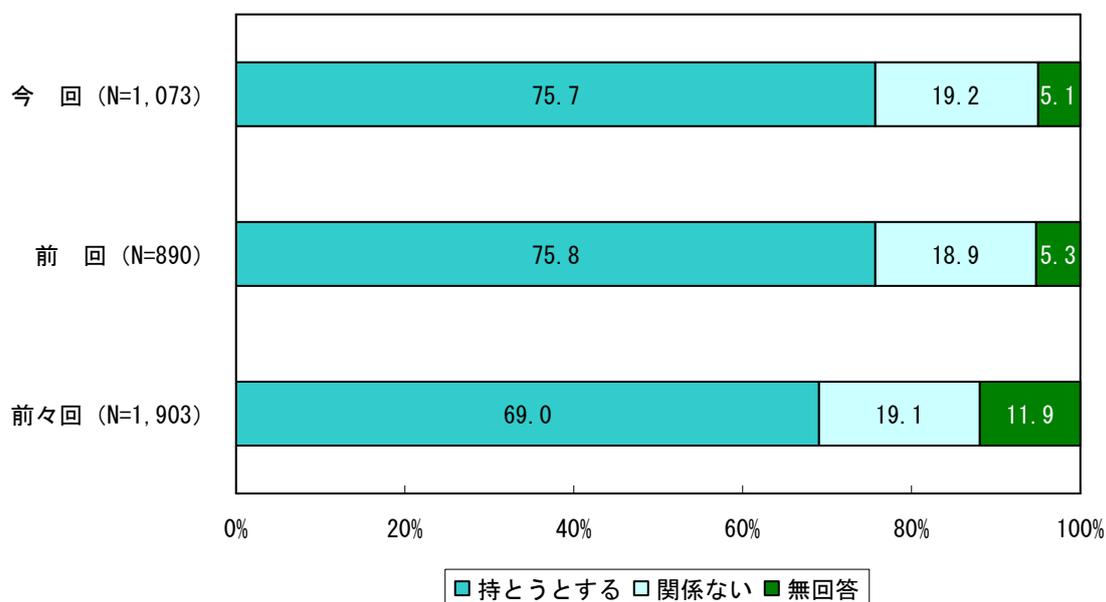
問 14 次の子育て支援策について、もしその支援策がとられたら、あなたは子どもが欲しいと思いますか？あるいは欲しいと思う人数の子どもを持とうとしますか？
次の（１）～（２５）までの支援策それぞれについて、「持とうとする」か、「関係ない」のどちらかの番号を１つだけ選び、○印を付けてください。

⑱ 税負担の軽減

すべての回答者を対象に、「税負担の軽減」が行われることによって、子どもを持とうと思うかどうかを尋ねたところ、「持とうとする」が 75.7%、「関係ない」が 19.2%となっている。

前回調査と比較しても、大きな異同はない。

税負担の軽減



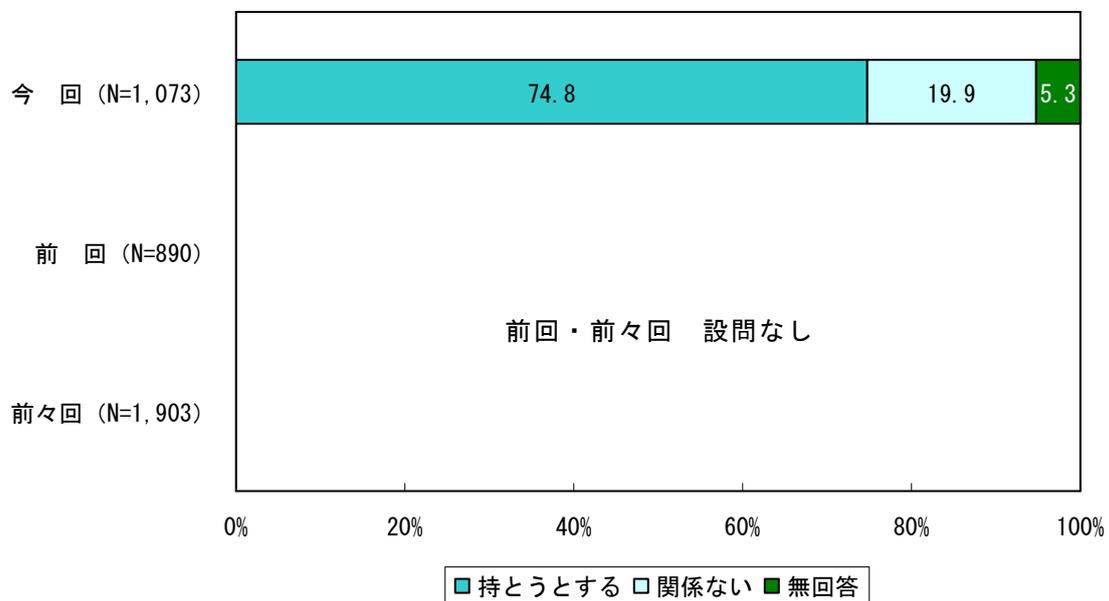
⑱ 出産費用の助成

問 14 次の子育て支援策について、もしその支援策がとられたら、あなたは子どもが欲しいと思いますか？あるいは欲しいと思う人数の子どもを持とうとしますか？
次の（１）～（２５）までの支援策それぞれについて、「持とうとする」か、「関係ない」のどちらかの番号を１つだけ選び、○印を付けてください。

⑱ 出産費用の助成

すべての回答者を対象に、「出産費用の助成」が行われることによって、子どもを持とうと思うかどうかを尋ねたところ、「持とうとする」が 74.8%、「関係ない」が 19.9%となっている。

出産費用の助成



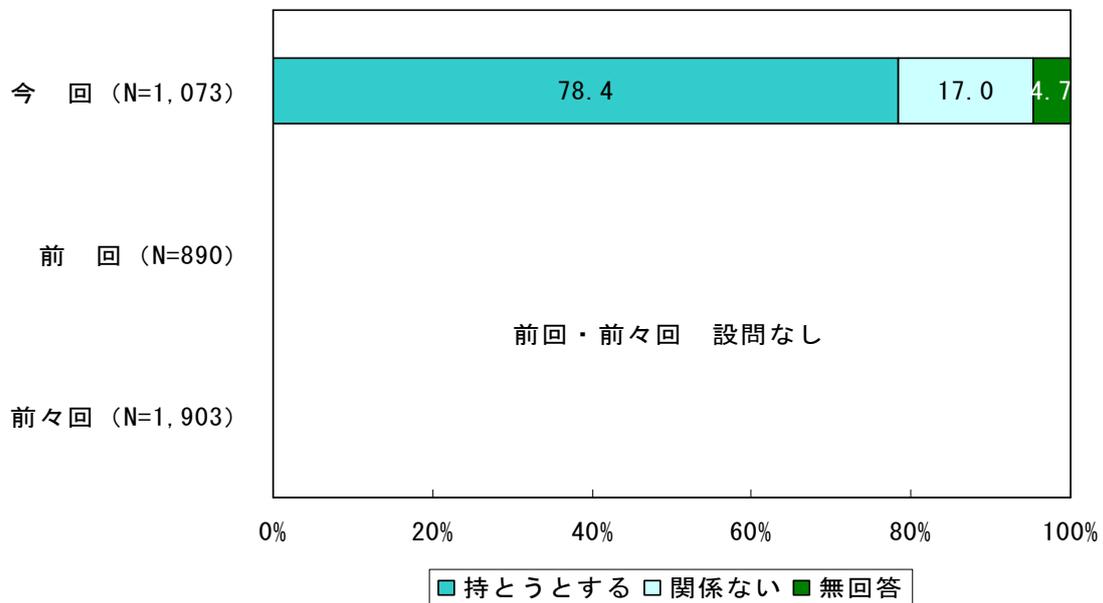
⑩小児医療費の助成

問 14 次の子育て支援策について、もしその支援策がとられたら、あなたは子どもが欲しいと思いますか？あるいは欲しいと思う人数の子どもを持とうとしますか？
次の（１）～（２５）までの支援策それぞれについて、「持とうとする」か、「関係ない」のどちらかの番号を１つだけ選び、○印を付けてください。

⑩小児医療費の助成

すべての回答者を対象に、「小児医療費の助成」が行われることによって、子どもを持とうと思うかどうかを尋ねたところ、「持とうとする」が78.4%、「関係ない」が17.0%となっている。

小児医療費の助成



②教育費用の軽減

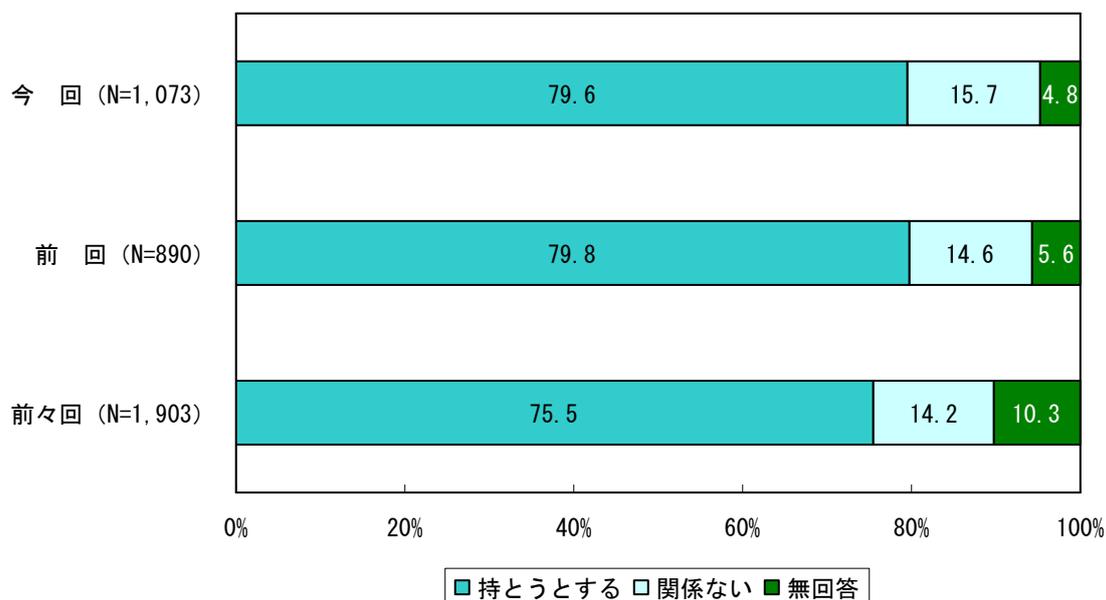
問 14 次の子育て支援策について、もしその支援策がとられたら、あなたは子どもが欲しいと思いますか？あるいは欲しいと思う人数の子どもを持とうとしますか？
次の（１）～（２５）までの支援策それぞれについて、「持とうとする」か、「関係ない」のどちらかの番号を１つだけ選び、○印を付けてください。

②教育費用の軽減

すべての回答者を対象に、「教育費用の軽減」が行われることによって、子どもを持とうと思うかどうかを尋ねたところ、「持とうとする」が79.6%、「関係ない」が15.7%となっている。

前回調査と比較しても、大きな異同はない。

教育費用の軽減



②受験競争の解消など、ゆとりある教育の実現

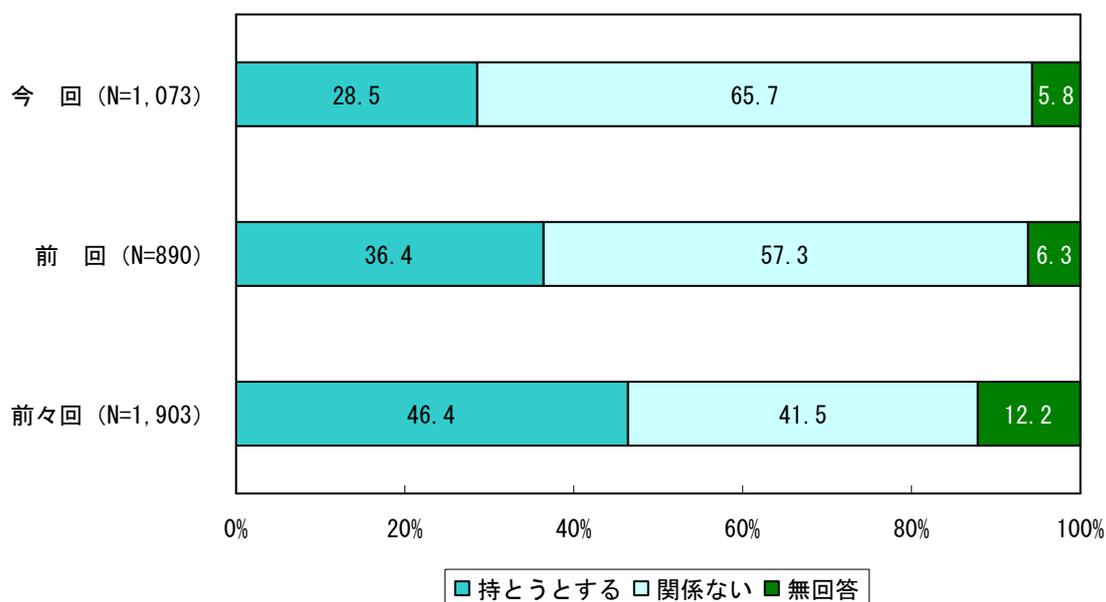
問 14 次の子育て支援策について、もしその支援策がとられたら、あなたは子どもが欲しいと思いますか？あるいは欲しいと思う人数の子どもを持つとうとしますか？
次の（１）～（２５）までの支援策それぞれについて、「持とうとする」か、「関係ない」のどちらかの番号を１つだけ選び、○印を付けてください。

②受験競争の解消など、ゆとりある教育の実現

すべての回答者を対象に、「受験競争の解消など、ゆとりある教育の実現」が行われることによって、子どもを持つと思うかどうかを尋ねたところ、「持とうとする」が28.5%、「関係ない」が65.7%となっている。

前々回、前回調査と比較すると、「持とうとする」の割合が減少する傾向にある。

受験競争の解消など、ゆとりある教育の実現



㊸遊びの場の確保、ゆったりおおらかに育てられる環境の整備

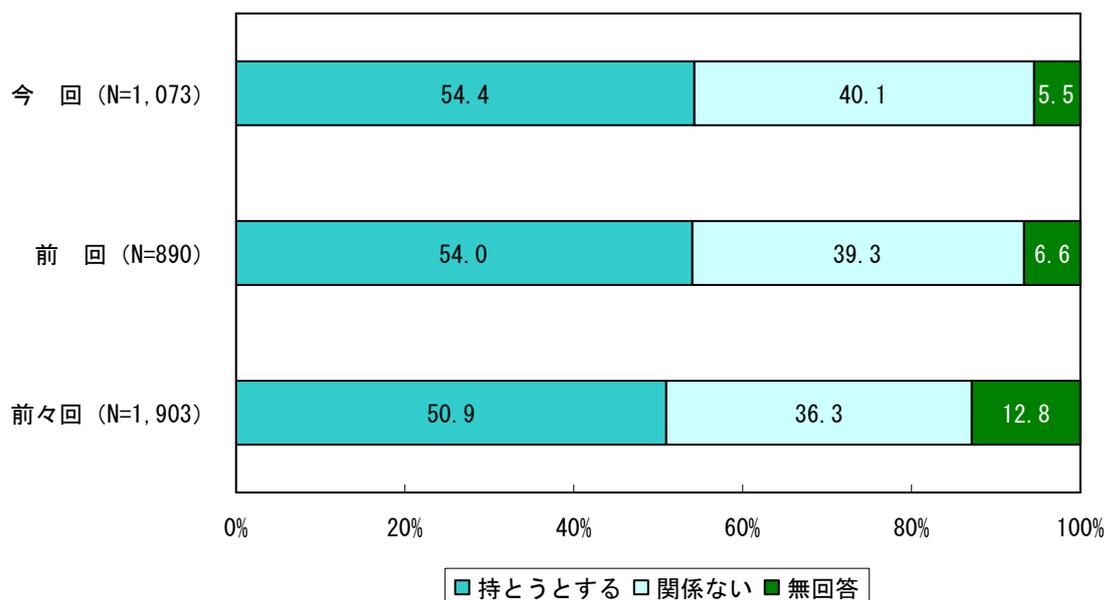
問 14 次の子育て支援策について、もしその支援策がとられたら、あなたは子どもが欲しいと思いますか？あるいは欲しいと思う人数の子どもを持つとうとしますか？
 次の（１）～（２５）までの支援策それぞれについて、「持とうとする」か、「関係ない」のどちらかの番号を１つだけ選び、○印を付けてください。

㊸遊びの場の確保、ゆったりおおらかに育てられる環境の整備

すべての回答者を対象に、「遊びの場の確保、ゆったりおおらかに育てられる環境の整備」が行われることによって、子どもを持つと思うかどうかを尋ねたところ、「持とうとする」が54.4%、「関係ない」が40.1%となっている。

前回調査と比較しても、大きな異同はない。

遊びの場の確保、ゆったりおおらかに育てられる環境の整備



㊸住宅費用の支援

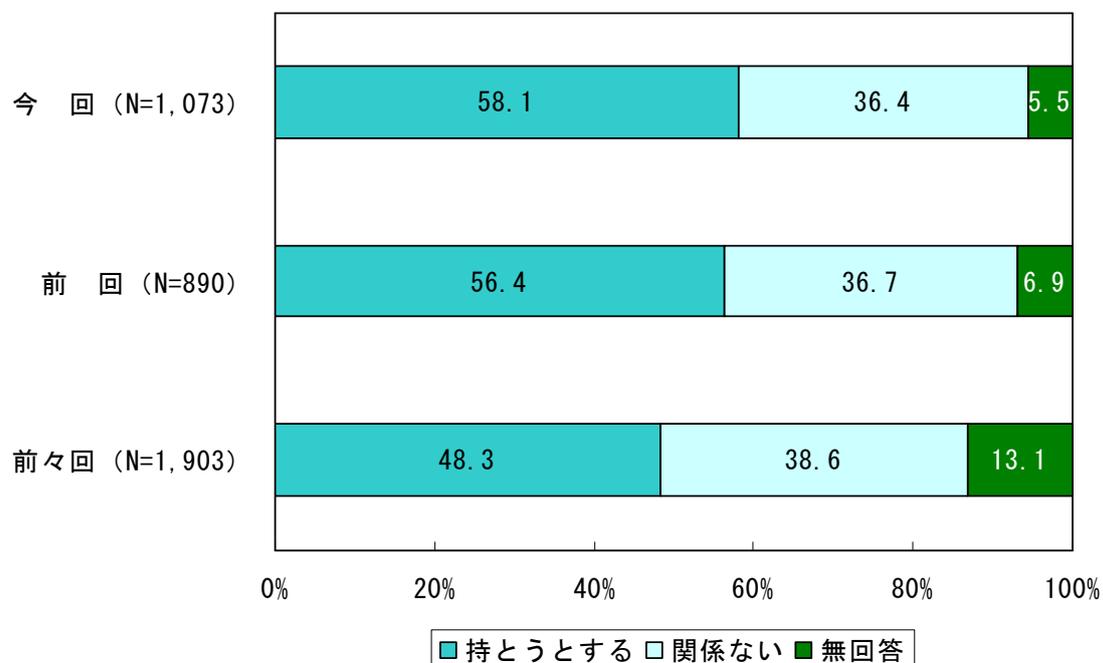
問 14 次の子育て支援策について、もしその支援策がとられたら、あなたは子どもが欲しいと思いますか？あるいは欲しいと思う人数の子どもを持とうとしますか？
次の（１）～（２５）までの支援策それぞれについて、「持とうとする」か、「関係ない」のどちらかの番号を１つだけ選び、○印を付けてください。

㊸住宅費用の支援

すべての回答者を対象に、「住宅費用の支援」が行われることによって、子どもを持とうと思うかどうかを尋ねたところ、「持とうとする」が 58.1%、「関係ない」が 36.4%となっている。

前回調査と比較しても、大きな異同はない。

住宅費用の支援



㊸子育てを社会的・経済的に評価する社会の実現

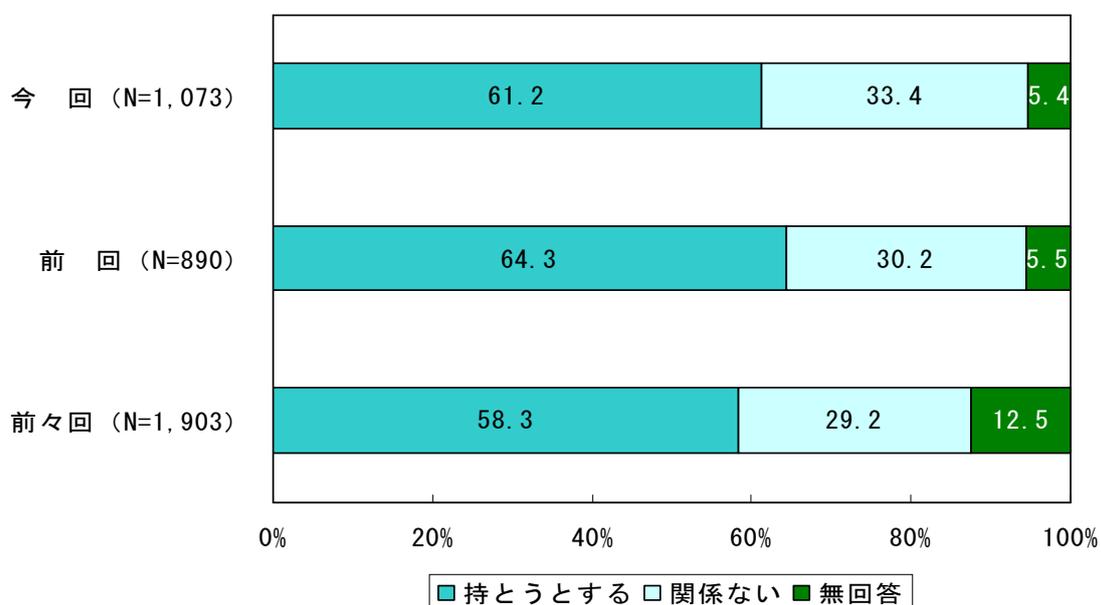
問 14 次の子育て支援策について、もしその支援策がとられたら、あなたは子どもが欲しいと思いますか？あるいは欲しいと思う人数の子どもを持とうとしますか？
次の（１）～（２５）までの支援策それぞれについて、「持とうとする」か、「関係ない」のどちらかの番号を１つだけ選び、○印を付けてください。

㊸子育てを社会的・経済的に評価する社会の実現

すべての回答者を対象に、「子育てを社会的・経済的に評価する社会の実現」が行われることによって、子どもを持とうと思うかどうかを尋ねたところ、「持とうとする」が61.2%、「関係ない」が33.4%となっている。

前回調査と比較しても、大きな異同はない。

子育てを社会的・経済的に評価する社会の実現

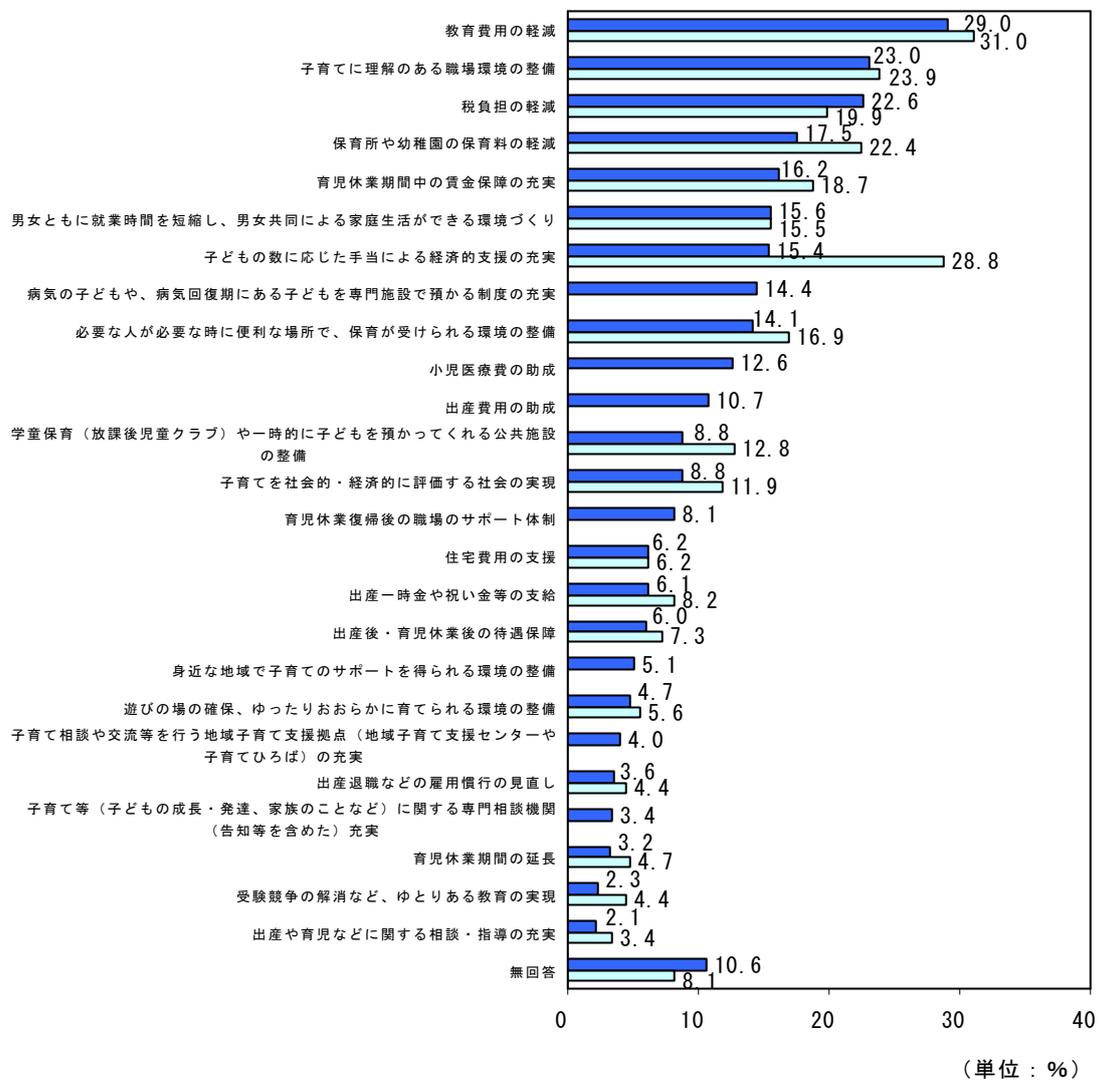


(7) 特に重視する子育て支援策

問 15 問 14 で「持とうとする」とお答えの支援策のうち、あなたが最も重視するものはどれですか？特に重視する支援策の番号を3つまで選び、(1) から (25) の番号でお答えください。

前問の子育て支援策について「持とうとする」と回答した支援策のうち、最も重視する支援策は何かを尋ねたところ（3つまでの複数回答）、「教育費用の軽減」の割合が29.0%と最も高く、以下「子育てに理解のある職場環境の整備」が23.0%、「税負担の軽減」が22.6%、「保育所や幼稚園の保育料の軽減」が17.5%と続いている。教育費や保育料などの経済的な負担軽減に対する支援要望が上位を占めているほか、職場環境の整備や育児休業などへの支援要望も上位を占めている。

特に重視する子育て支援策（複数回答）



■ 今回 (N=1,073) □ 前回 (N=890)

3. 育児休業について（全員）

（1）育児休業の申請

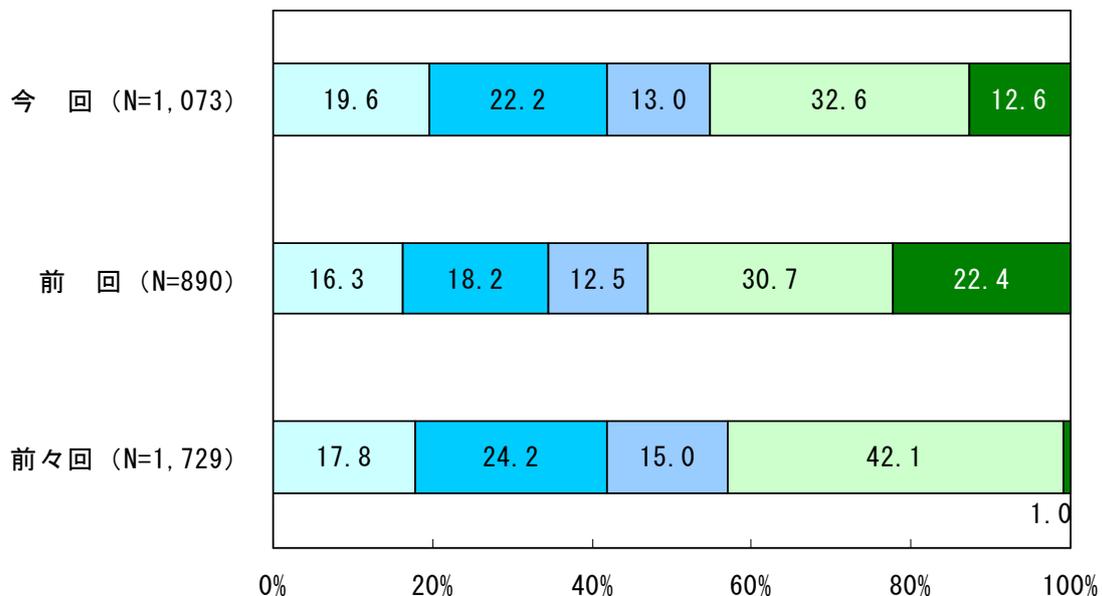
①育児休業の申請のしやすさ

問 16 現在、就労している（または、していた）方にお聞きします。あなたの職場、あるいは、過去に勤めていた職場は、育児休業を取得しやすい職場だと思いますか？次の中から、当てはまる番号に1つだけ○印を付けてください。

職場における育児休業の申請のしやすさを尋ねたところ、「申請しにくい」（32.6%）、または「少し申請しにくい」（13.0%）の合計（『申請しにくい』）は 45.6%となっている。それに対して、「まあまあ申請しやすい」（22.2%）、「申請しやすい」（19.6%）の合計（『申請しやすい』）は 41.8%で、『申請しにくい』という割合が上回っている。

前回調査と比較すると、「無回答」の割合が減少するなか、『申請しにくい』の割合が若干増加している一方で、『申請しやすい』の割合も幾分増加している。

育児休業の申請のしやすさ



□ 申請しやすい □ まあまあ申請しやすい □ 少し申請しにくい □ 申請しにくい □ 無回答

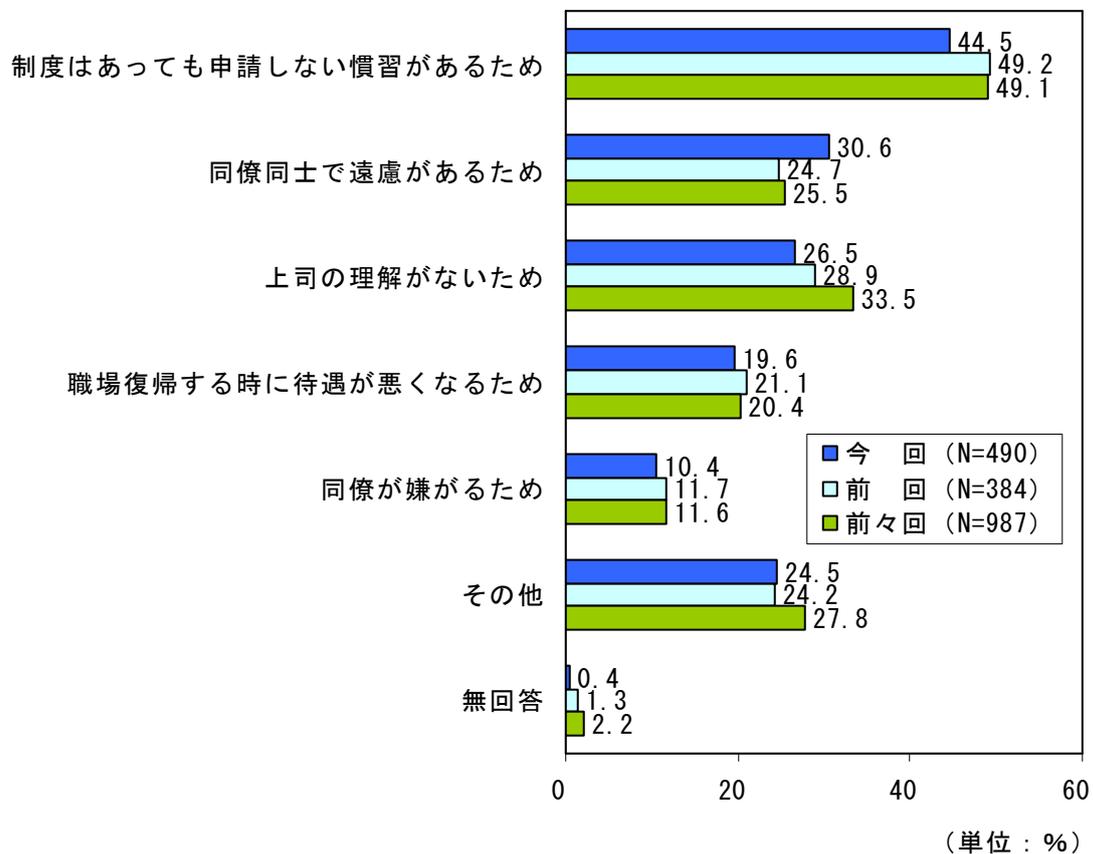
②育児休業を申請しにくい理由

問 17 問 16 で「3. 少し申請しにくい」、「4. 申請しにくい」とお答えの方にお聞きします。それはなぜですか？次の中から、当てはまる番号にすべて○印を付けてください。

育児休業を「少し申請しにくい」、もしくは「申請しにくい」と答えた 490 人を対象に、その理由を尋ねたところ（複数回答）、「制度はあっても申請しない慣習があるため」の割合が 44.5%と最も高く、以下「同僚同士で遠慮があるため」が 30.6%、「上司の理解がないため」が 26.5%、「職場復帰する時に待遇が悪くなるため」が 19.6%と続いている。

前々回調査、前回調査と比較すると、「上司の理解がないため」の割合が減少傾向にある一方、「同僚同士で遠慮があるため」の割合が増加している。

育児休業を申請しにくい理由（複数回答）



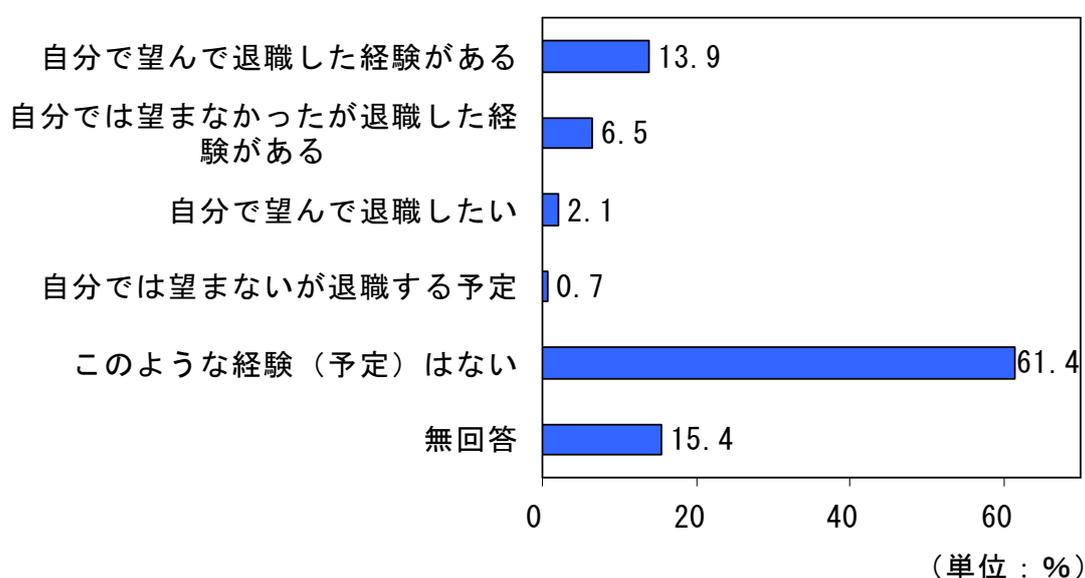
③妊娠・出産・育児を理由にした退職の経験

問 18 妊娠、出産、育児を理由に退職した経験（又は退職する意向）がありますか？次の中から、当てはまる番号に1つだけ○印を付けてください。

妊娠、出産、育児を理由に退職した経験（又は退職する意向）を尋ねたところ、「このような経験（予定）はない」との割合が 61.4%を占めるなか、「自分で望んで退職した経験がある」が 13.9%、「自分では望まなかったが退職した経験がある」が 6.5%となっている。

妊娠・出産・育児を理由にした退職の経験

全体（N=1,073）



(2) 育児休業の取得

①取得したい育児休業の期間

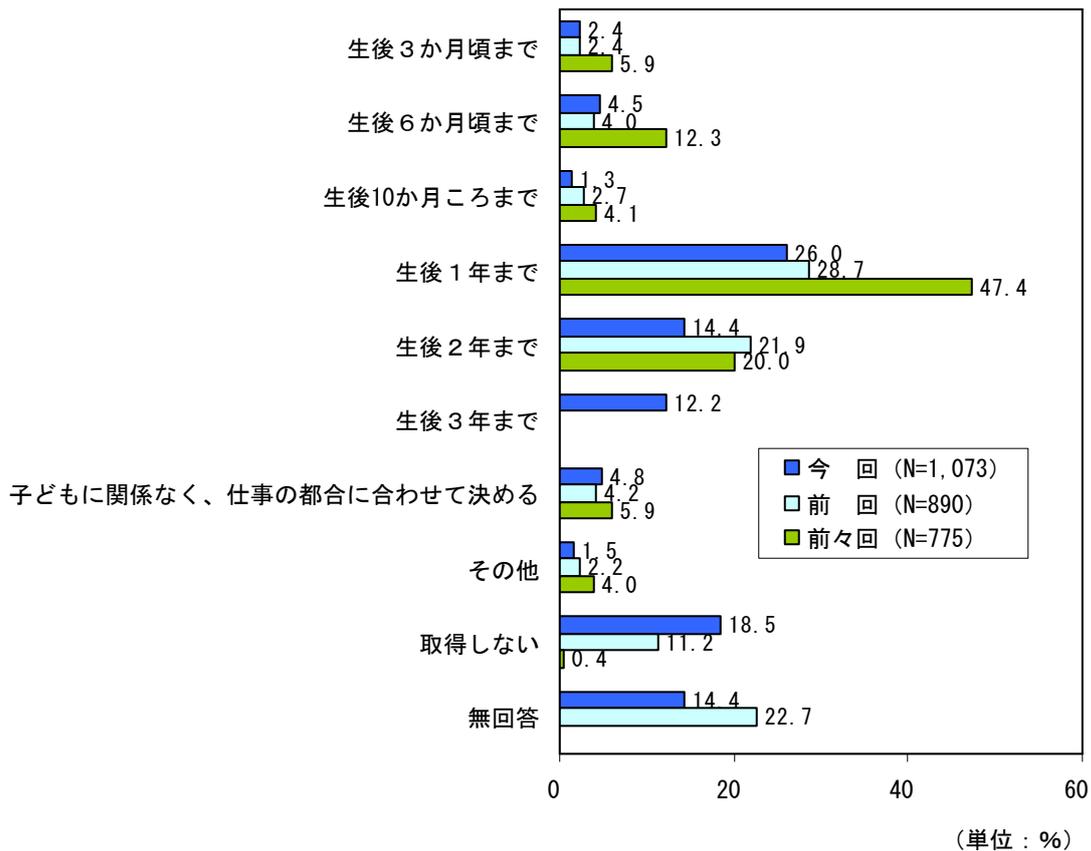
問 19 取得したい育児休業の期間は次のうちどれですか？子どもの月齢で、当てはまる番号に1つだけ○印を付けてください。

取得したい育児休業の期間について尋ねたところ、「生後1年まで」の割合が26.0%と最も高く、以下「取得しない」が18.5%、「生後2年まで」が14.4%、「生後3年まで」が12.2%と続いている。

前々回調査、前回調査では、「生後2年まで」「生後3年まで」という設問はなく、「生後1年以上」という設問であったため、単純な比較はできないが、「生後2年まで」(14.4%)、「生後3年まで」(12.2%)の合計が、前々回調査、前回調査の「生後1年以上」の割合よりも増加している。

※前回調査までの「生後1年以上」は「生後2年まで」に掲載している

取得したい育児休業の期間



②実際の取得（予定）期間

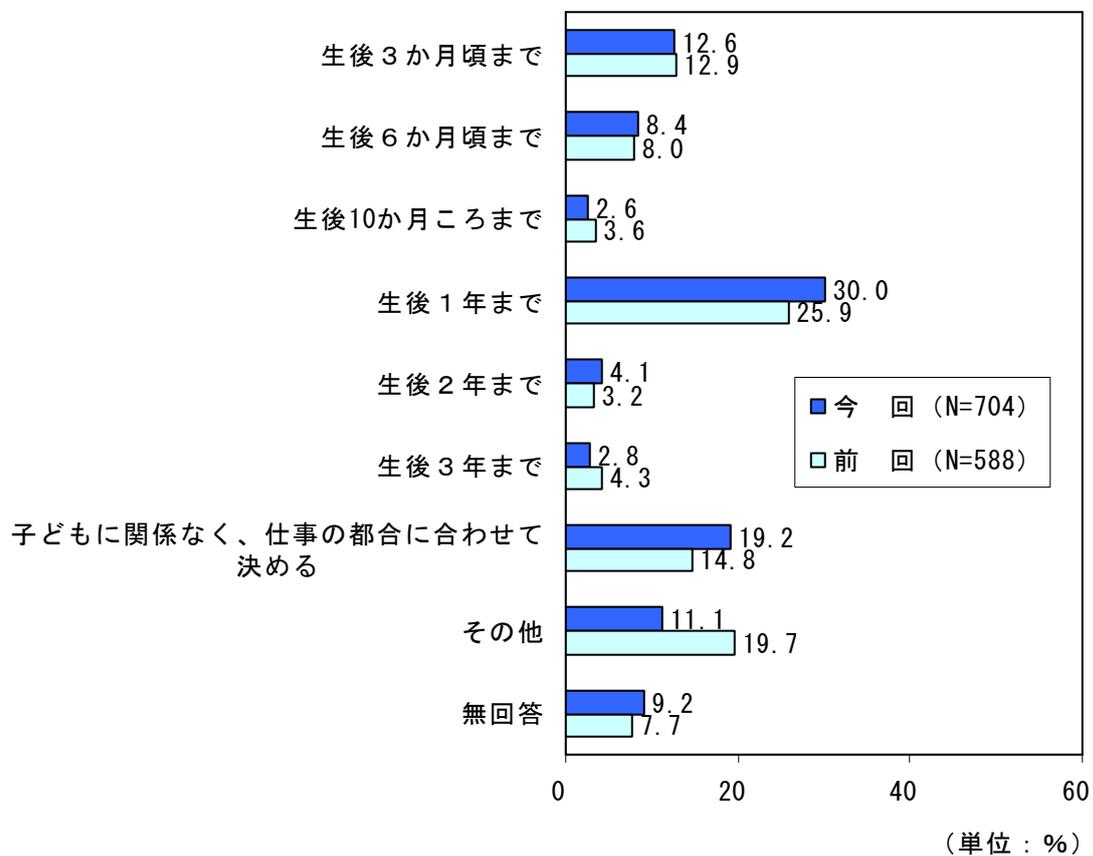
問 20 あなたが実際に取得する期間（または、した、する予定の期間）は、次のうちどれですか？子どもの月齢で、当てはまる番号に1つだけ○印を付けてください。

問 19 で育児休業の取得期間を答えた（取得したい意向がある）704 人を対象に、実際に取得する（あるいは、取得した、取得する予定の）育児休業の期間について尋ねたところ、「生後1年まで」の割合が30.0%と最も高くなっている。

前回調査と比較すると、「子どもに関係なく、仕事の都合に合わせて決める」とする割合が増加している。

※前々回調査では本設問なし

実際の取得（予定）期間

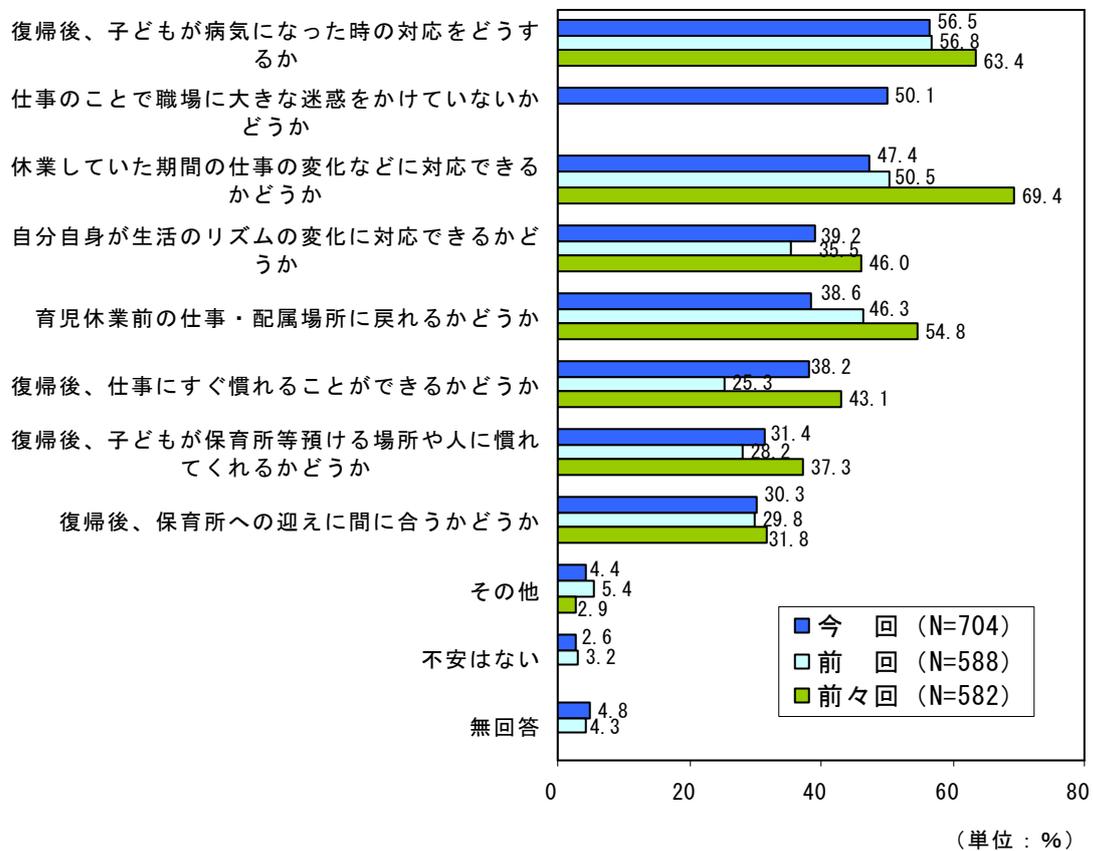


③育児休業取得の際の不安の要因

問 21 あなたが育休を取得する（または、した、する予定）際に、どのような事への不安がありますか（ありましたか）？次の中から、当てはまる番号にすべて○印を付けてください。

問 19 で育児休業の取得期間を答えた（取得したい意向がある）704 人を対象に、育児休業取得に際しての不安の要因を尋ねたところ（複数回答）、「復帰後、子どもが病気になった時の対応をどうするか」の割合が 56.5%と最も高く、以下「仕事のことで職場に大きな迷惑をかけていないかどうか」が 50.1%、「休業していた期間の仕事の変化などに対応できるかどうか」が 47.4%と続いている。

育児休業取得の際の不安の要因（複数回答）

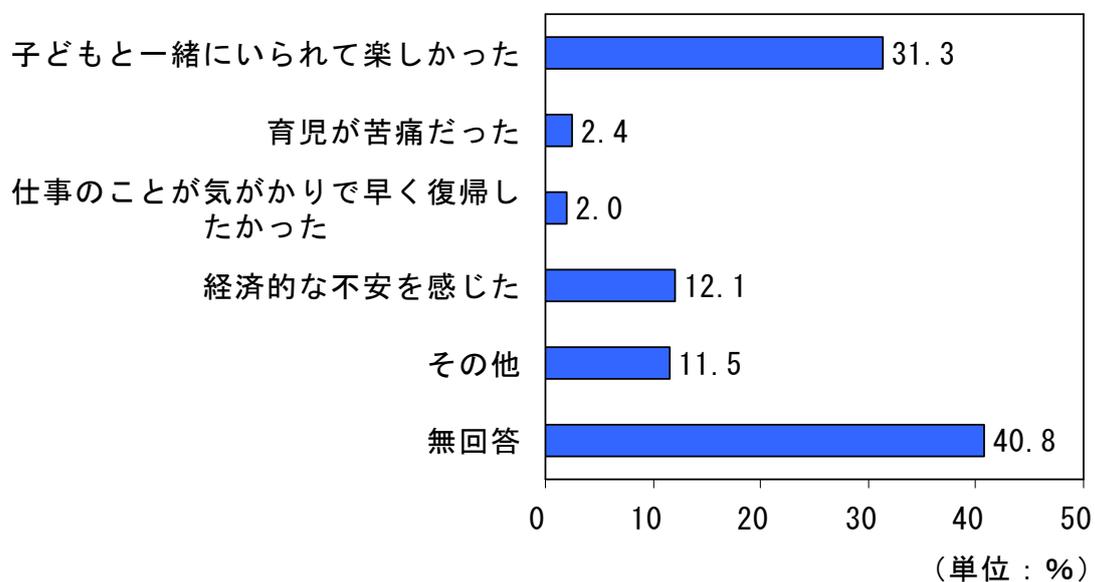


④育児休業中の生活の感想

問 22 あなたが育休を取得した際、育休中の生活をどのように感じましたか？次の中から、最も当てはまる番号に1つだけ○印を付けてください。

問 19 で育児休業の取得期間を答えた（取得したい意向がある）704 人を対象に、育児休業中の生活の感想を尋ねたところ、「無回答」の割合が約4割を占めるなか、「子どもと一緒にいられて楽しかった」が31.3%と最も高く、次いで「経済的な不安を感じた」が12.1%となっている。

育児休業中の生活の感想

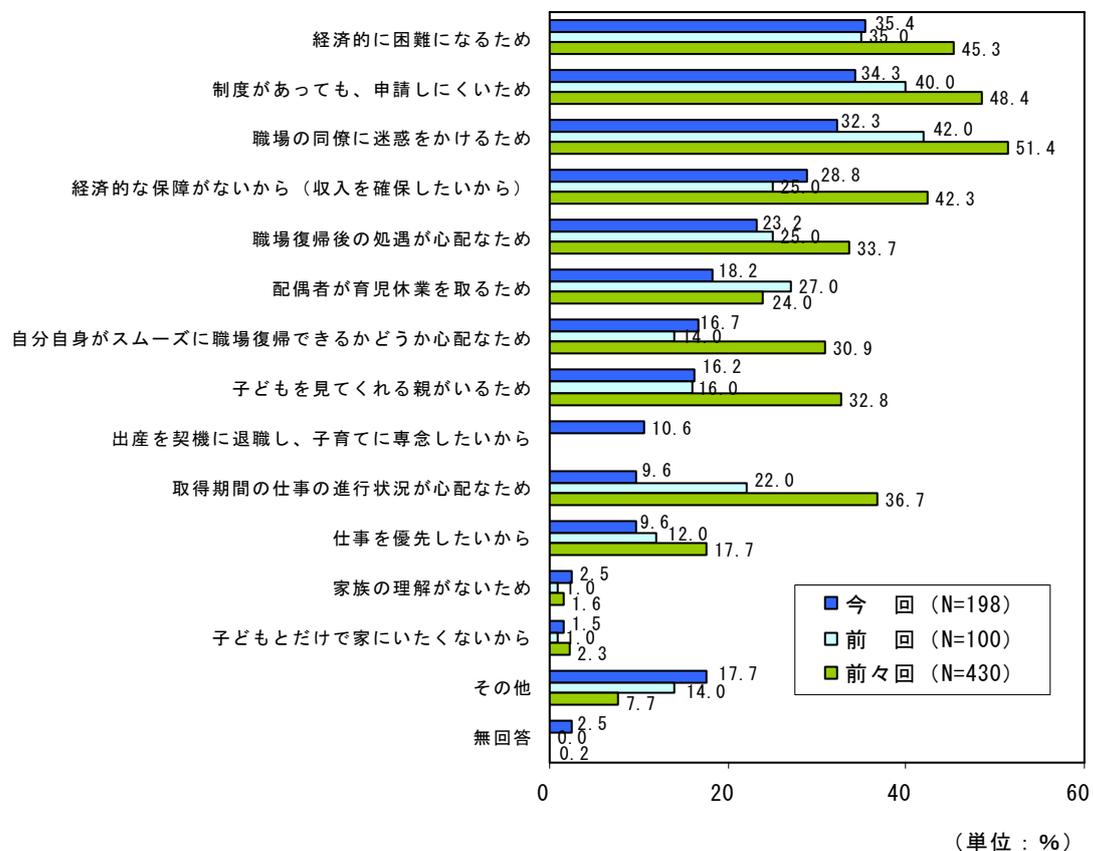


⑤育児休業を申請しない理由

問 23 問 19 で「9. 取得しない」とお答えの方にお聞きします。育児休業を申請しないのはなぜですか？次の中から、理由として当てはまる番号にすべて○印を付けてください。

問 19 で育児休業を申請する意向がないと答えた 198 人を対象に、その理由を尋ねたところ（複数回答）、「経済的に困難になるため」の割合が 35.4%と最も高く、以下「制度があっても、申請しにくいため」が 34.3%、「職場の同僚に迷惑をかけるため」が 32.3%と続いている。

育児休業を申請しない理由（複数回答）

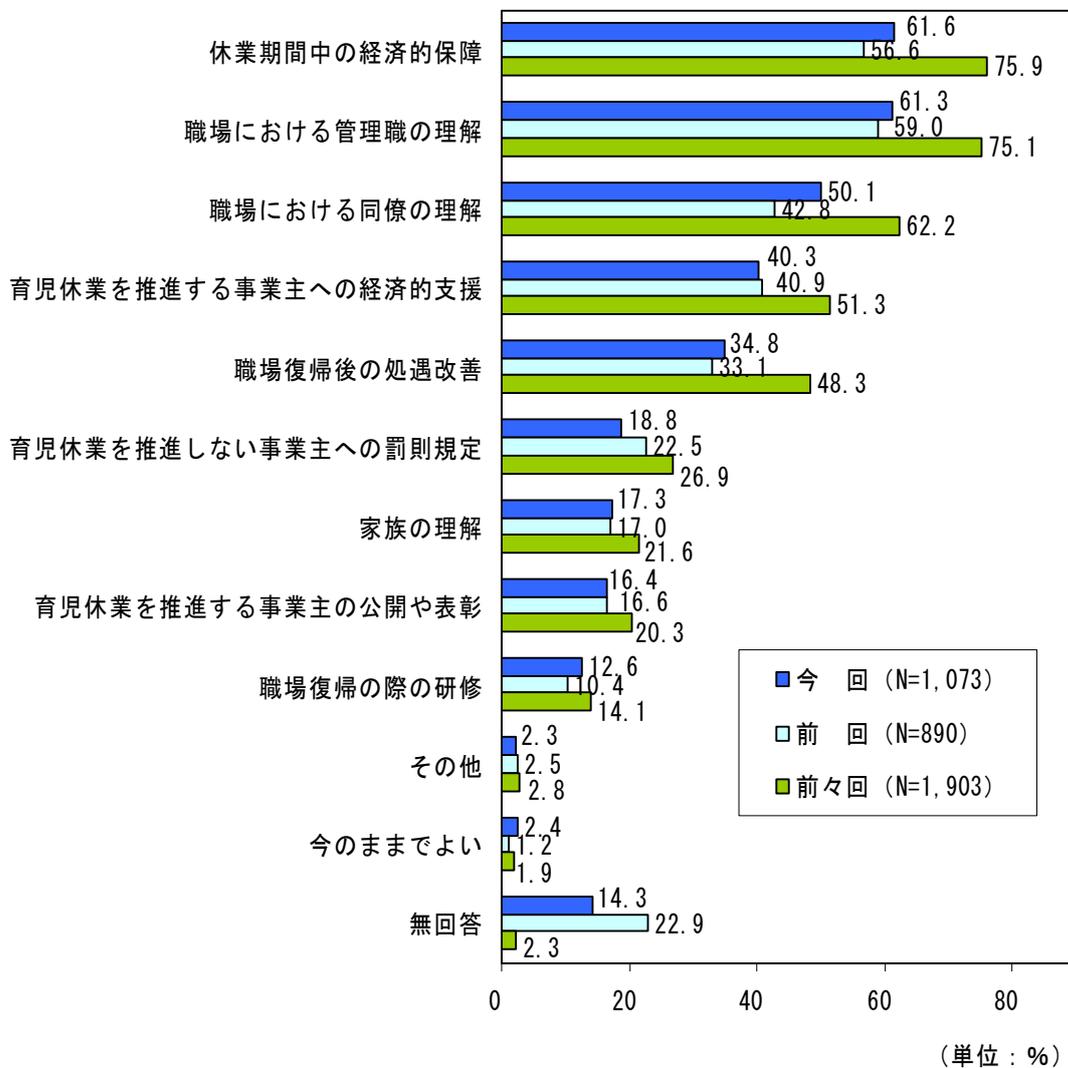


(3) 社会的に育児休業制度が推進されるための条件

問 24 あなたは、社会的に育児休業制度が推進されるようになるためには、どのような条件を整備することが必要だと思いますか？次の中から、必要だと思う項目の番号にすべて○印を付けてください。

すべての回答者を対象に、社会的に育児休業制度が推進されるようになるために必要な条件について尋ねたところ（複数回答）、「休業期間中の経済的保障」の割合が61.6%と最も高く、以下「職場における管理職の理解」が61.3%、「職場における同僚の理解」が50.1%、「育児休業を推進する事業主への経済的支援」が40.3%と続いている。

社会的に育児休業制度が推進されるための条件（複数回答）



4. 仕事と家庭生活について（子どもがいる人のみ）

（1）仕事と家庭生活のバランスについて

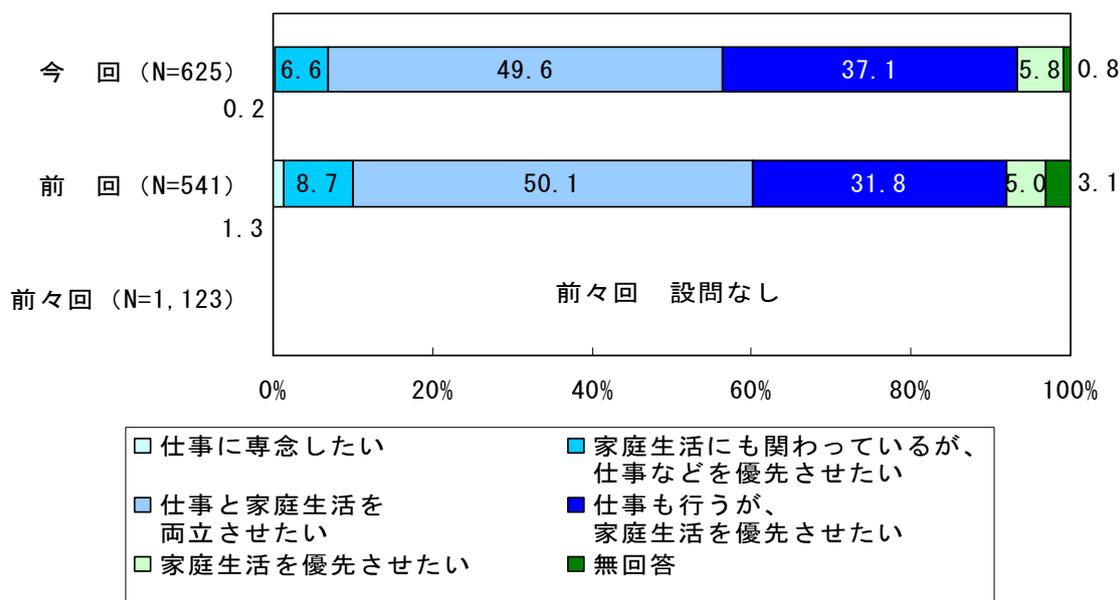
①希望するバランススタイル

問 25 あなた自身の仕事（仕事・趣味・その他ご自身のやりたいこと）と、家庭生活（家事・育児）のバランスについて、あなたが希望するスタイルはどれですか？次の中から、当てはまる番号に1つだけ○印を付けてください。

子どもを持つ 625 人を対象に、仕事と家庭生活のバランスに関しての希望するスタイルを尋ねたところ、「仕事と家庭生活を両立させたい」の割合が 49.6%と最も高く、次いで「仕事も行うが、家庭生活を優先させたい」が 37.1%で続いている。

前回調査と比較すると、「仕事も行うが、家庭生活を優先させたい」の割合が幾分増加している。

希望するバランススタイル

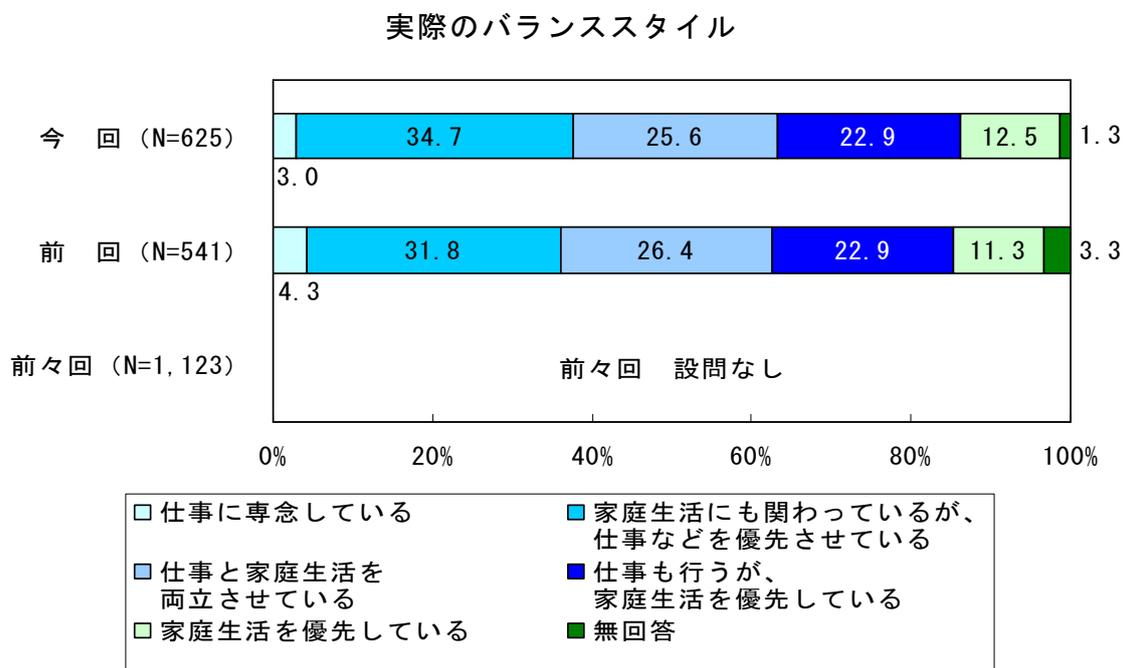


②実際のバランススタイル

問 26 あなた自身の仕事（仕事・趣味・その他ご自身のやりたいこと）と、家庭生活（家事・育児）のバランスについて、次の中から、当てはまる番号に1つだけ○印を付けてください。

子どもを持つ 625 人を対象に、仕事と家庭生活のバランスに関する実際のスタイルを尋ねたところ、「家庭生活にも関わっているが、仕事などを優先させている」の割合が 34.7%と最も高く、次いで「仕事と家庭を両立させている」が 25.6%、「仕事も行うが、家庭生活を優先している」が 22.9%で続いている。

前回調査と比較すると、「家庭生活にも関わっているが、仕事などを優先させている」の割合が若干増加している。



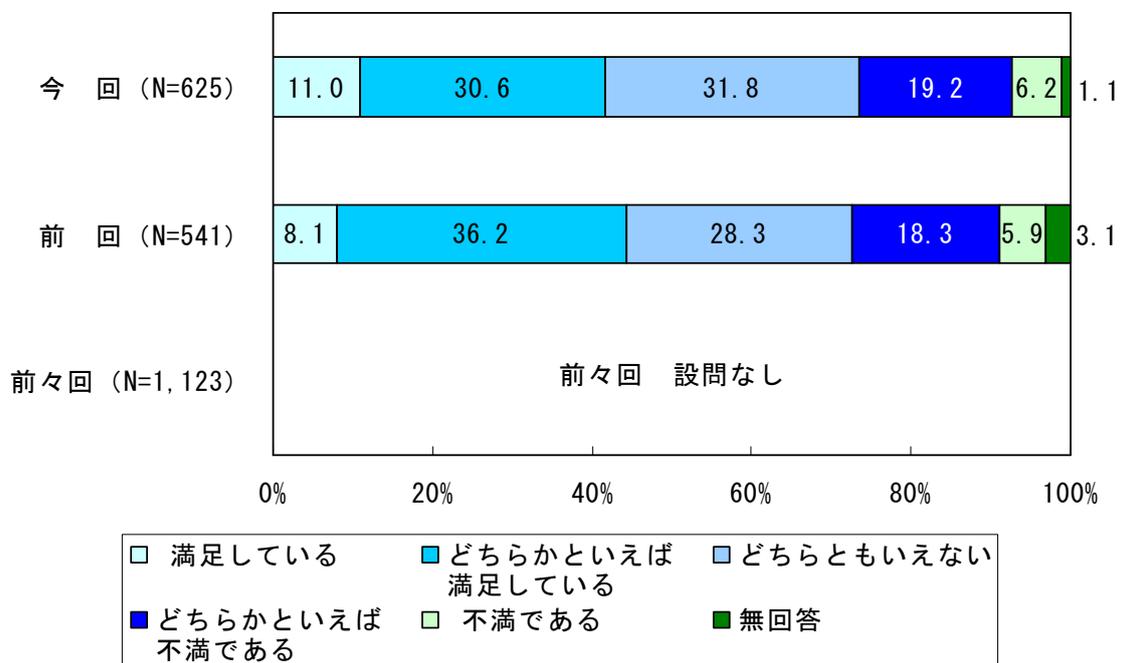
③自分自身のバランススタイルについて

問 27 あなたは、自身の仕事（仕事・趣味・その他ご自身のやりたいこと）と、家庭生活（家事・育児）のバランスについて、どのように感じていますか？次の中から、当てはまる番号に1つだけ○印を付けてください。

子どもを持つ 625 人を対象に、回答者自身のバランススタイルに対する満足度を尋ねたところ、「満足している」(11.1%)、「どちらかといえば満足している」(30.6%) の合計（『満足』）は 41.7%となっているのに対し、「どちらかといえば不満である」(19.2%)、「不満である」(6.2%) の合計（『不満』）は 25.4%と、『満足』の割合が上回っている。

前回調査と比較すると、『満足』『不満』とも、それぞれの割合に大きな変化はない。

自分自身のバランススタイルについて



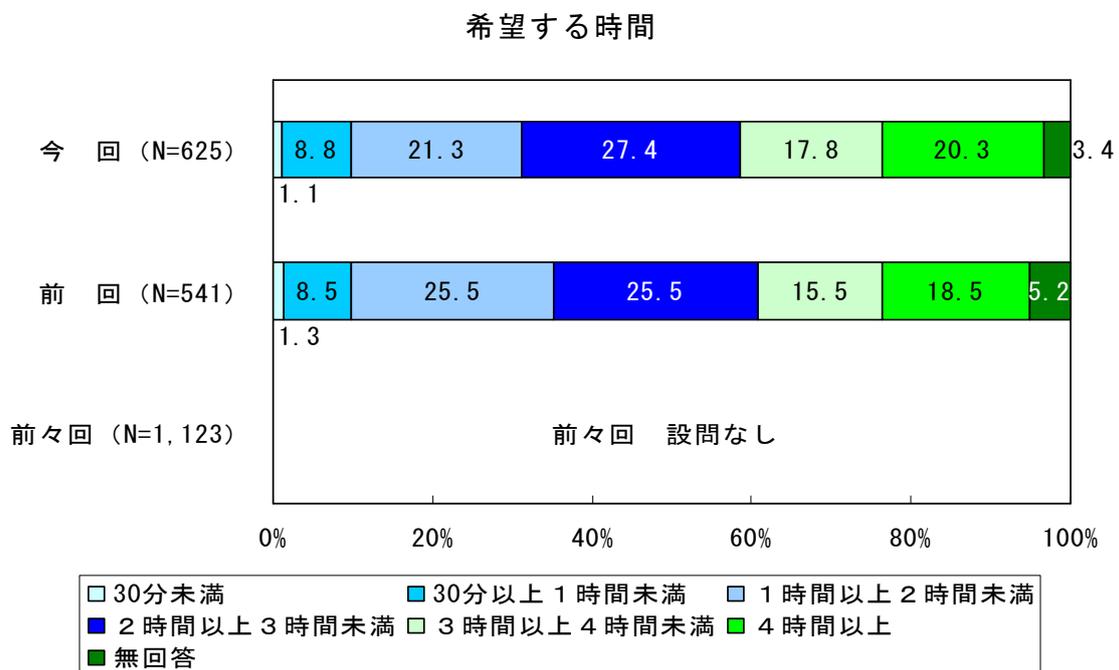
(2) 子どもとのふれあい時間について

①希望する時間

問 28 あなたまたは配偶者がお勤めになっている方にお尋ねします。お勤めになっている方の子どものふれあい時間は勤務日にどのくらい欲しいですか？次の中から、当てはまる番号に1つだけ○印を付けてください。

子どもを持つ 625 人を対象に、子どもとのふれあい時間についての希望する時間を尋ねたところ、「2 時間以上 3 時間未満」の割合が 27.4%と最も高く、次いで「1 時間以上 2 時間未満」が 21.3%で続いている。

前回調査と比較すると、「2 時間以上 3 時間未満」「3 時間以上 4 時間未満」「4 時間以上」の割合がそれぞれ若干増加している。



②実際の時間

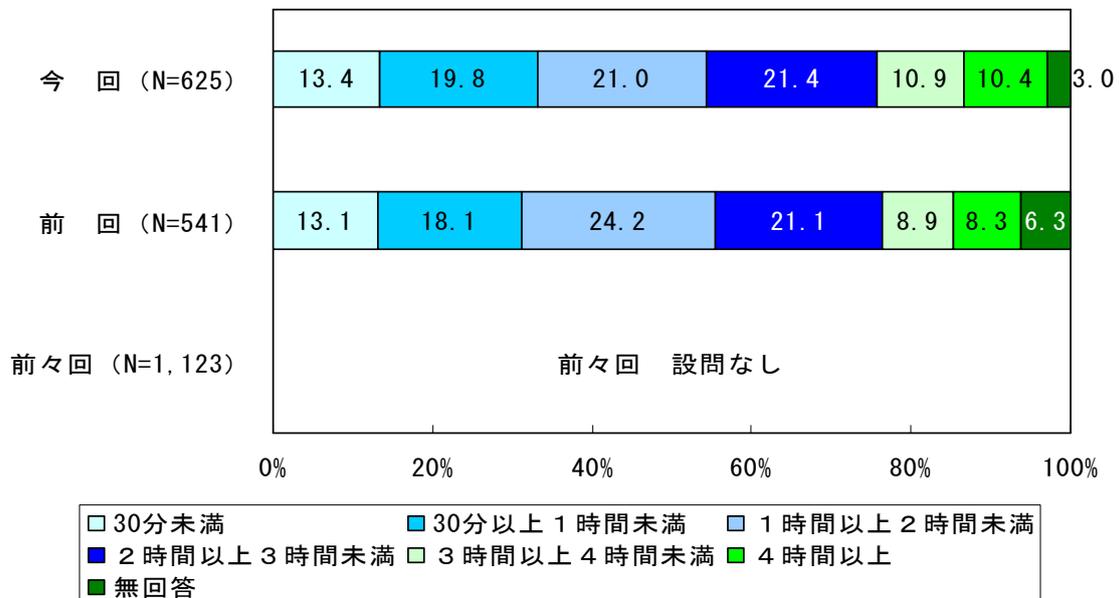
問 29 あなたまたは配偶者がお勤めになっている方にお尋ねします。お勤めになっている方の子どもとのふれあい時間は勤務日にどのくらいありますか？次の中から、当てはまる番号に1つだけ○印を付けてください。

子どもを持つ 625 人を対象に、子どもとのふれあい時間に関する実際の時間を尋ねたところ、「2 時間以上 3 時間未満」の割合が 21.4%と最も高く、次いで「1 時間以上 2 時間未満」が 21.0%で続いている。

前問の希望する時間では「30 分未満」と「30 分以上 1 時間未満」の合計が約 1 割となっている一方で、実際の時間では「30 分未満」(13.4%)、「30 分以上 1 時間未満」(19.8%)と合わせて 3 割超となっている。

前回調査と比較すると、「1 時間以上 2 時間未満」の割合が若干減少したが、全体として大きな異同はない。

実際の時間

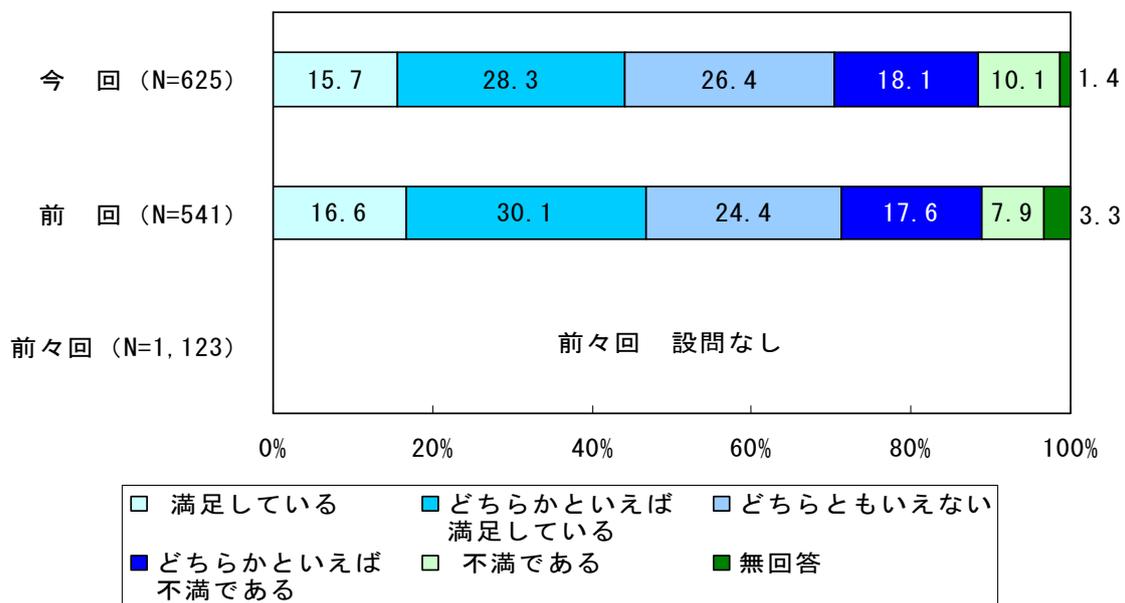


③自分自身の子どもとふれあう時間について

問 30 あなたは、子どもとふれあう時間が十分にあると感じていますか？次の中から、当てはまる番号に1つだけ○印を付けてください。

子どもを持つ 625 人を対象に、回答者自身が子どもとふれあう時間に対しての満足度を尋ねたところ、「満足している」(15.7%)、「どちらかといえば満足している」(28.3%) の合計 (『満足』) は 44.0%となっているのに対し、「どちらかといえば不満である」(18.1%)、「不満である」(10.1%) の合計 (『不満』) は 28.2%と、『満足』の割合が上回っている。前回調査と比較しても、大きな異同はない。

自分自身の子どもとふれあう時間について



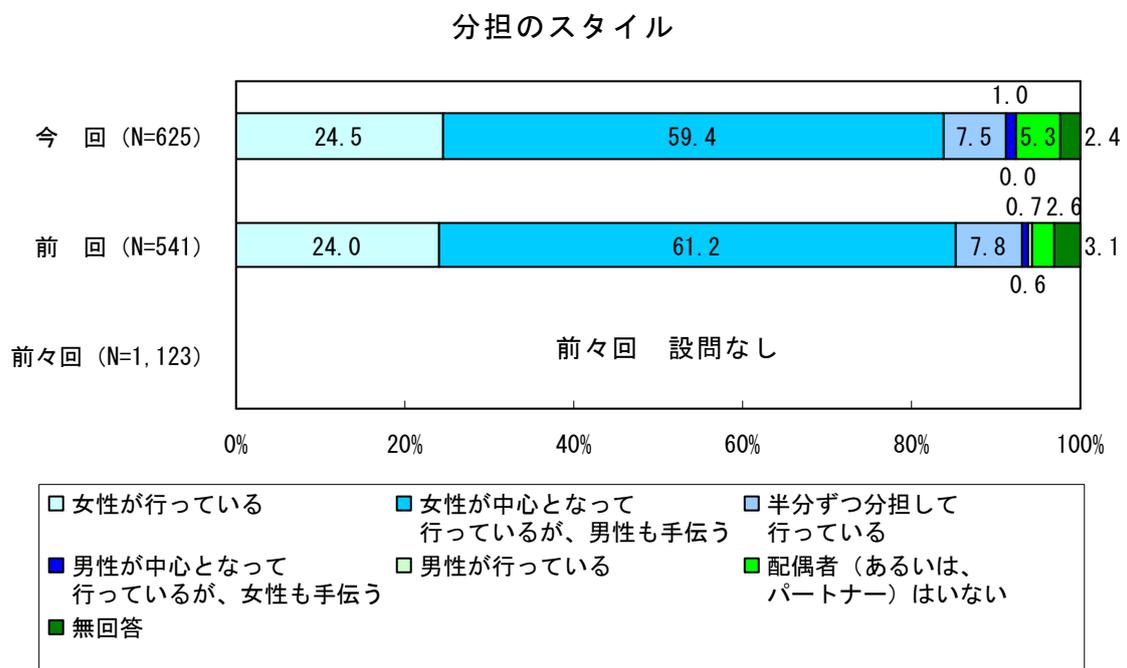
(3) 家事・育児の分担

① 分担のスタイル

問 31 あなたと配偶者（あるいは、パートナー）との家事・育児分担について、どのようになっていますか？次の中から、当てはまる番号に1つだけ○印を付けてください。

子どもを持つ625人を対象に、家事・育児の分担スタイルを尋ねたところ、「女性が中心となって行っているが、男性も手伝う」の割合が59.4%と最も高く、次いで「女性が行っている」が24.5%と続いている。両者を合計すると83.9%となり、家事・育児は女性中心で行われている様子が伺える。

前回調査と比較しても、大きな異同はない。



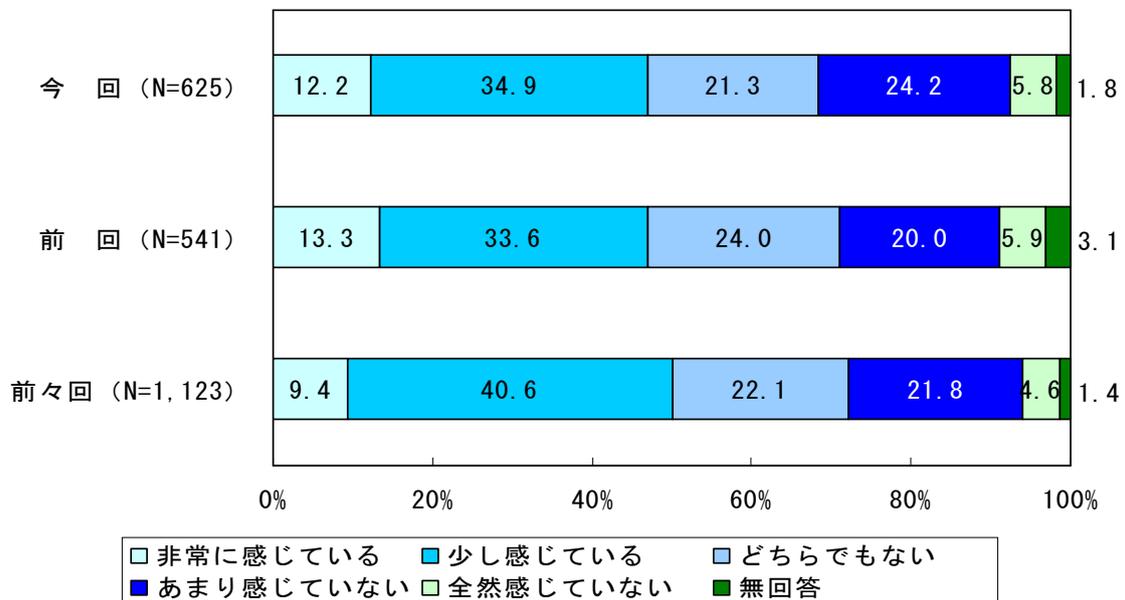
②家事・育児に対する負担感

問 32 あなたは、家事・育児に対して負担を感じていますか？次の中から、当てはまる番号に1つだけ○印を付けてください。

子どもを持つ625人を対象に、家事・育児に対して負担を感じているかどうかを尋ねたところ、「非常に感じている」(12.2%)、「少し感じている」(34.9%)の合計(『負担に感じている』)は47.1%となっているのに対し、「あまり感じていない」(24.2%)、「全然感じていない」(5.8%)の合計(『負担に感じていない』)は30.0%と、『負担に感じている』の割合が上回っている。

前回調査と比較すると、「どちらでもない」の割合が若干減少し、「あまり感じていない」の割合が若干増加したが、大きな異同はない。

家事・育児に対する負担感

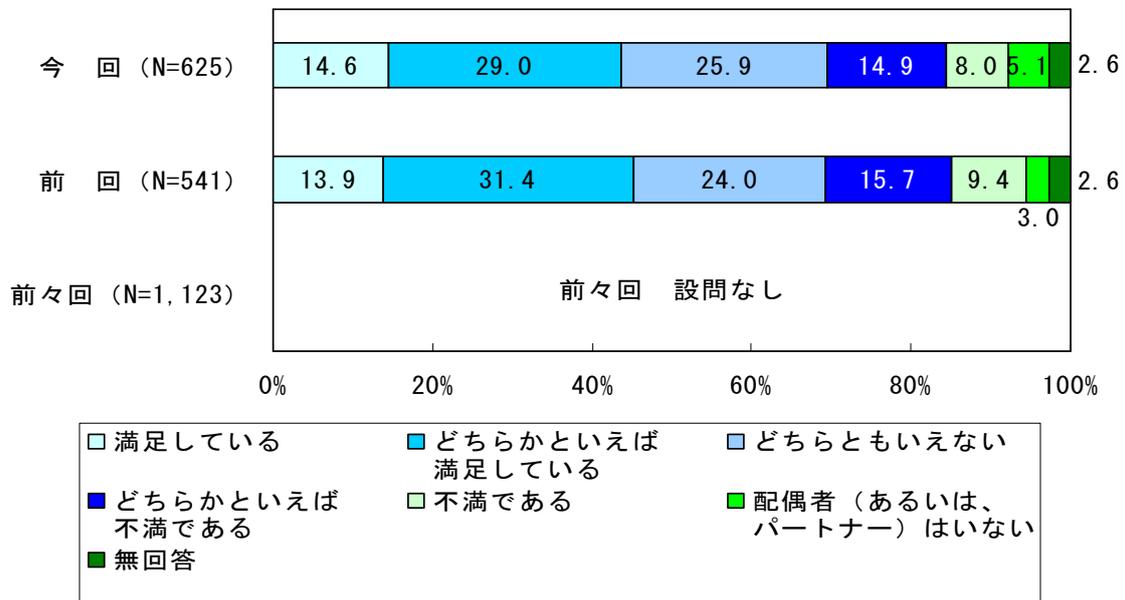


③配偶者（パートナー）との家事・育児の分担

問 33 あなたは、あなたの配偶者（あるいは、パートナー）との家事・育児の分担に満足していますか？次の中から、当てはまる番号に1つだけ○印を付けてください。

子どもを持つ 625 人を対象に、配偶者との家事・育児の分担に対する満足度を尋ねたところ、「満足している」(14.6%)、「どちらかといえば満足している」(29.0%)の合計(『満足』)は 43.6%となっているのに対し、「どちらかといえば不満である」(14.9%)、「不満である」(8.0%)の合計(『不満』)は 22.9%と、『満足』の割合が上回っている。前回調査と比較しても、大きな異同はない。

配偶者（パートナー）との家事・育児の分担



④自分の時間を取得するために必要な条件

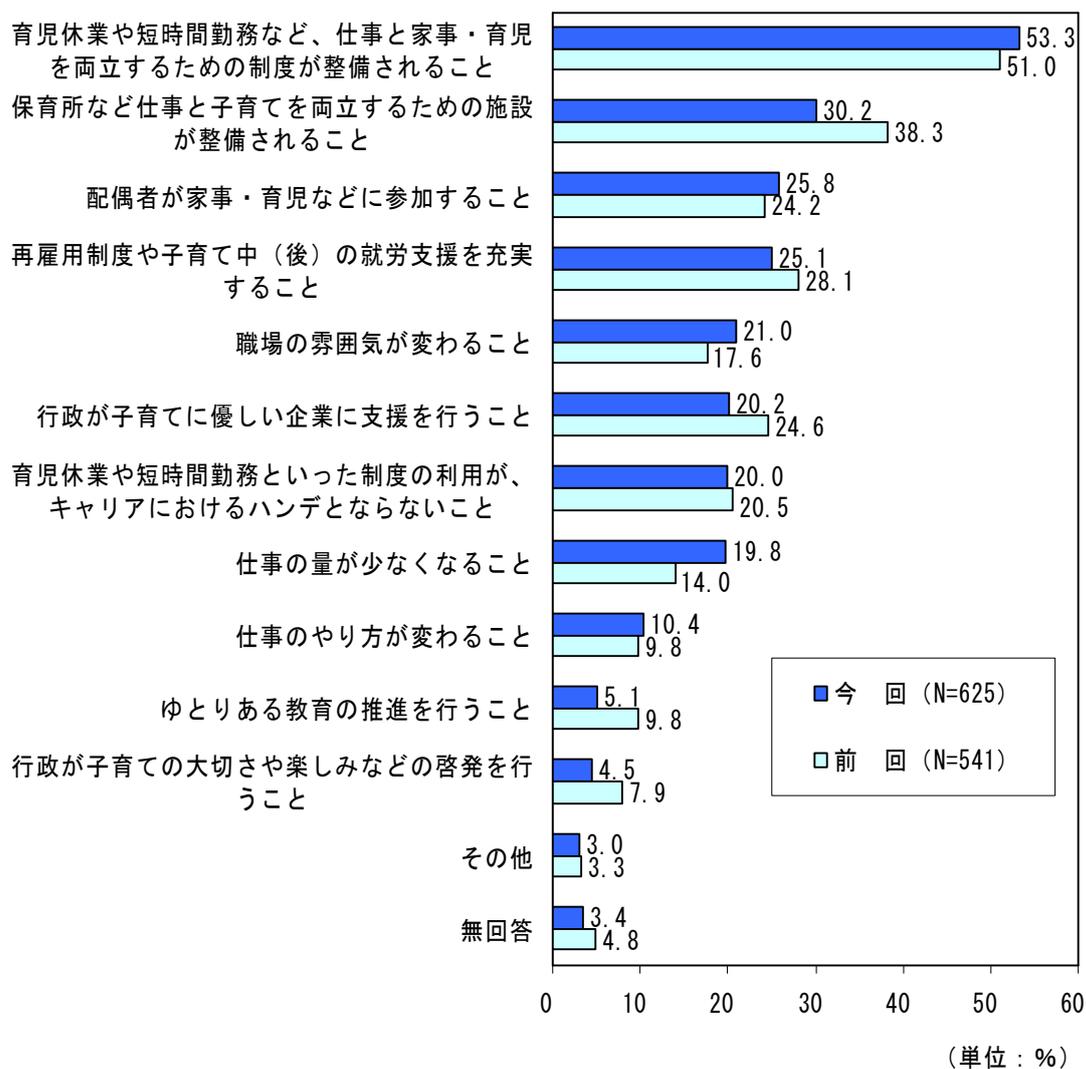
問 34 自分が希望する時間の取り方のために必要だと思うことはなんですか？次の中から、当てはまる番号に3つまで○印を付けてください。

子どもを持つ 625 人を対象に、自分が希望する時間を確保するために必要な条件を尋ねたところ（3つまでの複数回答）、「育児休業や短時間勤務など、仕事と家事・育児を両立するための制度が整備されること」が 53.3%と最も高く、以下「保育所など仕事と子育てを両立するための施設が整備されること」が 30.2%「配偶者が家事・育児などに参加すること」が 25.8%と続いている。

前回調査と比較すると、「職場の雰囲気が変わること」の割合が幾分増加し、項目の順位も上がっている。

※前々回調査では本設問なし

自分の時間を取得するために必要な条件（複数回答）



5. 子育てへの支出について（子どもがいる人のみ）

（1）世帯収入

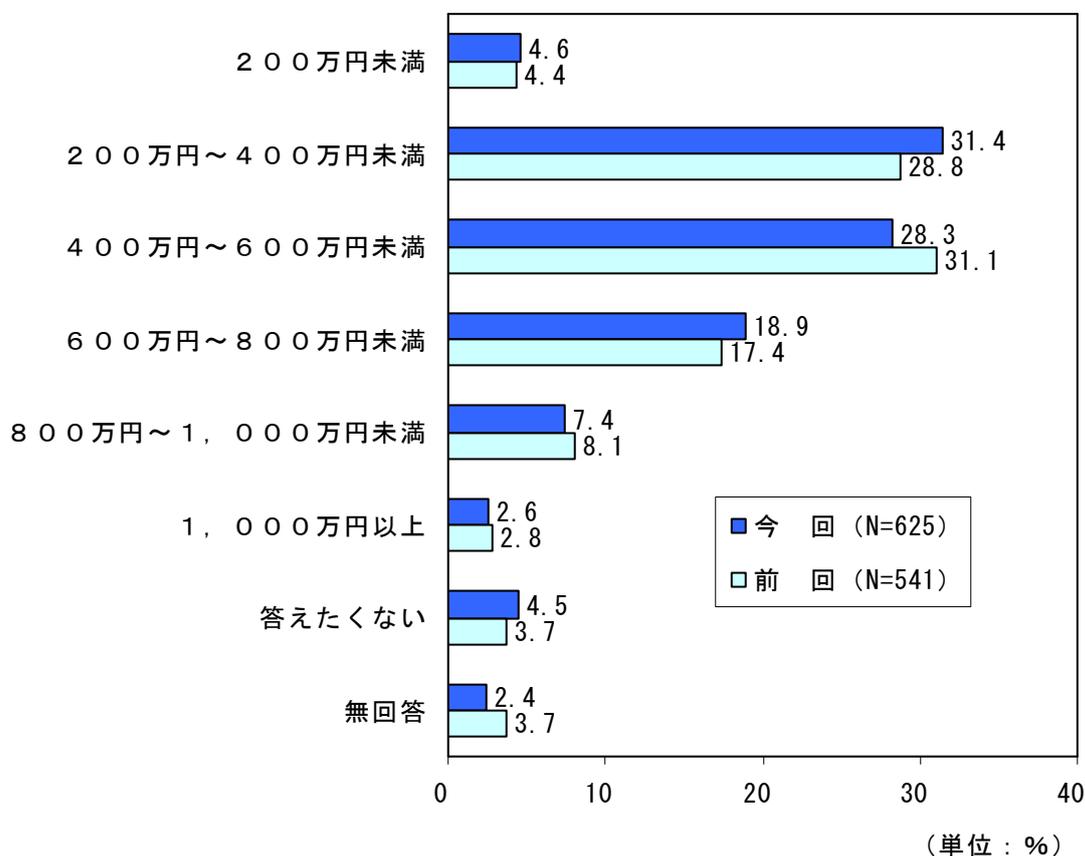
問 35 あなたの家庭全体での1年間の収入をお聞かせください。次の中から、当てはまる番号に1つだけ○印を付けてください。

※ご夫婦両方に収入がある場合は合算した金額でお答えください。また、ご夫婦以外のご家族の収入は含めないでください。

子どもを持つ625人を対象に、家庭全体での収入を尋ねたところ、「200万円～400万円未満」の割合が31.4%と最も高く、次いで「400万円～600万円未満」が28.3%と続いている。

※前々回調査では本設問なし

世帯収入



(2) 子育てのための費用

① 月間支出額

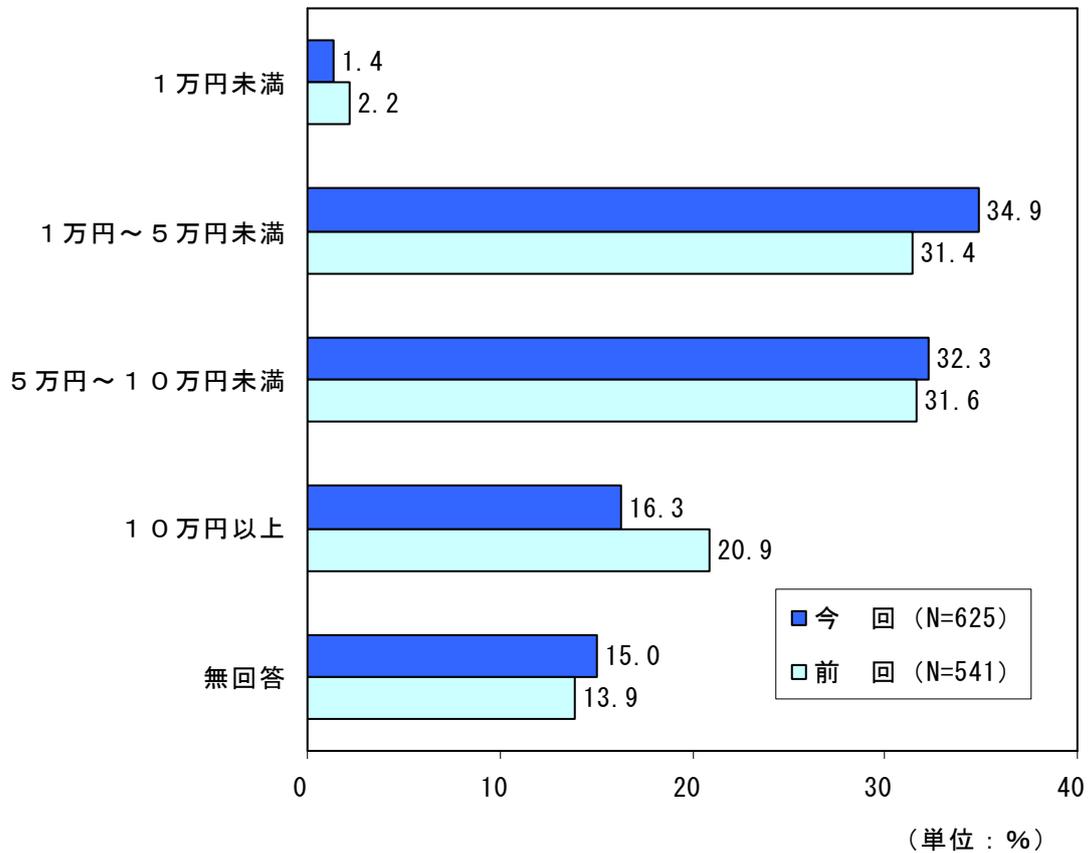
問 36 あなたは、子育てのために、月にどのくらい支出していますか？

子どもを持つ 625 人を対象に、子育て費用の月間支出額を尋ねたところ、「1 万円～5 万円未満」の割合が 34.9%と最も高く、次いで「5 万円～10 万円未満」が 32.3%と続いている。

なお、平均の月間支出額は 60,983 円である。(前回の平均の月間支出額は 66,459 円)

※前々回調査では本設問なし

月間支出額

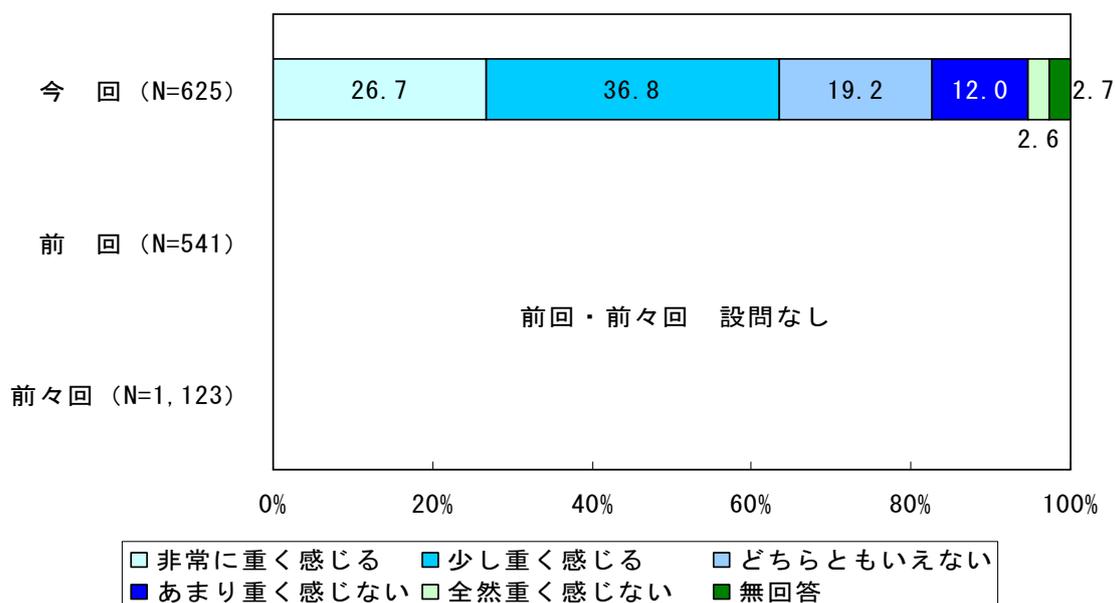


②子育て費用の負担感

問 37 あなたは子育て費用の負担について、子どもをお持ちになる前に思っていた負担感と比べて、どのように感じていますか？次の中から、当てはまる番号に1つだけ○印を付けてください。

子どもを持つ625人を対象に、子育て費用の負担感について尋ねたところ、「非常に重く感じる」(26.7%)、「少し重く感じる」(36.8%)の合計(『負担を感じる』)は63.5%となっているのに対し、「あまり重く感じない」(12.0%)、「全然重く感じない」(2.6%)の合計(『負担に感じない』)は14.6%と、『負担を感じる』割合が上回っている。

子育て費用の負担感



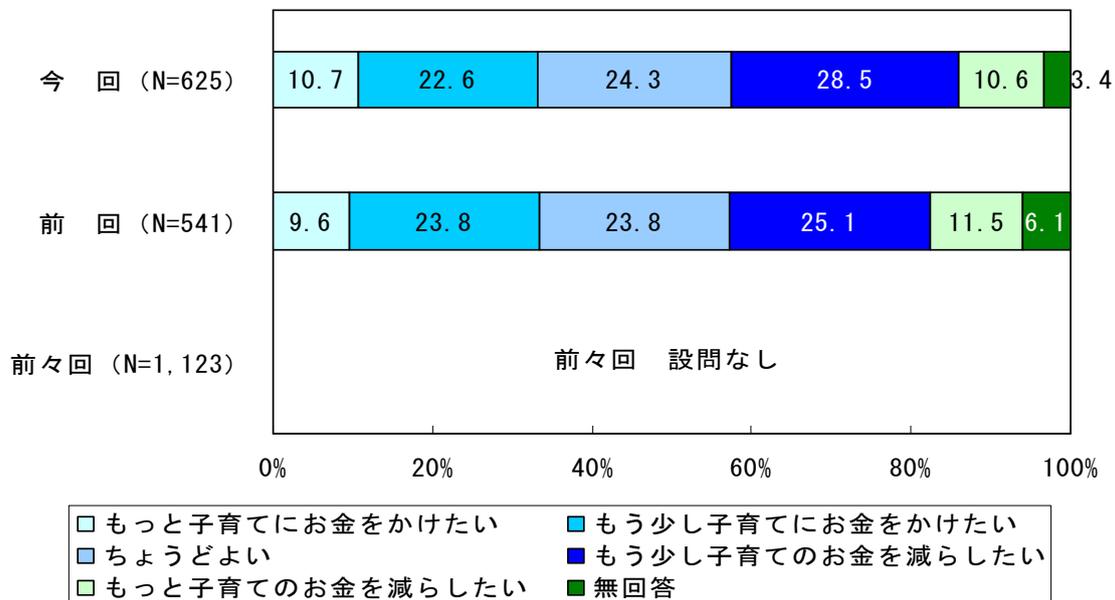
③家計に占める子育て費用の割合

問 38 あなたは子育て費用が家計に占める割合についてどのように感じていますか？次の中から、当てはまる番号に1つだけ○印を付けてください。

子どもを持つ 625 人を対象に、家計に占める子育て費用の割合について尋ねたところ、「もっと子育てにお金をかけたい」(10.7%)、「もう少し子育てにお金をかけたい」(22.6%)の合計(『お金をかけたい』)は 33.3%となっているのに対し、「もう少し子育てのお金を減らしたい」(28.5%)、「もっと子育てのお金を減らしたい」(10.6%)の合計(『負担を減らしたい』)は 39.1%と、『負担を減らしたい』とする割合が上回っている。

前回調査と比較すると、「無回答」の割合が若干減少した分、「もう少し子育てのお金を減らしたい」の割合が若干増加している。

家計に占める子育て費用の割合



(3) 行政に望む子育てに対する経済的支援対策の制度

問 39 子育て等に対する経済的支援対策として、行政に対してどのような制度を望みますか？当てはまる番号に3つまで○印を付けてください。

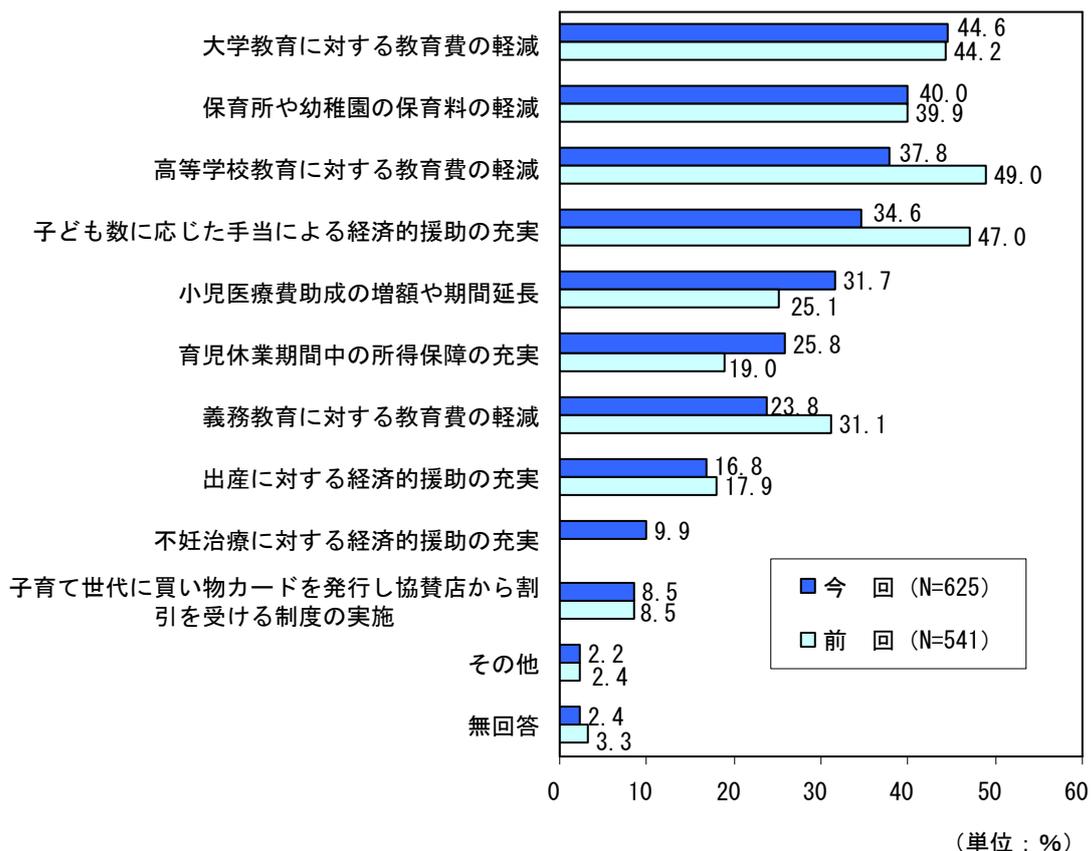
子どもを持つ625人を対象に、子育てに対する経済的支援対策として行政に望む制度を尋ねたところ（3つまでの複数回答）、「大学教育に対する教育費の軽減」の割合が44.6%と最も高く、次いで「保育所や幼稚園の保育料の軽減」が40.0%、「高等学校教育に対する教育費の軽減」が37.8%と続いている。

前回調査と比較すると、「高等学校教育に対する教育費の軽減」「子ども数に応じた手当による経済的援助の充実」「義務教育に対する教育費の軽減」の割合がそれぞれ減少している。

※前回調査の「乳幼児医療費助成の増額や期間延長」は「小児医療費助成の増額や期間延長」に掲載している。

※前々回調査では本設問なし

行政に望む子育てに対する経済的支援対策の制度（複数回答）



6. 結婚について（未婚、または現在独身の方のみ）

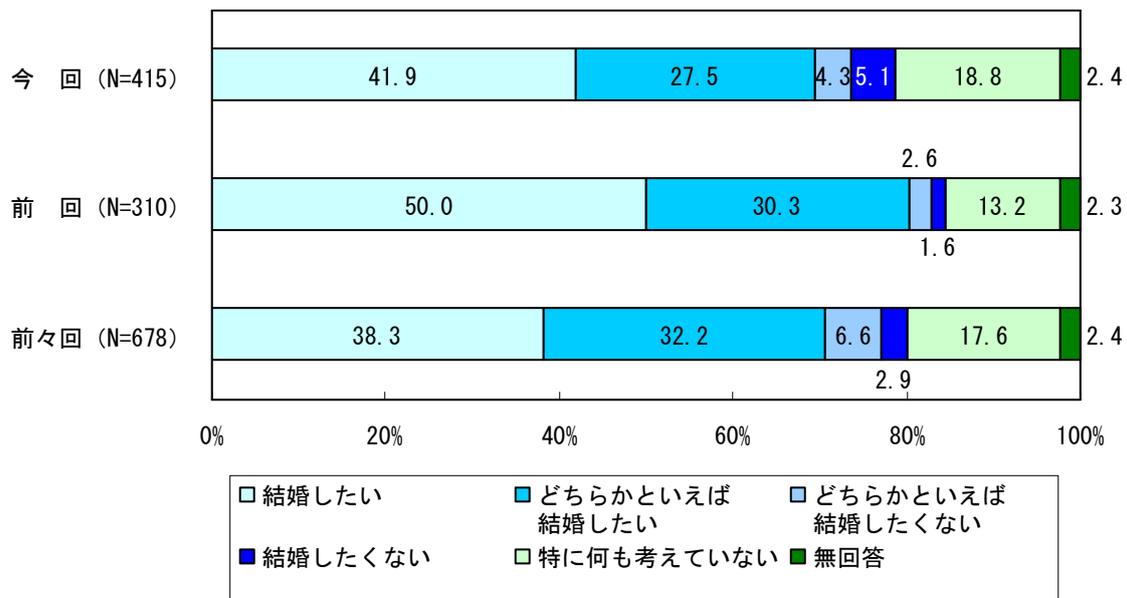
（1）結婚に対する意識

問 40 あなたは、結婚についてどのようなお考えをお持ちですか？次の中から、最も当てはまる番号に1つだけ○印を付けてください。

未婚者（離婚・死別等含む）である415人を対象に、結婚に対する意識を尋ねたところ、「結婚したい」（41.9%）、「どちらかといえば結婚したい」（27.5%）の合計（『結婚したい』）は69.4%となっているのに対し、「どちらかといえば結婚したくない」（4.3%）、「結婚したくない」（5.1%）の合計（『結婚したくない』）は9.4%と、『結婚したい』とする割合が上回っている。

前回調査と比較すると、『結婚したい』とする割合が約1割減少した一方で、『結婚したくない』とする割合が幾分増加したほか、「特に何も考えていない」とする割合も増加している。

結婚に対する意識



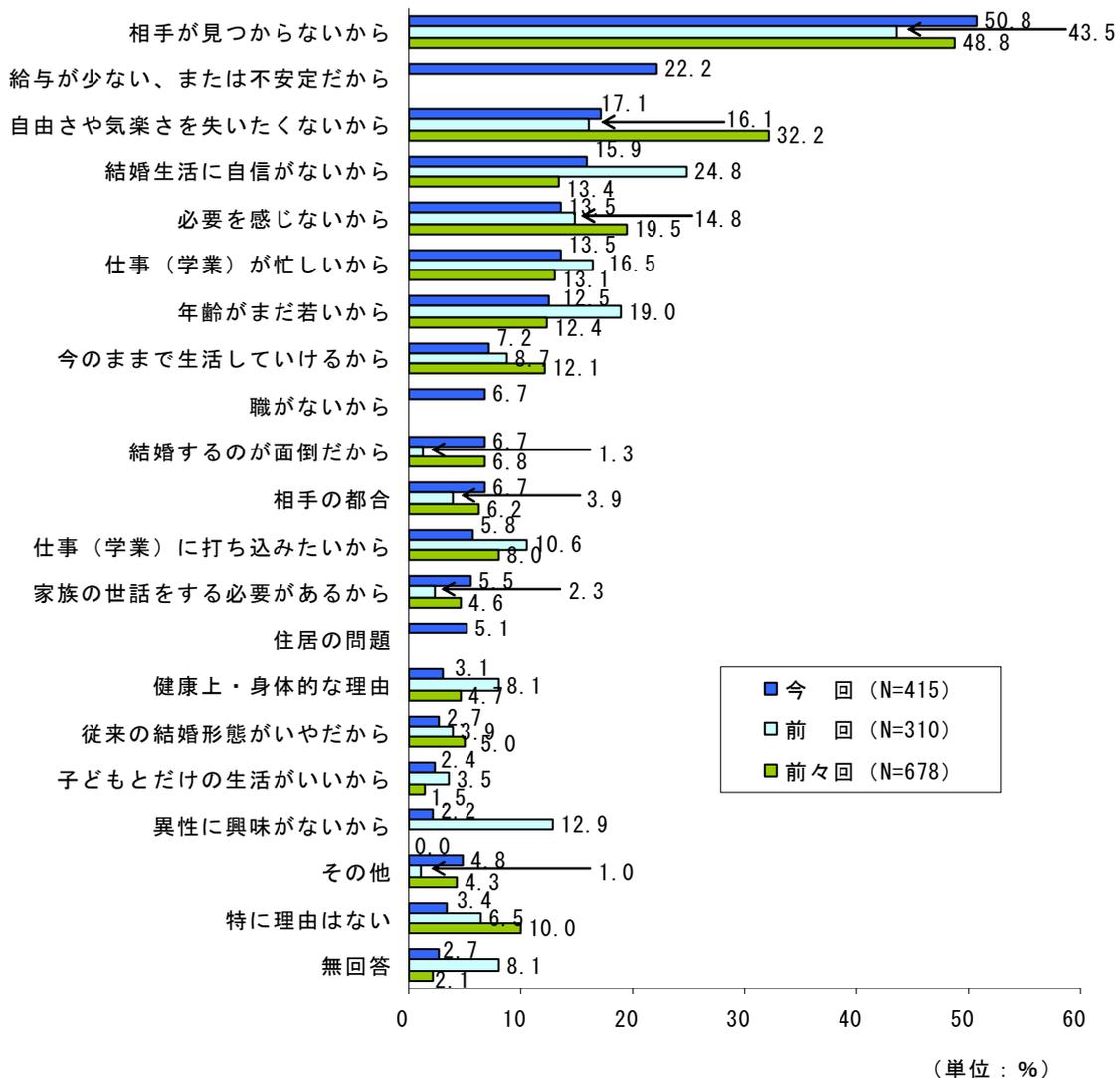
(2) 未婚または独身の理由

問 41 あなたが現在、未婚または独身でいるのはなぜですか？次の中から、理由として当てはまる番号に3つまで○印を付けてください。

未婚者（離婚・死別等含む）である 415 人を対象に、現在、未婚または独身でいる理由を尋ねたところ（3つまでの複数回答）、「相手が見つからないから」の割合が 50.8%と最も高く、「給与が少ない、または不安定だから」が 22.2%、「自由さや気楽さを失いたくないから」が 17.1%、「結婚生活に自信がないから」が 15.9%と続いている。

前回調査と比較すると、「相手が見つからないから」が最上位で変わりはないが、それ以外の項目では、順位に異同がみられる。

未婚または独身の理由（複数回答）



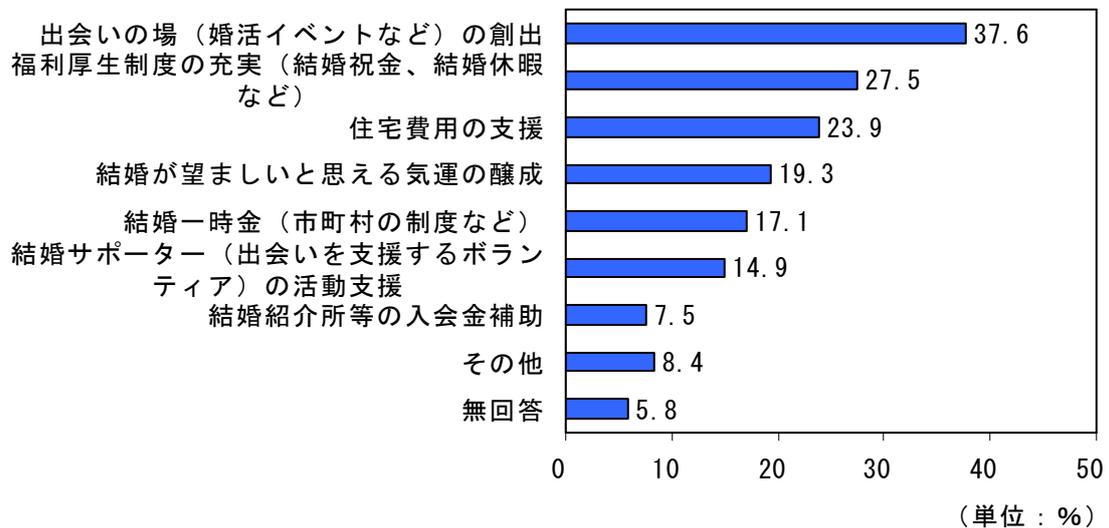
(3) 結婚しやすい環境の整備として望むこと

問 42 結婚したい人が結婚できるような環境を整えるためには、行政や企業がどのような取り組みを行うことが望ましいと思いますか。次の中から、当てはまる番号に2つまで○印を付けてください。

未婚者（離婚・死別等含む）である 415 人を対象に、結婚しやすい環境を整えるために望むことを尋ねたところ（2つまでの複数回答）、「出会いの場（婚活イベントなど）の創出」の割合が 37.6%で最も高く、「福利厚生制度の充実（結婚祝金、結婚休暇など）」が 27.5%、「住宅費用の支援」が 23.9%、「結婚が望ましいと思える気運の醸成」が 19.3%と続いている。

※前々回調査、前回調査では本設問なし

結婚しやすい環境の整備として望むこと（複数回答）



7. 育児について（子どもがいる人のみ）

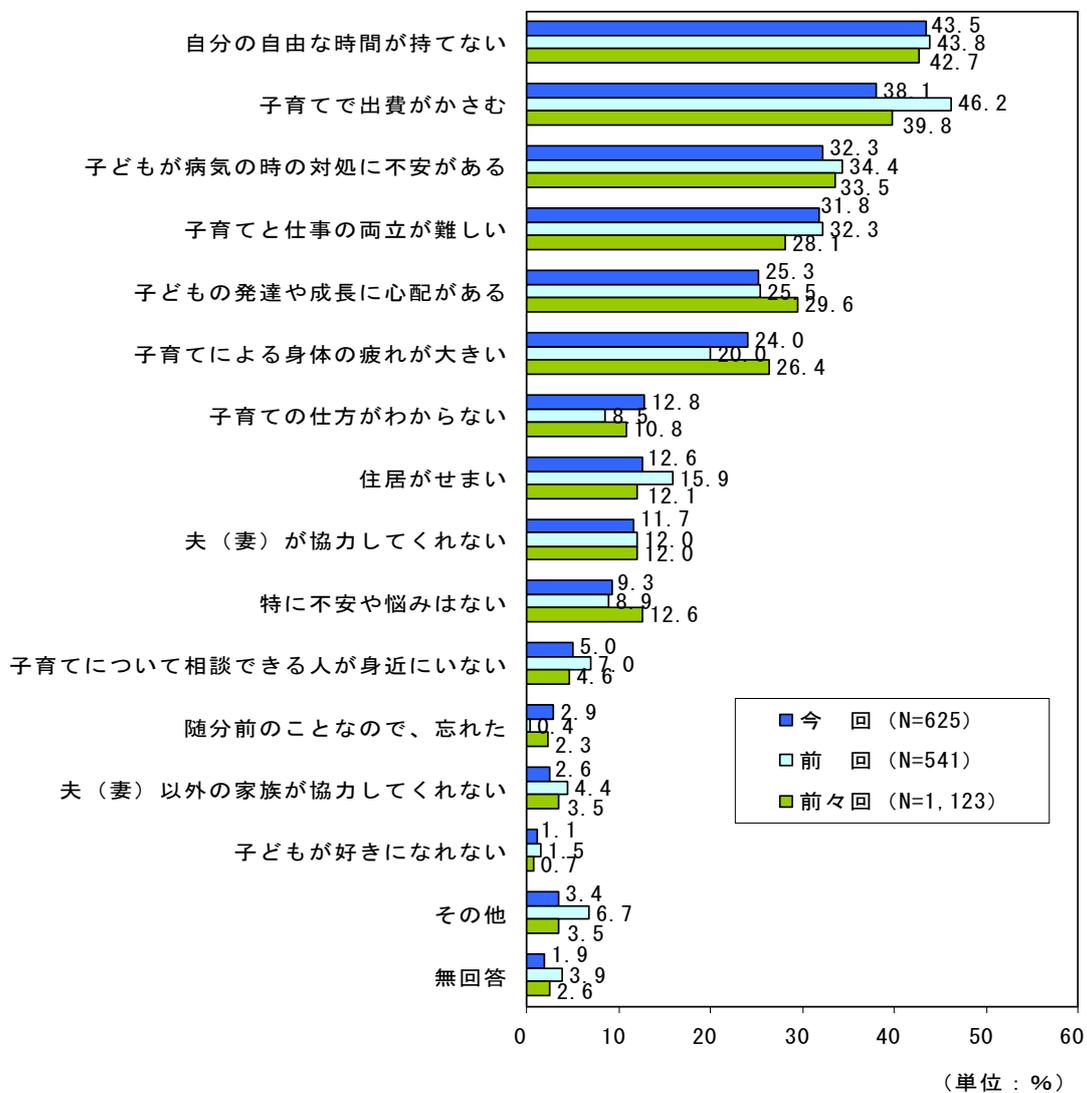
（1）子育てに関する不安・悩み

問 43 あなたは、子育てに関して、特に不安に思っていることや悩んでいることがありますか？あるいはありましたか？次の中から、当てはまる番号にすべて○印を付けてください。

子どもを持つ 625 人を対象に、子育てに関する不安・悩みを尋ねたところ（複数回答）、「自分の自由な時間が持てない」の割合が 43.5%と最も高く、次いで「子育てで出費がかさむ」が 38.1%、「子どもが病気の時の対処に不安がある」が 32.3%と続いている。

前回調査と比較すると、割合や順位に若干の異同はあるものの、上位の項目に異同はない。

子育てに関する不安・悩み（複数回答）



(2) 子育てに関する情報

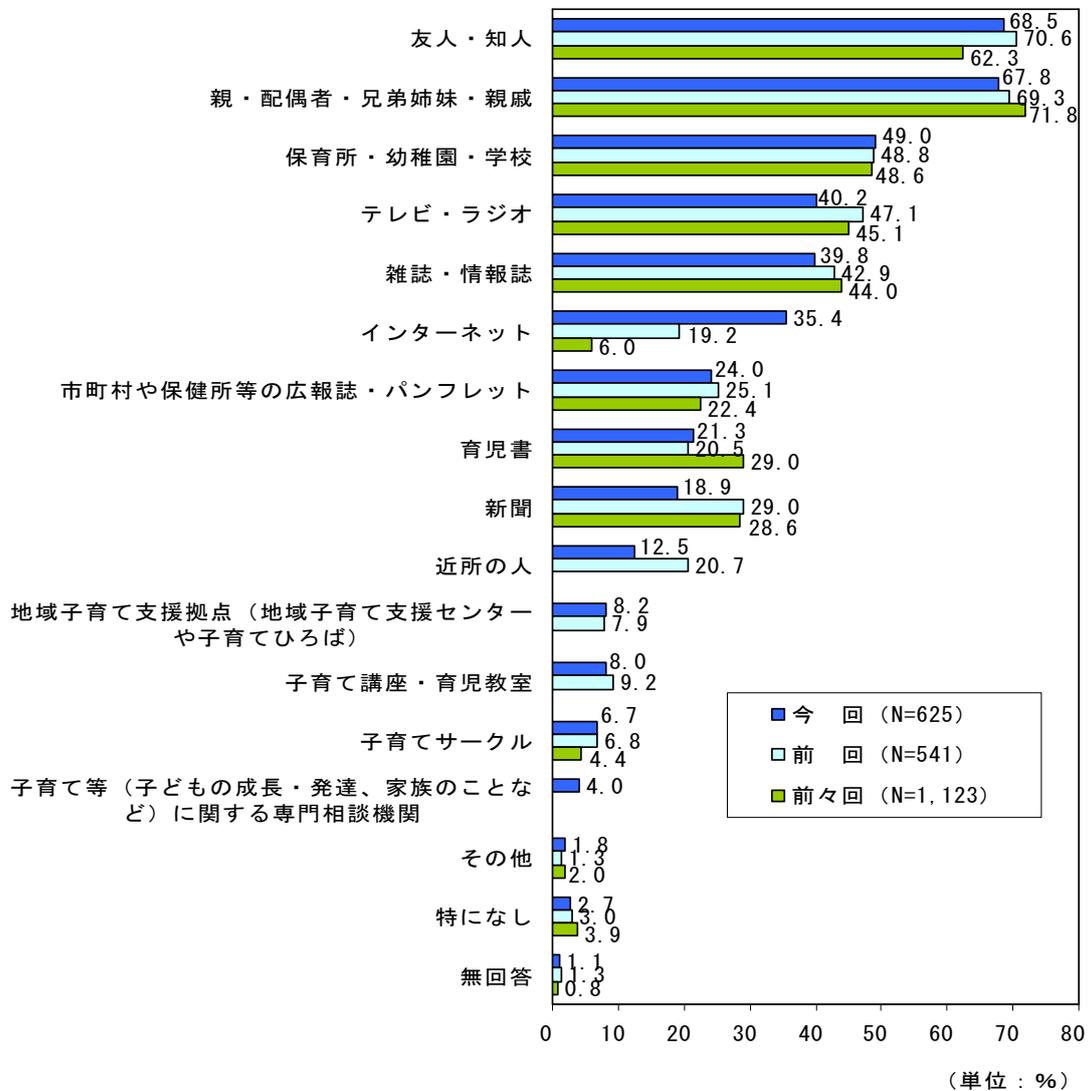
①子育てに関する知識・情報の入手先

問 44 あなたは普段、子育てに関する知識や情報をどこから得ていますか？次の中から、当てはまる番号にすべて○印を付けてください。

子どもを持つ 625 人を対象に、子育てに関する知識や情報の入手先について尋ねたところ（複数回答）、「友人・知人」の割合が 68.5%と最も高く、次いで「親・配偶者・兄弟姉妹・親戚」が 67.8%と続いている。

前回調査と比較すると、「インターネット」の割合が大きく増加している。

子育てに関する知識・情報の入手先（複数回答）



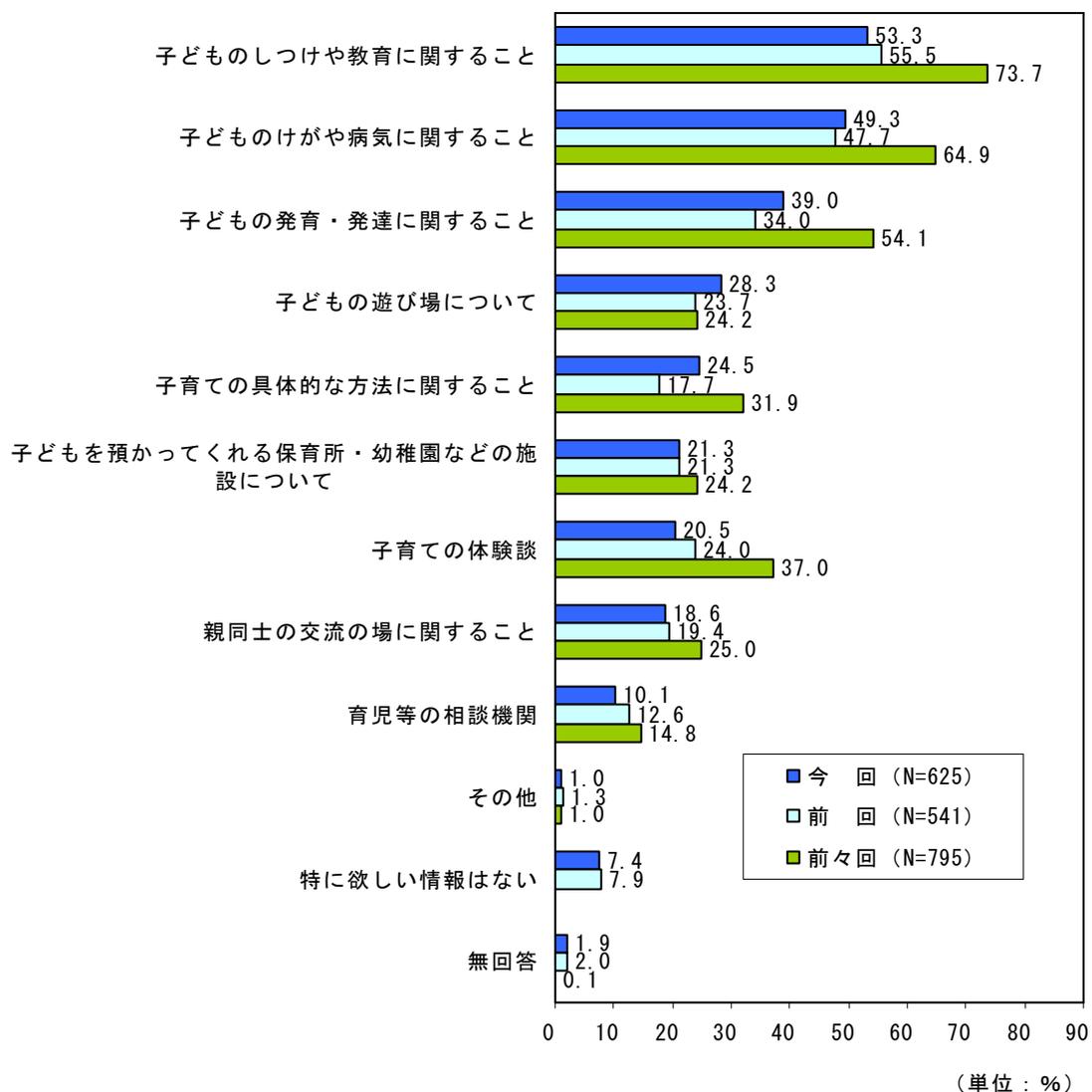
②入手したい情報の内容

問 45 あなたは、子育てに関するどのような情報が欲しいと思いますか？あるいは思いましたか？次の中から、当てはまる番号にすべて○印を付けてください。

子どもを持つ 625 人を対象に、欲しいと思う子育てに関する情報について尋ねたところ（複数回答）、「子どものしつけや教育に関すること」の割合が 53.3%と最も高く、次いで「子どものけがや病気に関すること」が 49.3%と続いている。

前回調査と比較しても、大きな異同はない。

入手したい情報の内容（複数回答）



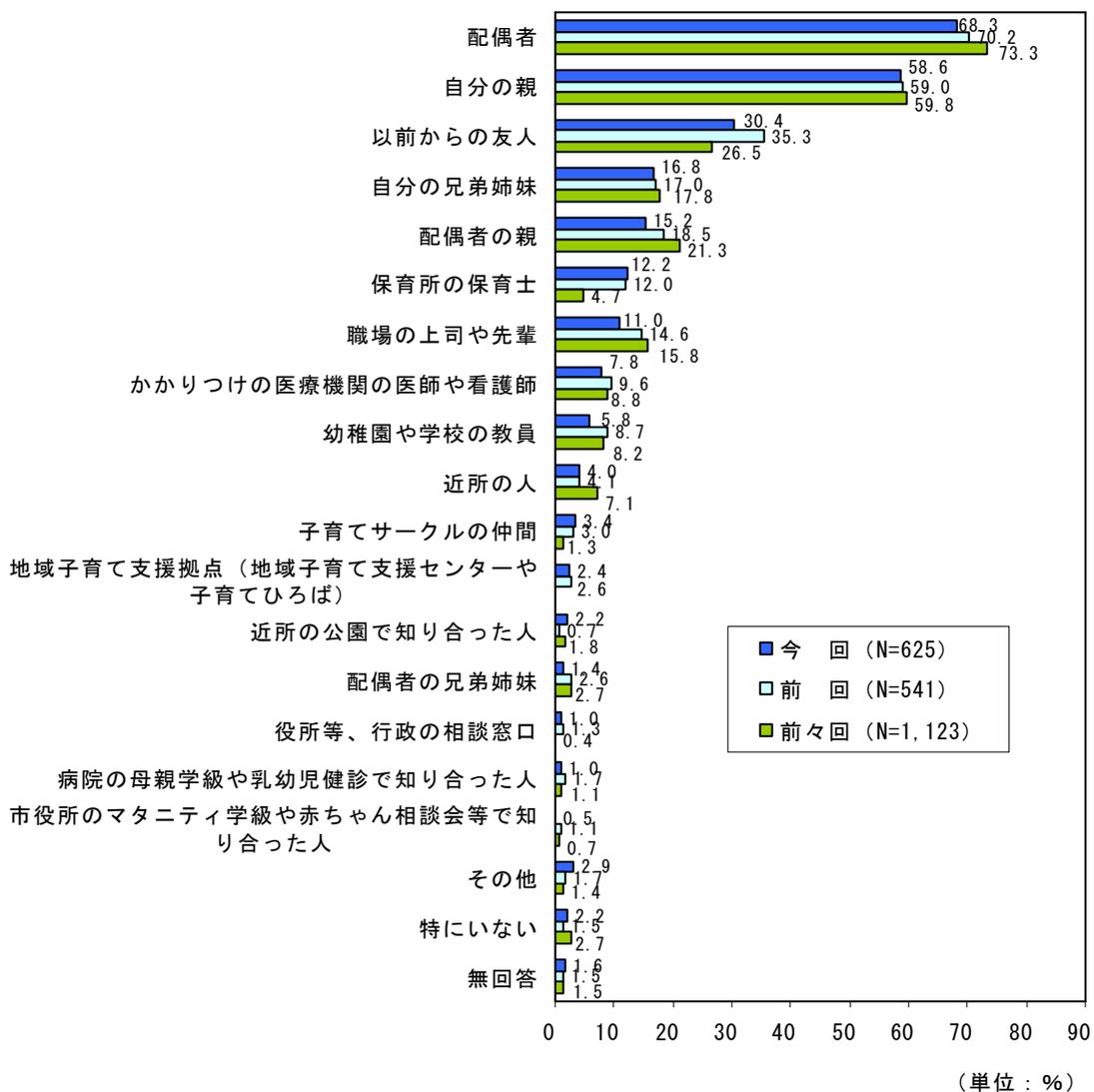
(3) 子育てに関する相談相手

問 46 あなたは、育児のことや子どものことで悩みや相談ごとがある時、日ごろはどなたに相談していますか？あるいはしていましたか？次の中から、主に相談している人（していた人）の番号に3つまで○印を付けてください。

子どもを持つ625人を対象に、育児や子どものことに関する悩みや相談ごとがある時に、日ごろは誰に相談しているかを尋ねたところ（複数回答）、「配偶者」の割合が68.3%と最も高く、次いで「自分の親」が58.6%と続いている。

前回調査と比較しても、大きな異同はない。

子育てに関する相談相手（複数回答）



(4) 子どもが病気の時の対応

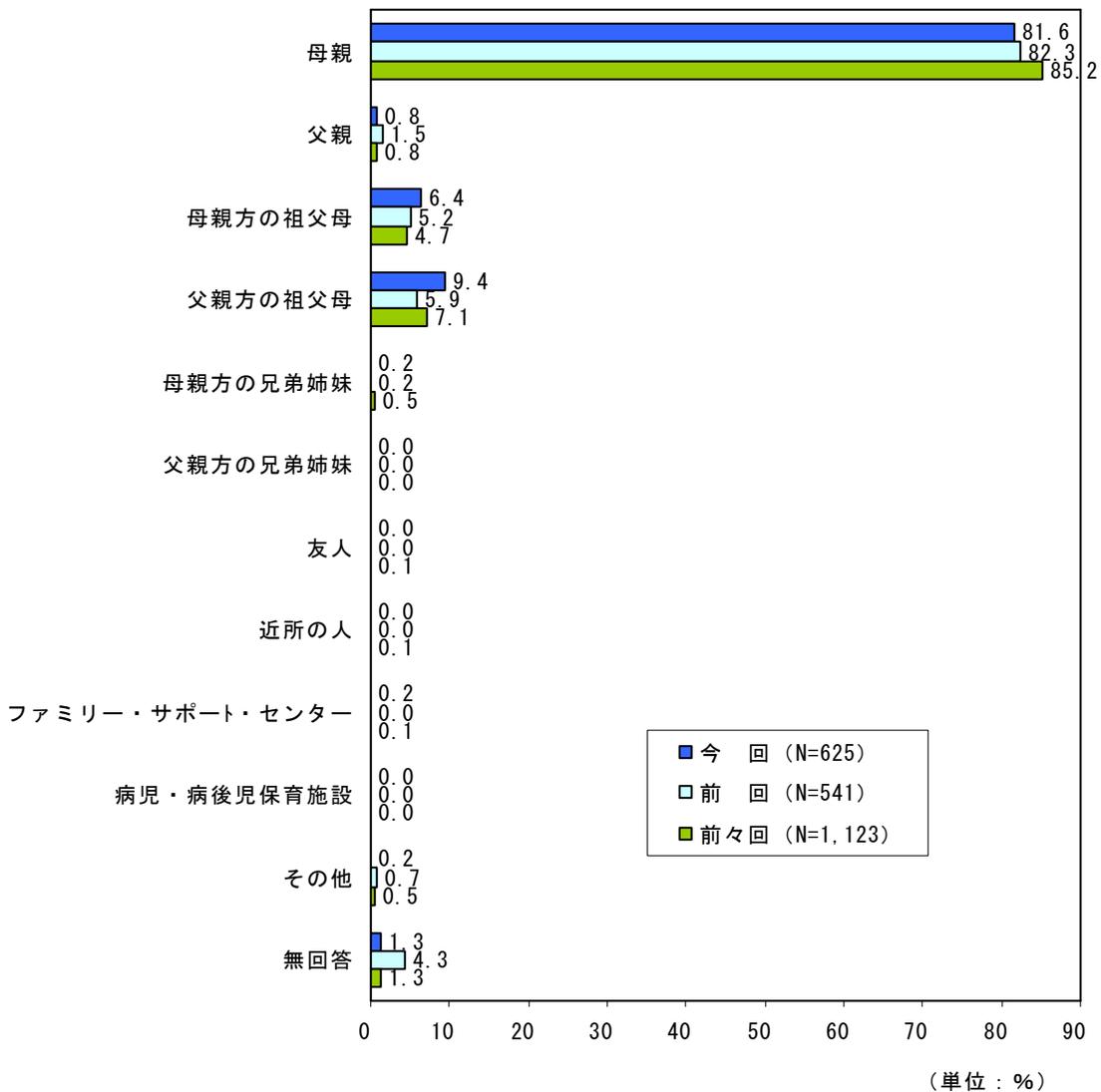
①子どもが病気になった時に看病する人

問 47 子どもが病気になった時、主にどなたが看病しますか？次の中から、最も当てはまる方の番号（1～6は、子どもにとっての続柄で）に1つだけ○印を付けてください。

子どもを持つ 625 人を対象に、子どもが病気になった時に主に看病する人は誰かを尋ねたところ、「母親」の割合が 81.6%と、圧倒的に高くなっている。

前回調査と比較しても、大きな異同はない。

子どもが病気になった時に看病する人



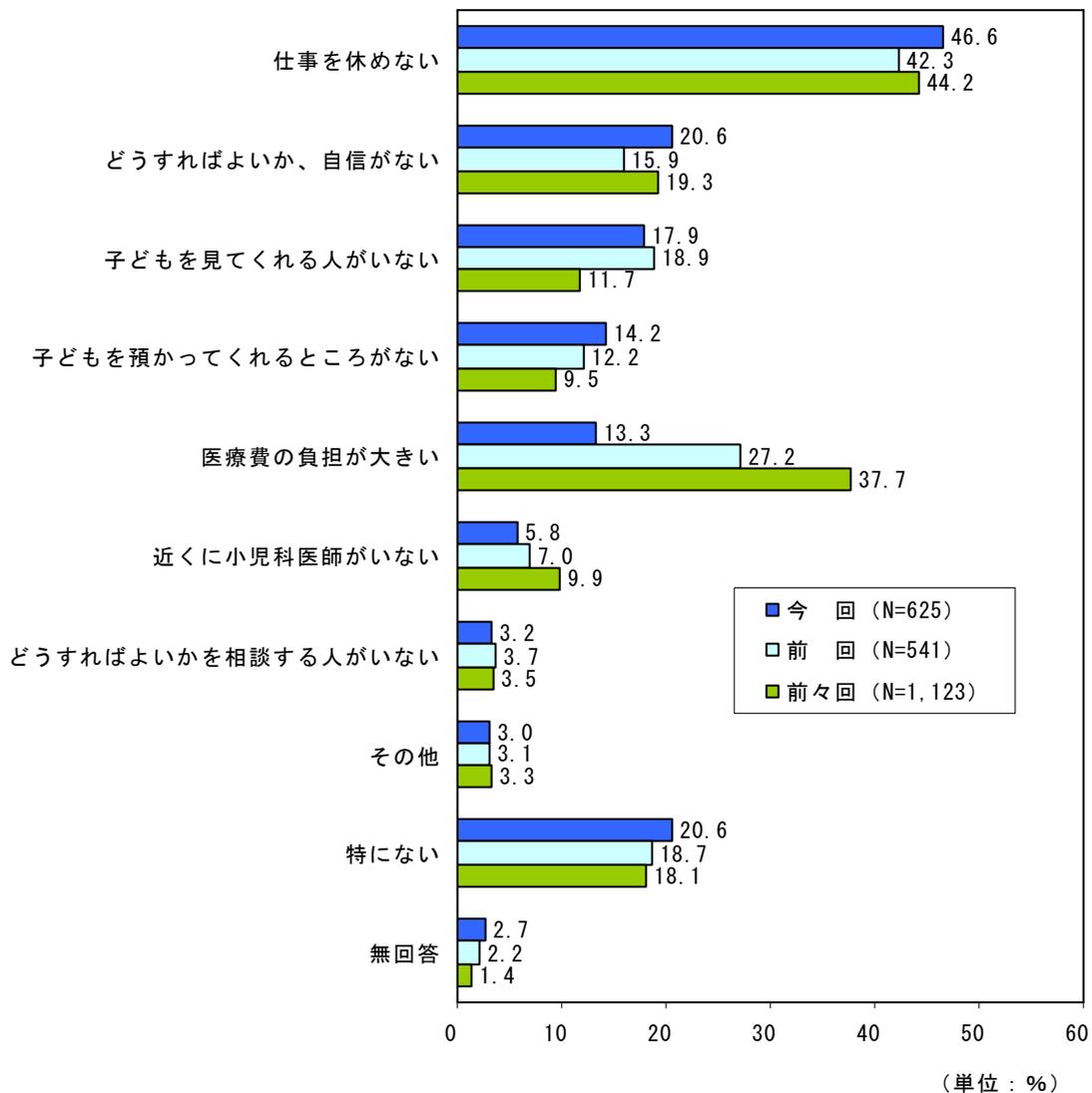
②子どもが病気になった時に困ること

問 48 子どもが病気になった時に、困ることはなんですか？次の中から、当てはまる番号にすべて○印を付けてください。

子どもを持つ 625 人を対象に、子どもが病気になった時に困ることを尋ねたところ（複数回答）、「仕事を休めない」の割合が 46.6%と最も高く、次いで「どうすればよいか、自信がない」が 20.6%、「子どもを見てくれる人がいない」が 17.9%と続いている。一方、「特にない」とする割合も 20.6%となっている。

前々回調査、前回調査と比較すると、「医療費の負担が大きい」の割合が減少傾向にある。

子どもが病気になった時に困ること（複数回答）



(5) 保育所について

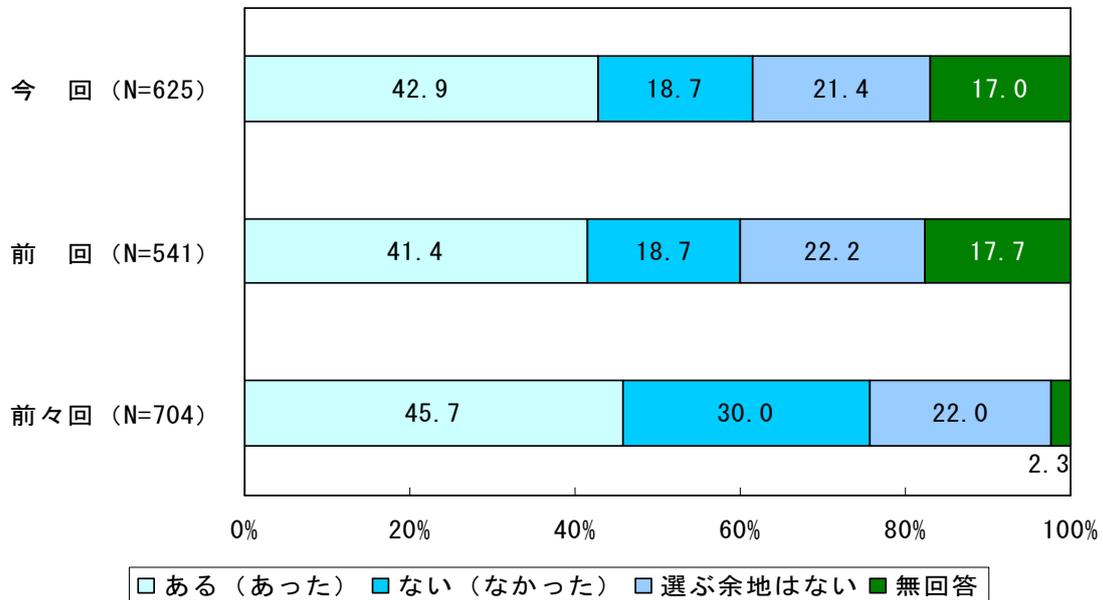
①保育所の選択時に重視すること

問 49 あなたの子どもが、保育所（幼稚園は除きます。）に通っている（または、通っていた、通う予定）方にお聞きします。あなたは、子どもが入所する保育所を選ぶ時に、何か重視することがありますか？またはありましたか？次の中から、当てはまる番号に1つだけ○印を付けてください。

子どもを持つ 625 人を対象に、保育所入所時に重視することがあったかどうかを尋ねたところ、「ある（あった）」が 42.9%、「ない（なかった）」が 18.7%、「選ぶ余地はない」が 21.4%となっている。

前回調査と比較しても、大きな異同はない。

保育所の選択時に重視すること



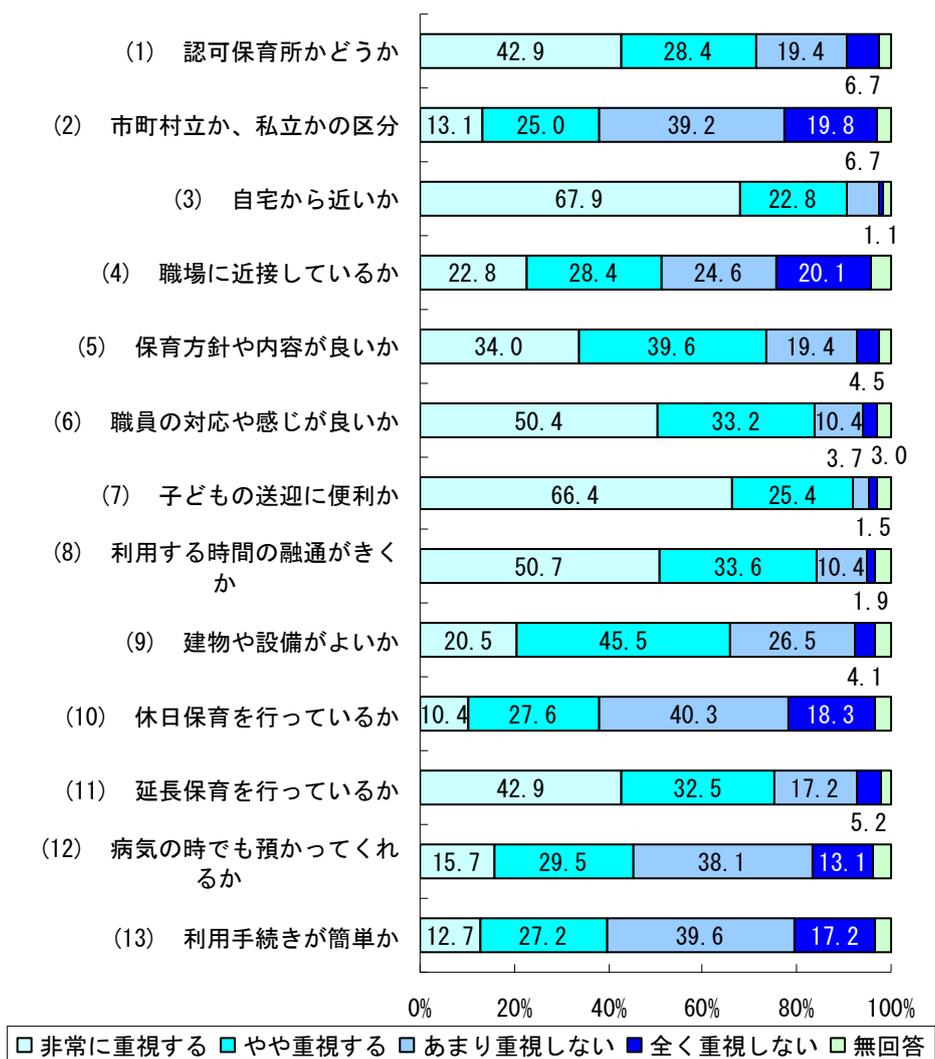
②保育所の選択時に重視する具体的内容

問 50 問 49 で「1. ある (あった)」とお答えの方にお聞きします。
 あなたは何を重視しますか？または、重視しましたか？次の (1) から (14) までのそれぞれの項目について、当てはまる番号に 1 つだけ○印を付けてください。

保育所の選択時に重視する事項があったと回答した 268 人を対象に、重視した具体的な内容を尋ねたところ、『非常に重視する』または『やや重視する』の割合が最も高かった項目は、「子どもの送迎に便利か」(非常に重視する：66.4%、やや重視する：25.4%)となっており、次いで「自宅から近いか」(同 67.9%、22.8%)、「利用する時間の融通がきくか」(同 50.7%、33.6%)と続いている。

反対に、『あまり重視しない』または『全く重視しない』の割合が最も高かった項目は、「市町村立か、私立かの区分」(あまり重視しない：39.2%、全く重視しない：19.8%)となっており、次いで「休日保育を行っているか」(同 40.3%、18.3%)、「利用手続きが簡単か」(同 39.6%、17.2%)と続いている。

保育所の選択時に重視する具体的内容



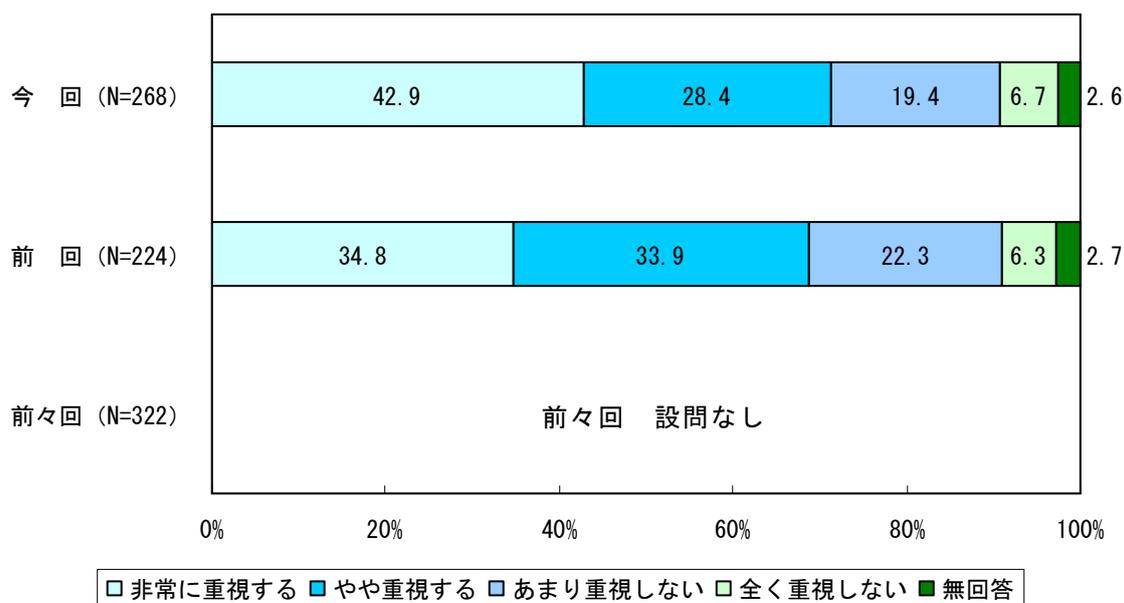
1) 認可保育所かどうか

問 50 問 49 で「1. ある (あった)」とお答えの方にお聞きします。
 あなたは何を重視しますか？または、重視しましたか？次の (1) から (14) までのそれぞれの項目について、当てはまる番号に 1 つだけ○印を付けてください。

1) 認可保育所かどうか

保育所の選択時に重視する事項があったと回答した 268 人を対象に、認可保育所かどうかについて重視したか否かを尋ねたところ、「非常に重視する」(42.9%) と「やや重視する」(28.4%) の合計 (『重視する』) が 71.3%、「あまり重視しない」(19.4%) と「重視しない」(6.7%) の合計 (『重視しない』) は 26.1% となり、『重視する』の割合が大きく上回っている。

認可保育所かどうか



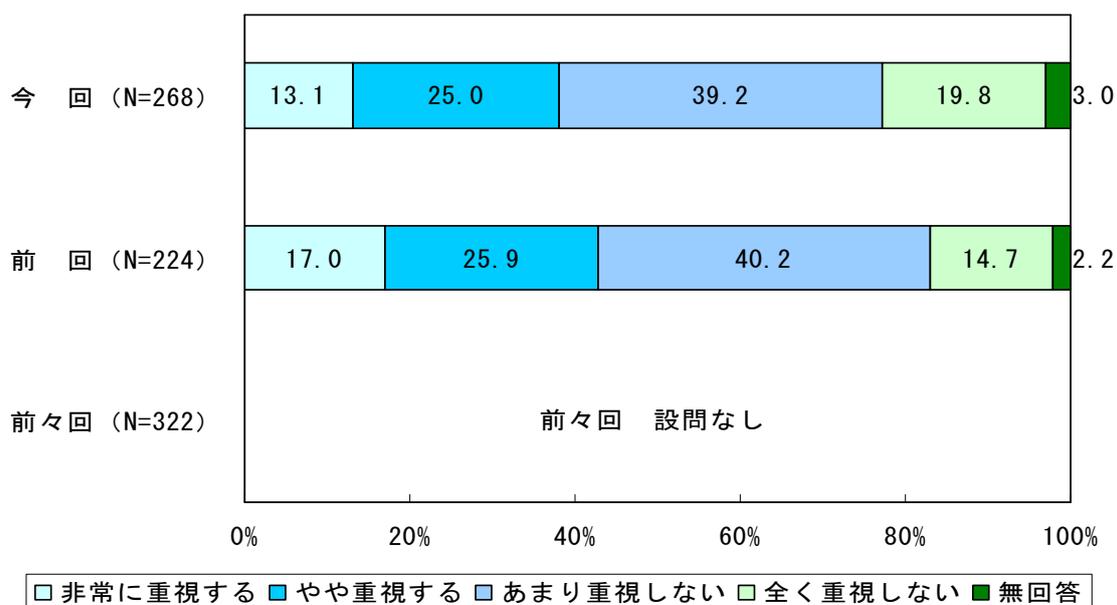
2) 市町村立か、私立かの区分

問 50 問 49 で「1. ある (あった)」とお答えの方にお聞きします。
 あなたは何を重視しますか？または、重視しましたか？次の (1) から (14) までのそれぞれの項目について、当てはまる番号に 1 つだけ○印を付けてください。

2) 市町村立か、私立かの区分

保育所の選択時に重視する事項があったと回答した 268 人を対象に、市町村立か、私立かの区分について重視したか否かを尋ねたところ、「非常に重視する」(13.1%) と「やや重視する」(25.0%) の合計 (『重視する』) が 38.1%、「あまり重視しない」(39.2%) と「重視しない」(19.8%) の合計 (『重視しない』) は 59.0% となり、『重視しない』の割合が大きく上回っている。

市町村立か、私立かの区分

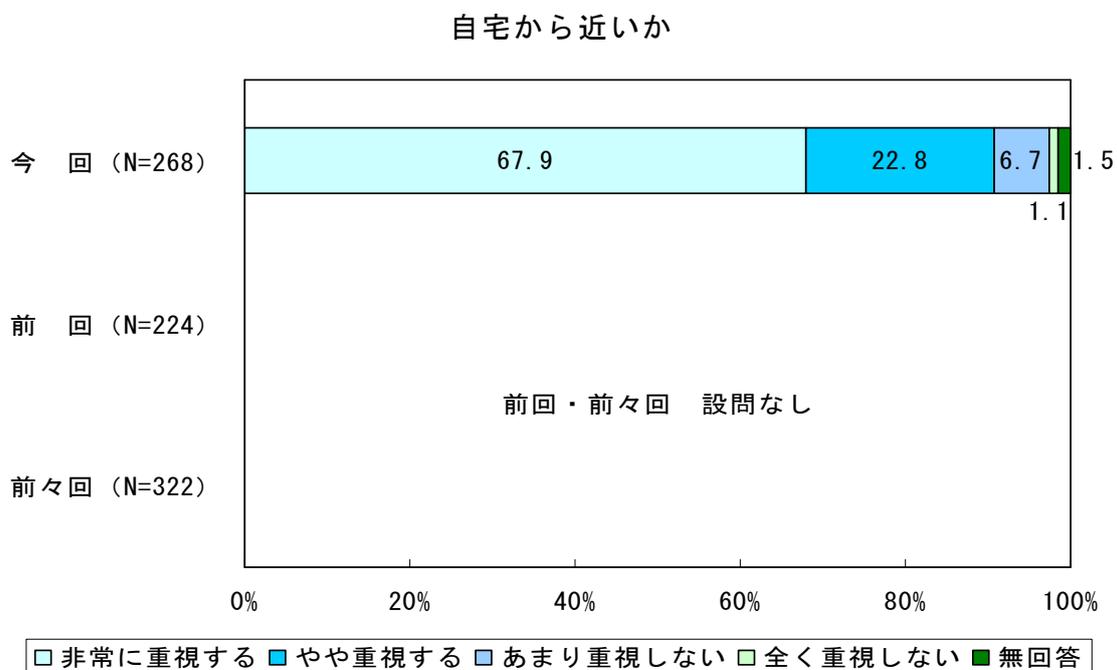


3) 自宅から近い

問 50 問 49 で「1. ある (あった)」とお答えの方にお聞きします。
 あなたは何を重視しますか？または、重視しましたか？次の (1) から (14) までのそれぞれの項目について、当てはまる番号に 1 つだけ○印を付けてください。

3) 自宅から近い

保育所の選択時に重視する事項があったと回答した 268 人を対象に、自宅から近いかという点について重視したか否かを尋ねたところ、「非常に重視する」(67.9%) と「やや重視する」(22.8%) の合計 (『重視する』) が 90.1%、「あまり重視しない」(6.7%) と「重視しない」(1.1%) の合計 (『重視しない』) は 7.8% となり、『重視する』の割合が圧倒的に上回っている。

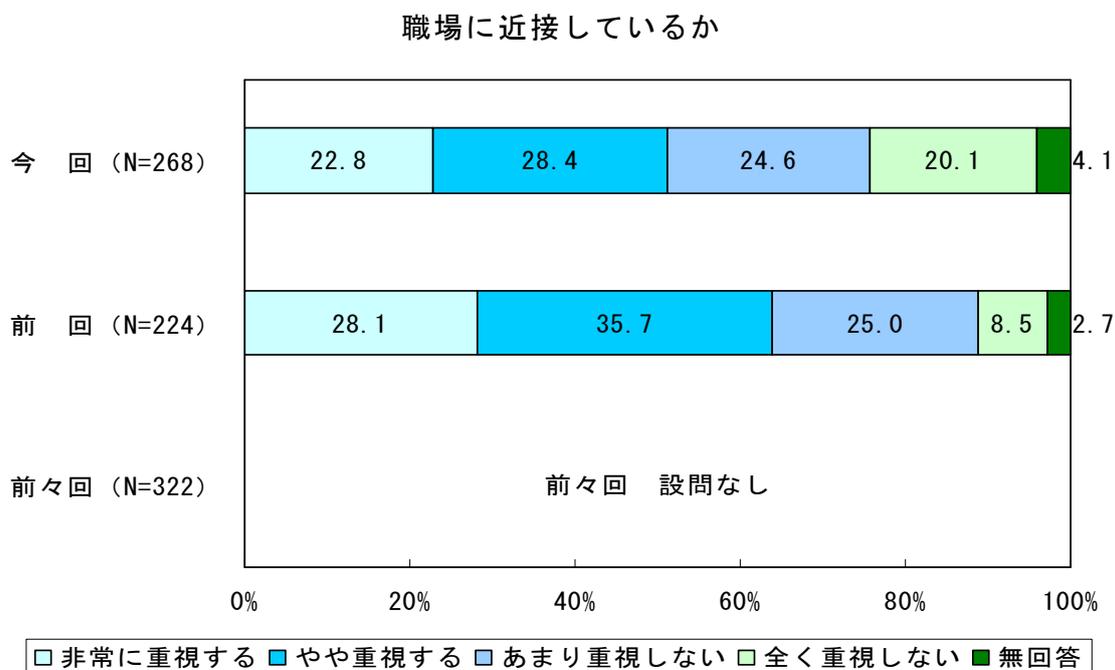


4) 職場に近接しているか

問 50 問 49 で「1. ある (あった)」とお答えの方にお聞きします。
 あなたは何を重視しますか？または、重視しましたか？次の (1) から (14) までのそれぞれの項目について、当てはまる番号に 1 つだけ○印を付けてください。

4) 職場に近接しているか

保育所の選択時に重視する事項があったと回答した 268 人を対象に、職場に近接しているかという点について重視したか否かを尋ねたところ、「非常に重視する」(22.8%)と「やや重視する」(28.4%)の合計(『重視する』)が 51.2%、「あまり重視しない」(24.6%)と「重視しない」(20.1%)の合計(『重視しない』)は 44.7%となり、『重視する』の割合が幾分上回っている。



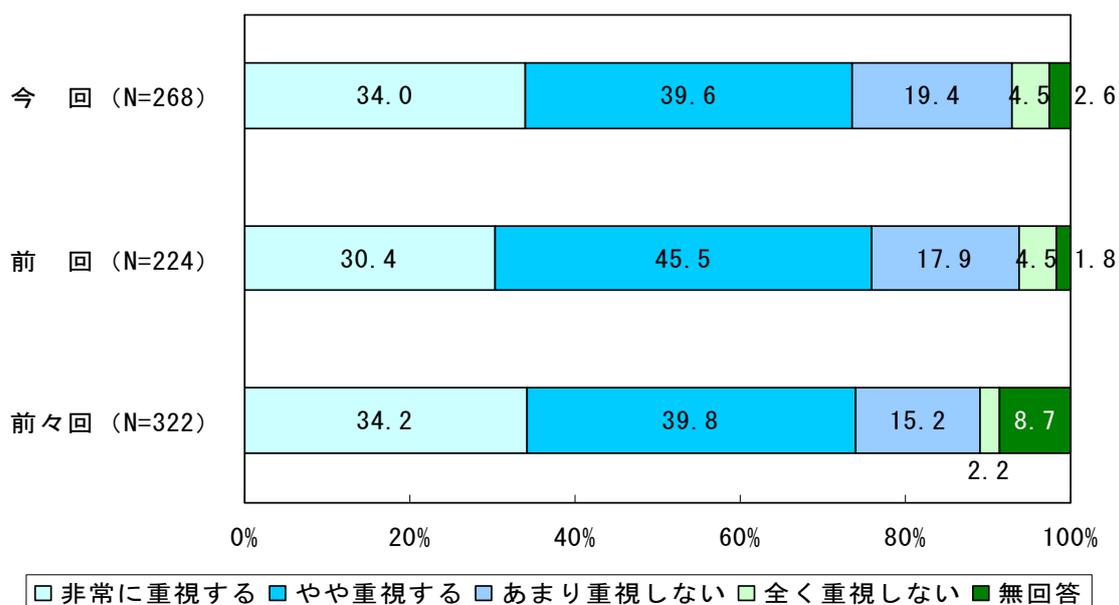
5) 保育方針や内容が良いか

問 50 問 49 で「1. ある (あった)」とお答えの方にお聞きします。
 あなたは何を重視しますか？または、重視しましたか？次の (1) から (14) までのそれぞれの項目について、当てはまる番号に 1 つだけ○印を付けてください。

5) 保育方針や内容が良いか

保育所の選択時に重視する事項があったと回答した 268 人を対象に、保育方針や内容が良いかという点について重視したか否かを尋ねたところ、「非常に重視する」(34.0%) と「やや重視する」(39.6%) の合計 (『重視する』) が 73.6%、「あまり重視しない」(19.4%) と「重視しない」(4.5%) の合計 (『重視しない』) は 23.9% となり、『重視する』の割合が大きく上回っている。

保育方針や内容が良いか



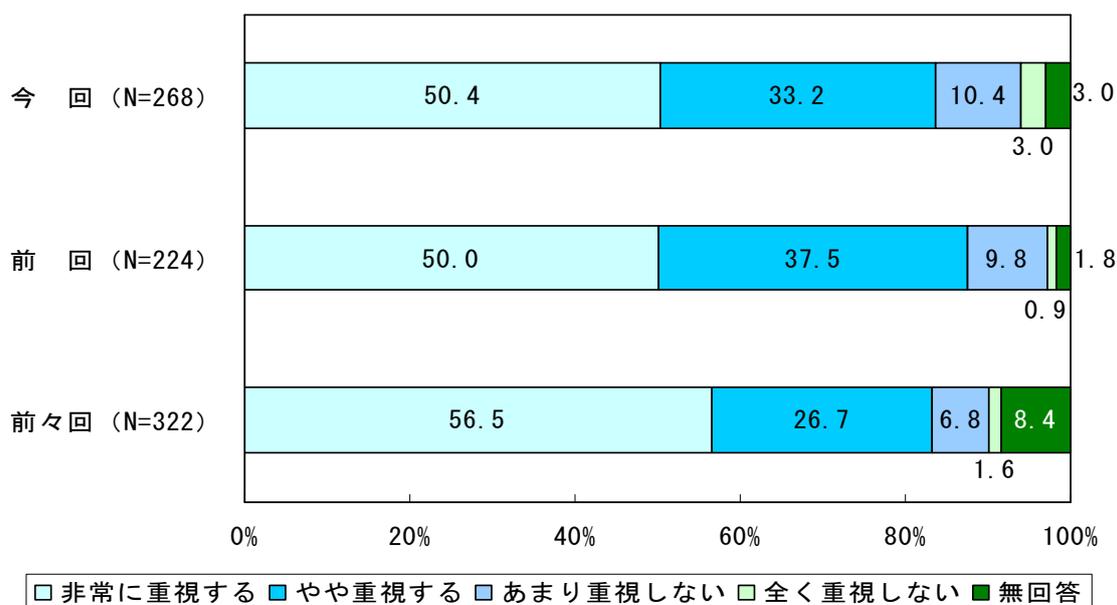
6) 職員の対応や感じが良いか

問 50 問 49 で「1. ある (あった)」とお答えの方にお聞きします。
 あなたは何を重視しますか？または、重視しましたか？次の (1) から (14) までのそれぞれの項目について、当てはまる番号に 1 つだけ○印を付けてください。

6) 職員の対応や感じが良いか

保育所の選択時に重視する事項があったと回答した 268 人を対象に、職員の対応や感じが良いかという点について重視したか否かを尋ねたところ、「非常に重視する」(50.4%) と「やや重視する」(33.2%) の合計 (『重視する』) が 83.6%、「あまり重視しない」(10.4%) と「重視しない」(3.0%) の合計 (『重視しない』) は 13.4% となり、『重視する』の割合が圧倒的に上回っている。

職員の対応や感じが良いか



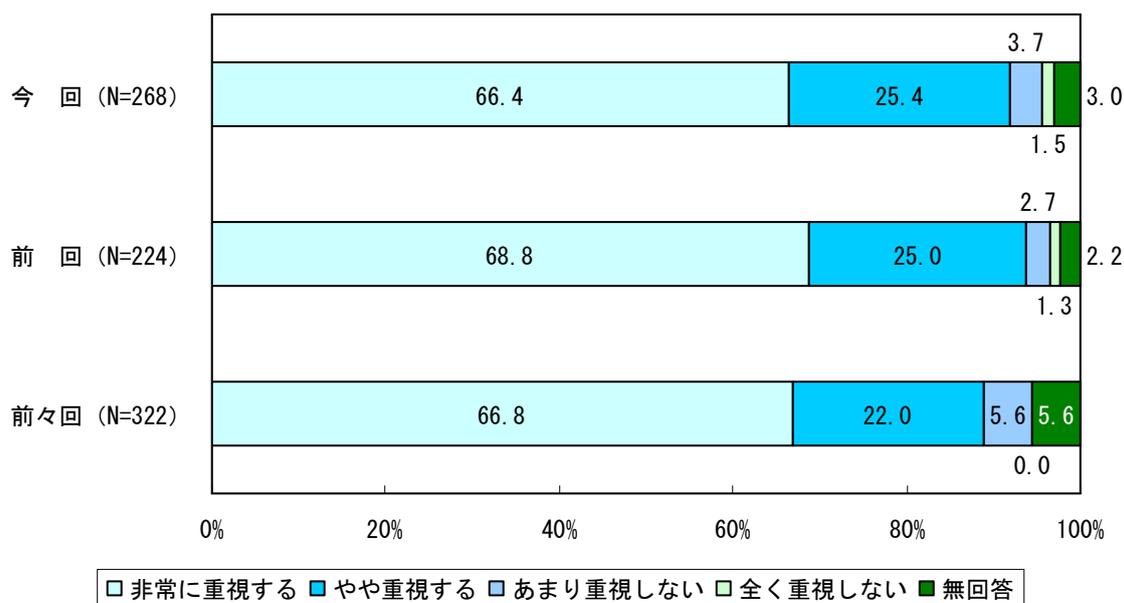
7) 子どもの送迎に便利か

問 50 問 49 で「1. ある (あった)」とお答えの方にお聞きします。
 あなたは何を重視しますか？または、重視しましたか？次の (1) から (14) までのそれぞれの項目について、当てはまる番号に 1 つだけ○印を付けてください。

7) 子どもの送迎に便利か

保育所の選択時に重視する事項があったと回答した 268 人を対象に、子どもの送迎に便利かという点について重視したか否かを尋ねたところ、「非常に重視する」(66.4%) と「やや重視する」(25.4%) の合計 (『重視する』) が 91.8%、「あまり重視しない」(3.7%) と「重視しない」(1.5%) の合計 (『重視しない』) は 5.2% となり、『重視する』の割合が圧倒的に上回っている。

子どもの送迎に便利か



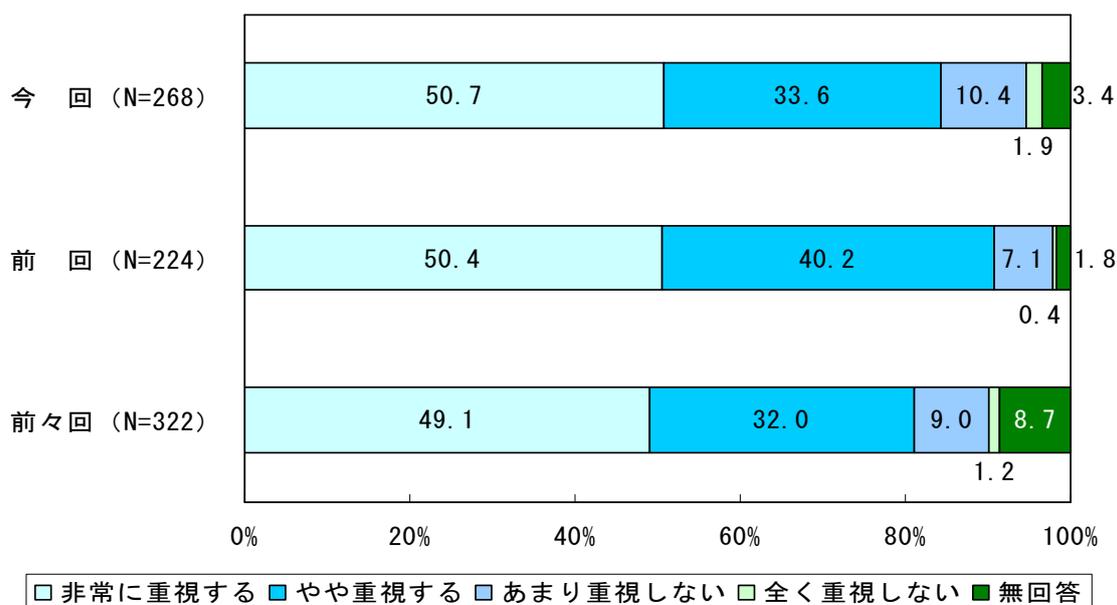
8) 利用する時間の融通がきくか

問 50 問 49 で「1. ある (あった)」とお答えの方にお聞きします。
 あなたは何を重視しますか？または、重視しましたか？次の (1) から (14) までのそれぞれの項目について、当てはまる番号に 1 つだけ○印を付けてください。

8) 利用する時間の融通がきくか

保育所の選択時に重視する事項があったと回答した 268 人を対象に、利用する時間の融通がきくかという点について重視したか否かを尋ねたところ、「非常に重視する」(50.7%) と「やや重視する」(33.6%) の合計 (『重視する』) が 84.3%、「あまり重視しない」(10.4%) と「重視しない」(1.9%) の合計 (『重視しない』) は 12.3% となり、『重視する』の割合が大きく上回っている。

利用する時間の融通がきくか



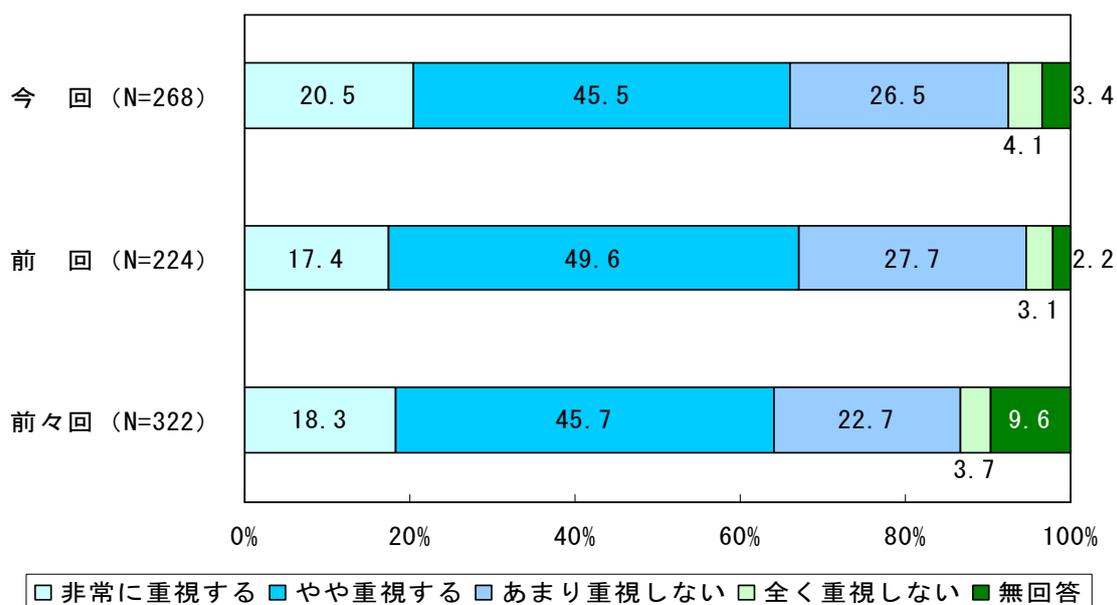
9) 建物や設備がよいか

問 50 問 49 で「1. ある (あった)」とお答えの方にお聞きします。
 あなたは何を重視しますか？または、重視しましたか？次の (1) から (14) までのそれぞれの項目について、当てはまる番号に 1 つだけ○印を付けてください。

9) 建物や設備がよいか

保育所の選択時に重視する事項があったと回答した 268 人を対象に、建物や設備がよいかという点について重視したか否かを尋ねたところ、「非常に重視する」(20.5%) と「やや重視する」(45.5%) の合計 (『重視する』) が 66.0%、「あまり重視しない」(26.5%) と「重視しない」(4.1%) の合計 (『重視しない』) は 30.6% となり、『重視する』の割合が大きく上回っている。

建物や設備がよいか



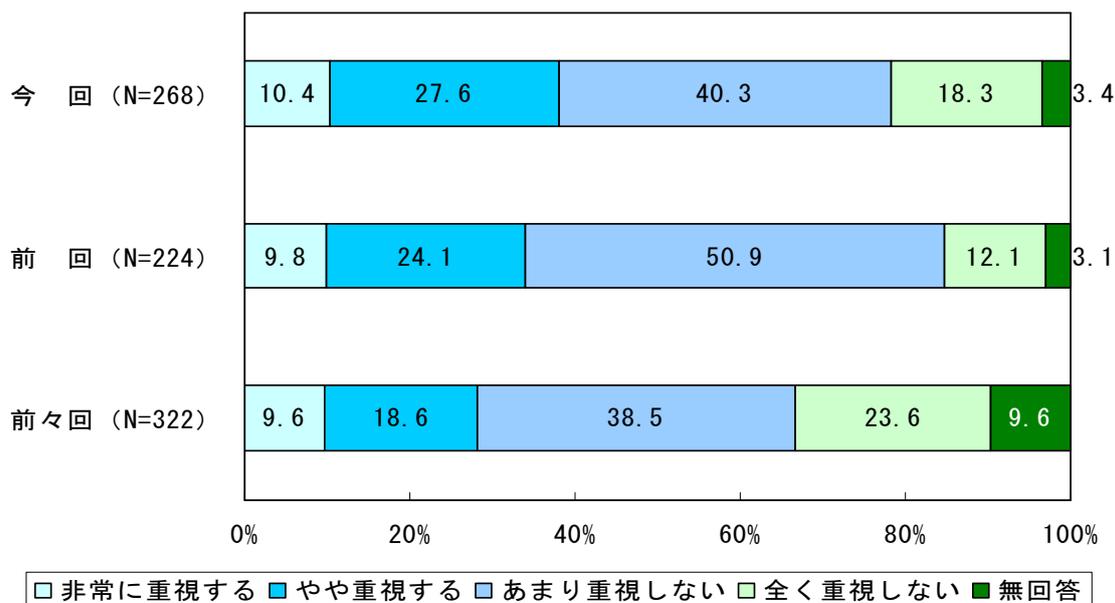
10) 休日保育を行っているか

問 50 問 49 で「1. ある (あった)」とお答えの方にお聞きします。
 あなたは何を重視しますか？または、重視しましたか？次の (1) から (14) までのそれぞれの項目について、当てはまる番号に 1 つだけ○印を付けてください。

10) 休日保育を行っているか

保育所の選択時に重視する事項があったと回答した 268 人を対象に、休日保育を行っているかという点について重視したか否かを尋ねたところ、「非常に重視する」(10.4%)と「やや重視する」(27.6%)の合計(『重視する』)が 38.0%、「あまり重視しない」(40.3%)と「重視しない」(18.3%)の合計(『重視しない』)は 58.6%となり、『重視しない』の割合が幾分上回っている。

休日保育を行っているか



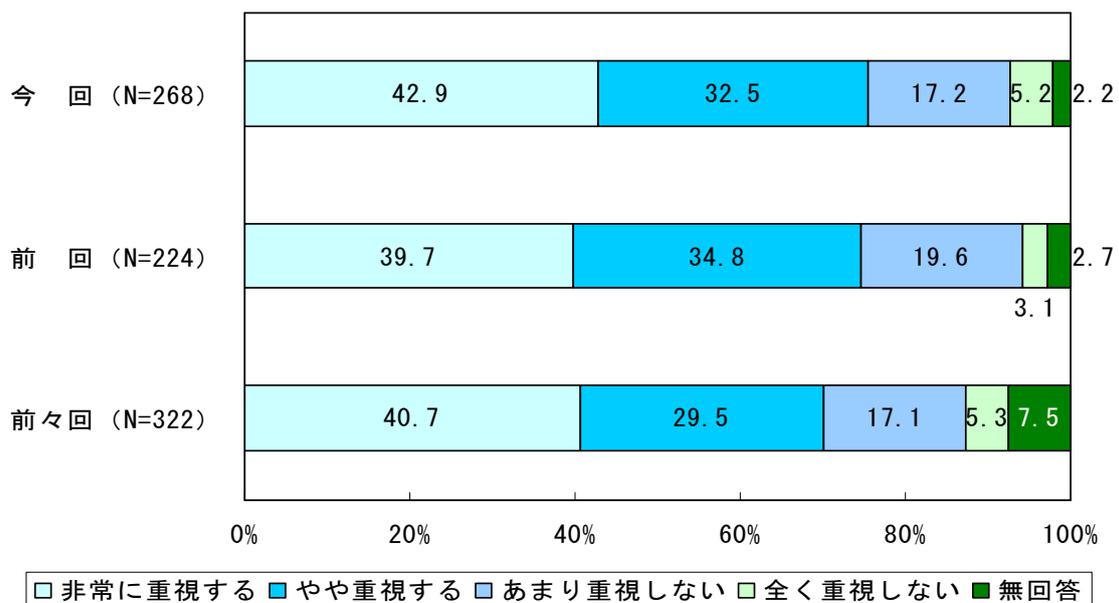
11) 延長保育を行っているか

問 50 問 49 で「1. ある (あった)」とお答えの方にお聞きします。
 あなたは何を重視しますか？または、重視しましたか？次の (1) から (14) までのそれぞれの項目について、当てはまる番号に 1 つだけ○印を付けてください。

11) 延長保育を行っているか

保育所の選択時に重視する事項があったと回答した 268 人を対象に、延長保育を行っているかという点について重視したか否かを尋ねたところ、「非常に重視する」(42.9%)と「やや重視する」(32.5%)の合計(『重視する』)が 75.4%、「あまり重視しない」(17.2%)、「重視しない」(5.2%)の合計(『重視しない』)は 22.4%となり、『重視する』の割合が大きく上回っている。

延長保育を行っているか



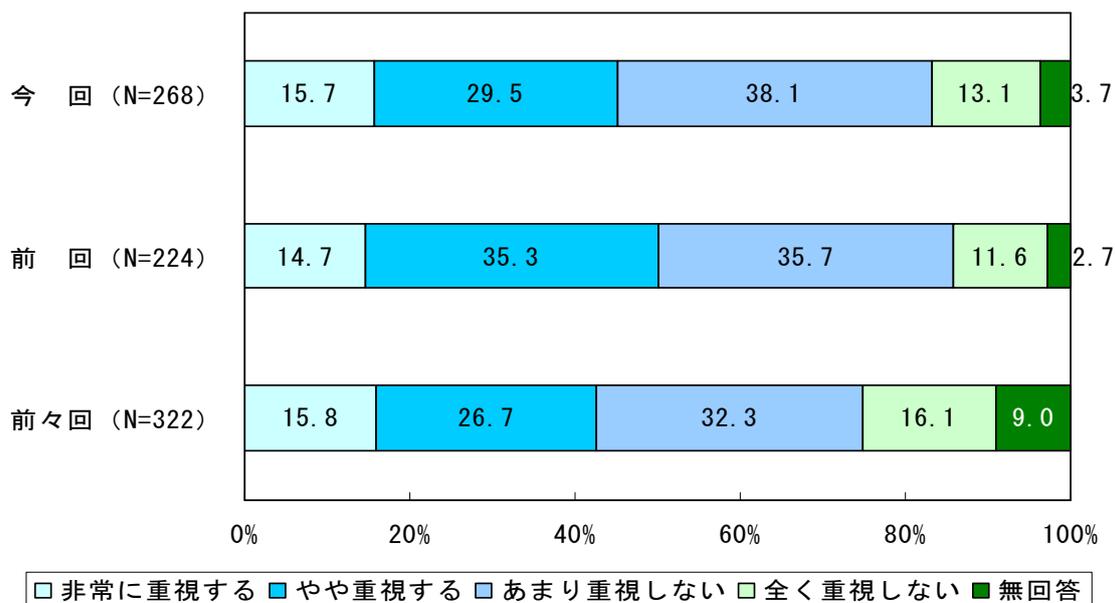
12) 病気の時でも預かってくれるか

問 50 問 49 で「1. ある (あった)」とお答えの方にお聞きします。
 あなたは何を重視しますか？または、重視しましたか？次の (1) から (14) までのそれぞれの項目について、当てはまる番号に 1 つだけ○印を付けてください。

12) 病気の時でも預かってくれるか

保育所の選択時に重視する事項があったと回答した 268 人を対象に、病気の時でも預かってくれるかという点について重視したか否かを尋ねたところ、「非常に重視する」(15.7%) と「やや重視する」(29.5%) の合計 (『重視する』) が 45.2%、「あまり重視しない」(38.1%)、「全く重視しない」(13.1%) の合計 (『重視しない』) は 51.2%となり、『重視しない』の割合が幾分上回っている。

病気の時でも預かってくれるか



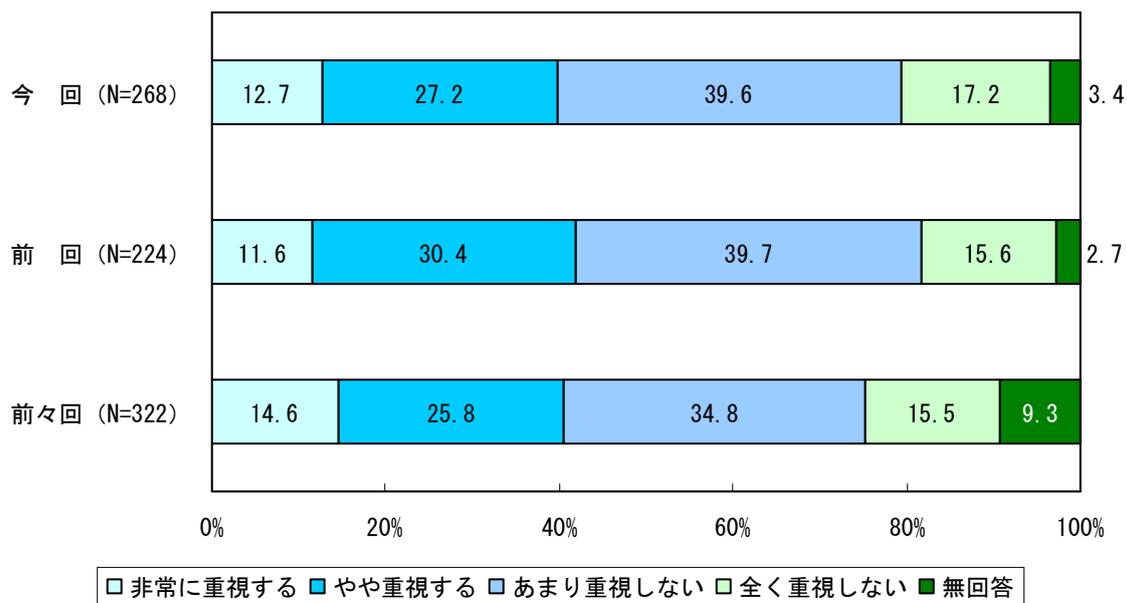
13) 利用手続きが簡単か

問 50 問 49 で「1. ある (あった)」とお答えの方にお聞きします。
 あなたは何を重視しますか？または、重視しましたか？次の (1) から (14) までのそれぞれの項目について、当てはまる番号に 1 つだけ○印を付けてください。

13) 利用手続きが簡単か

保育所の選択時に重視する事項があったと回答した 268 人を対象に、利用手続きが簡単かという点について重視したか否かを尋ねたところ、「非常に重視する」(12.7%) と「やや重視する」(27.2%) の合計 (『重視する』) が 39.9%、「あまり重視しない」(39.6%)、「全く重視しない」(17.2%) の合計 (『重視しない』) は 56.8% となり、『重視しない』の割合が大きく上回っている。

利用手続きが簡単か



③希望する保育所の延長時間

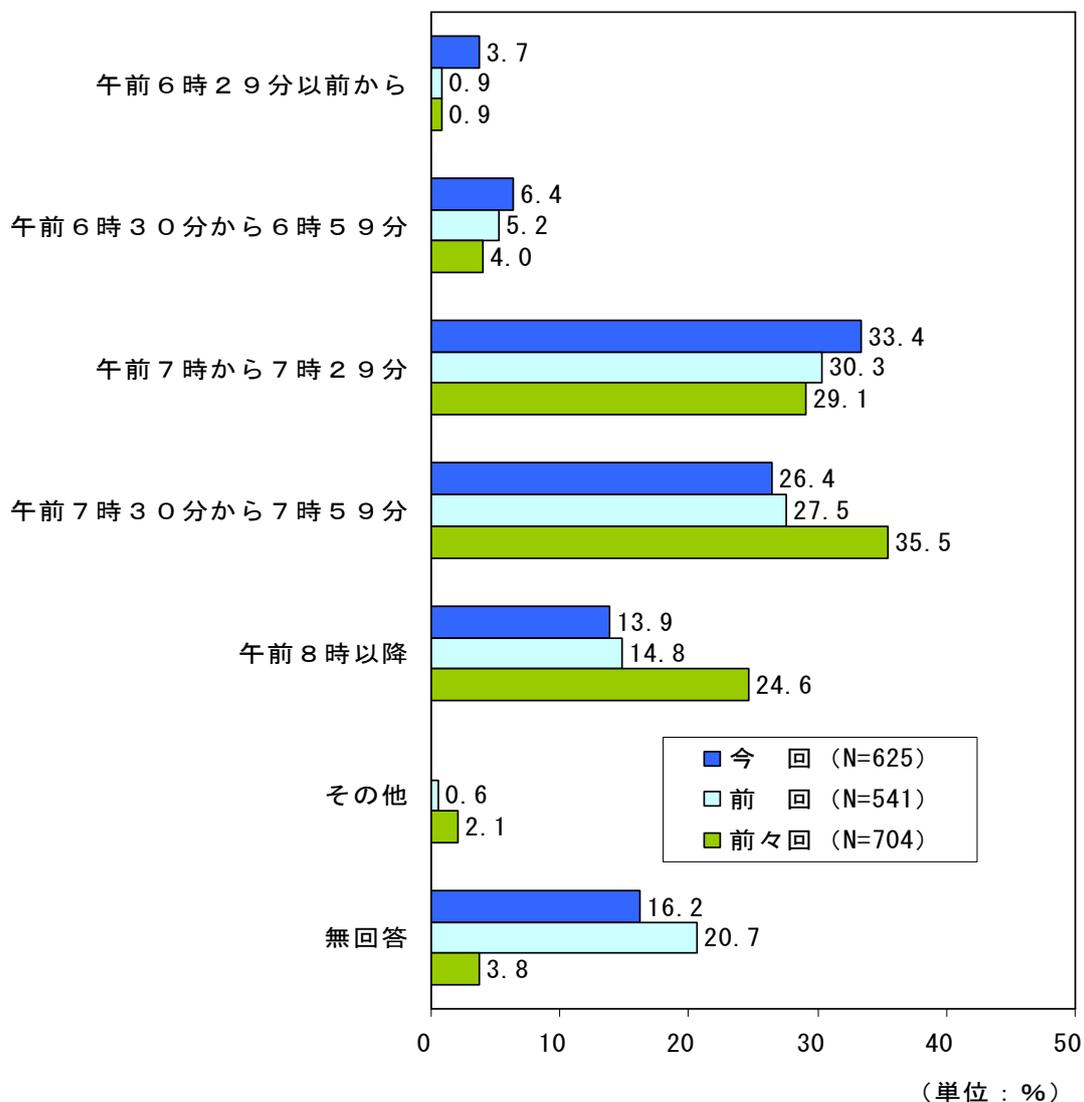
問 51 あなたが希望する保育所の朝の開所時間と夕方の閉所時間のそれぞれについて、当てはまる番号に1つずつ○印を付けてください。

(A) 朝の開所時間に対する希望

子どもを持つ625人を対象に、保育所の朝の開所時間に対する希望を尋ねたところ、「午前7時から7時29分」の割合が33.4%と最も高くなっており、次いで「午前7時30分から7時59分」が26.4%と続いている。

前回調査と比較しても、大きな異同はない。

朝の開所時間に対する希望



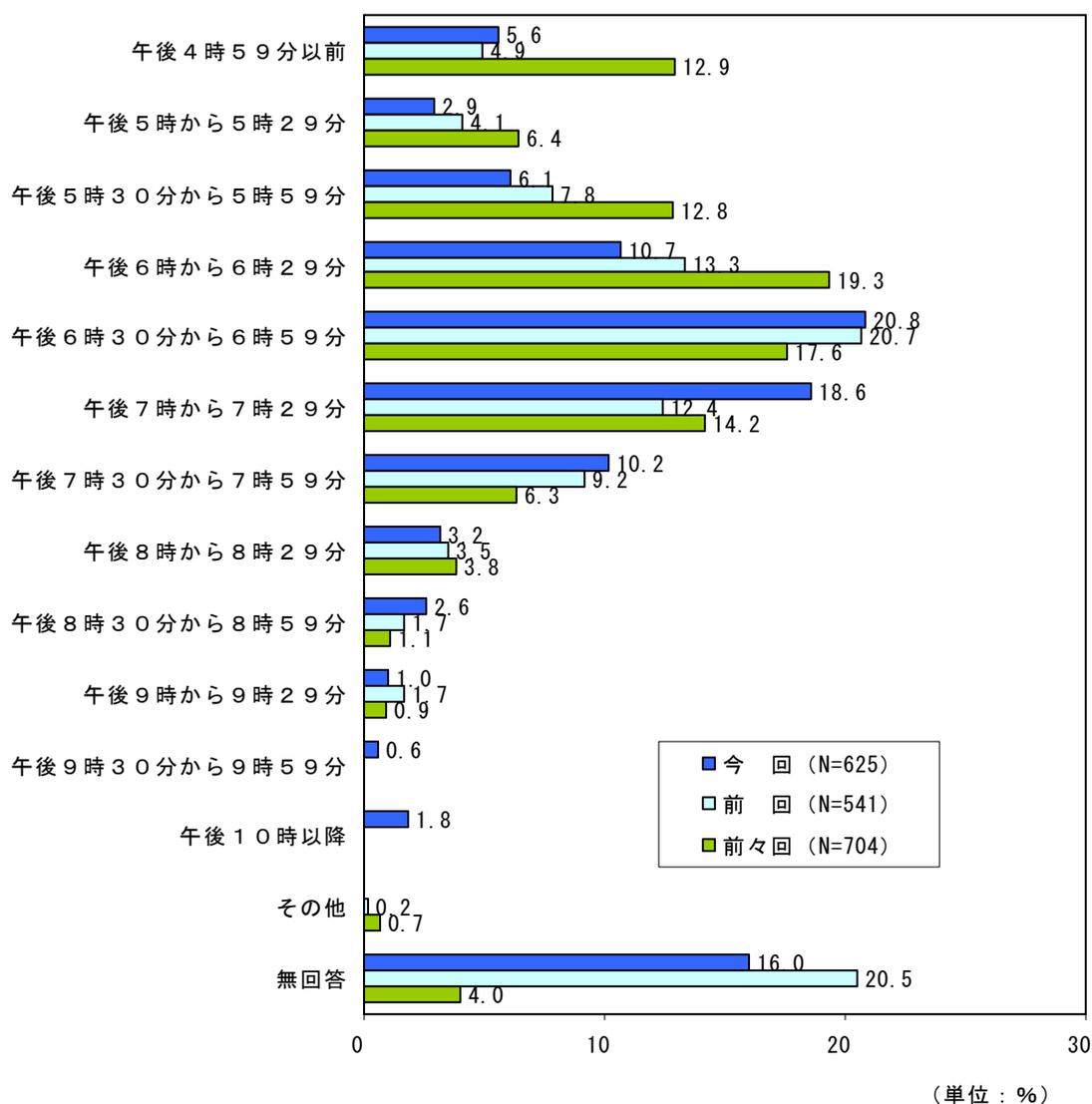
(B) 夕方の閉所時間に対する希望

子どもを持つ 625 人を対象に、保育所の夕方の閉所時間に対する希望を尋ねたところ、「午後 6 時 30 分から 6 時 59 分」の割合が 20.8%と最も高く、次いで「午後 7 時から 7 時 29 分」が 18.6%と続いている。

前回調査と比較すると、「午後 7 時から 7 時 29 分」の割合が増加している。

※前回調査までの「午後 4 時 59 分以前」は「午後 3 時 59 分以前」「午後 4 時から 4 時 29 分」「午後 4 時 30 分から 4 時 59 分」を合算したものである。また、前回調査までの「午後 9 時以降」は「午後 9 時から 9 時 29 分」に掲載している、

夕方の閉所時間に対する希望



④保育所の開所・閉所時間と就労時間

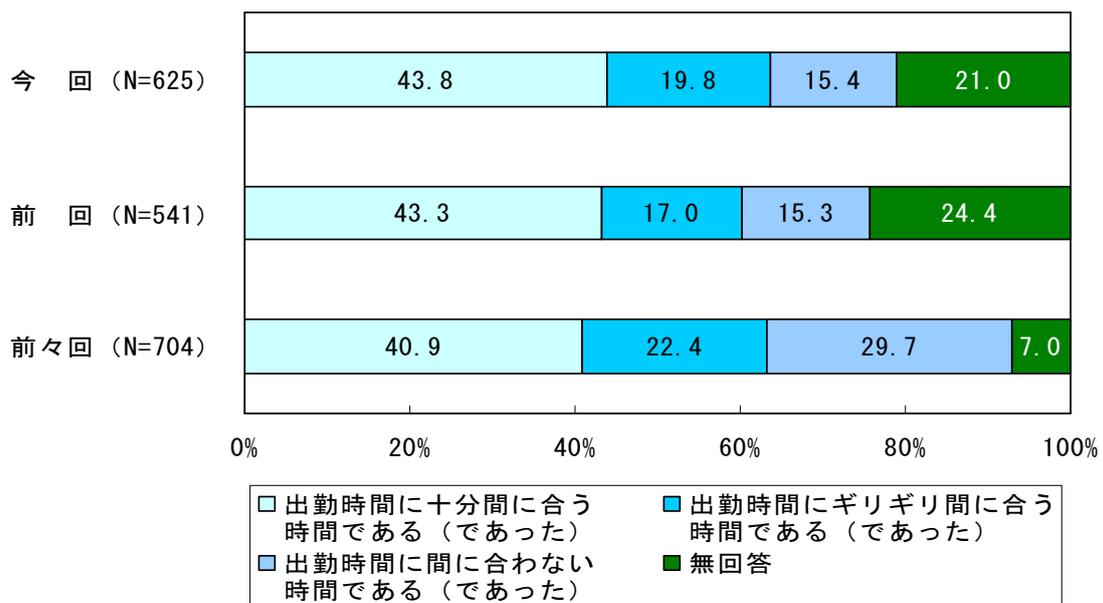
問 52 現在、通っている保育所（または、今後通う予定、過去に通っていた保育所）の開所時間は、あなたの就労時間等、希望する実態と合っていますか？または合っていましたか？開所時間、閉所時間のそれぞれについて、最も当てはまる番号に1つずつ○印を付けてください。

(A) 保育所の開所時間と勤務先の就労時間

子どもを持つ625人を対象に、保育所の開所時間と就労時間等について、希望する実態と合致しているかどうかを尋ねたところ、「出勤時間に十分間に合う時間である（であった）」が43.8%となっているのに対し、「出勤時間にギリギリ間に合う時間である（であった）」が19.8%、「出勤時間に間に合わない時間である（であった）」が15.4%となっている。

前回調査と比較しても、大きな異同はない。

保育所の開所時間と勤務先の就労時間

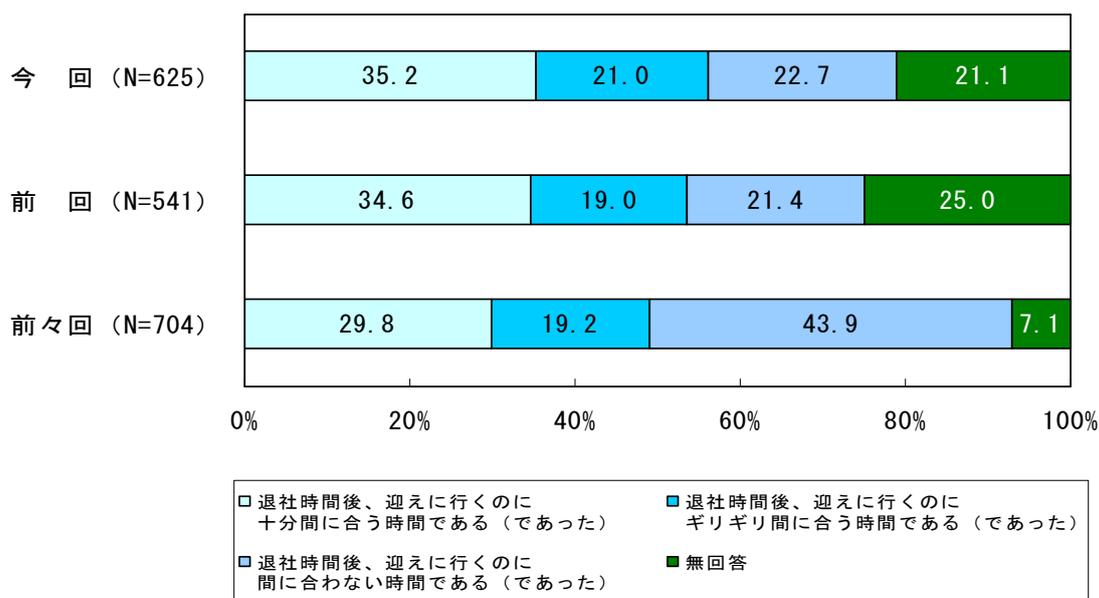


(B) 保育所の閉所時間と勤務先の就労時間

子どもを持つ625人を対象に、保育所の閉所時間と就労時間等について、希望する実態と合致しているかどうかを尋ねたところ、「退社時間後、迎えに行くのに十分間に合う時間である(であった)」が35.2%となっているのに対し、「退社時間後、迎えに行くのにギリギリ間に合う時間である(であった)」が21.0%、「退社時間後、迎えに行くのに間に合わない時間である(であった)」が22.7%となっている。

前回調査と比較しても、大きな異同はない。

保育所の閉所時間と勤務先の就労時間



⑤保育所に対して望むこと

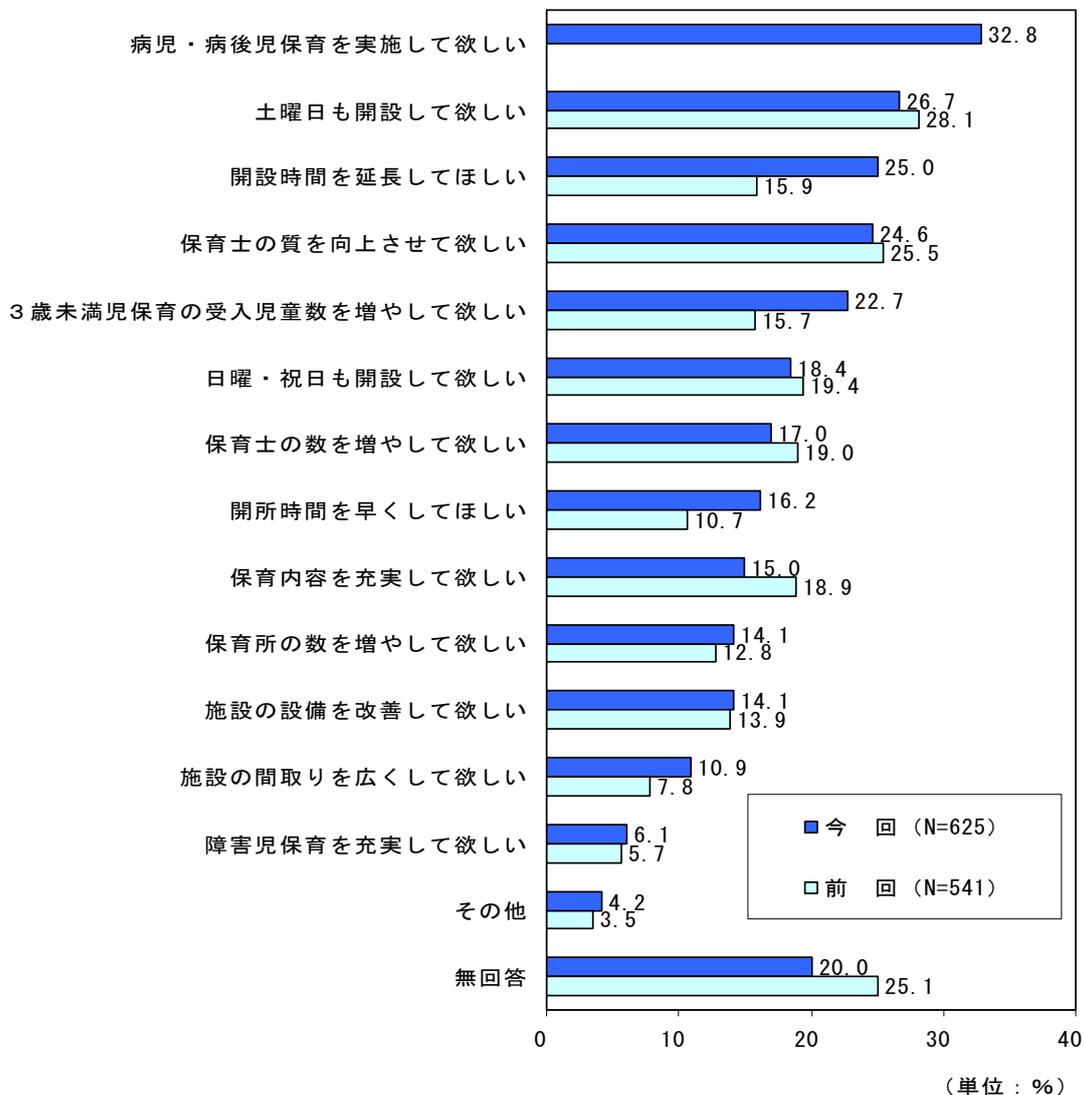
問 53 あなたは保育所に対して、どのようなことを望みますか？次の中から、希望する番号にすべて○印を付けてください。

子どもを持つ625人を対象に、保育所に対して望むことを尋ねたところ（複数回答）、「病児・病後児保育を実施して欲しい」の割合が32.8%と最も高く、次いで「土曜日も開設して欲しい」が26.7%、「開設時間を延長してほしい」が25.0%、「保育士の質を向上させてほしい」が24.6%と続いている。

前回調査と比較すると、「開設時間を延長してほしい」や「3歳未満児保育の受入児童数を増やして欲しい」の割合が増加している。

※前々回調査では本設問なし

保育所に対して望むこと（複数回答）



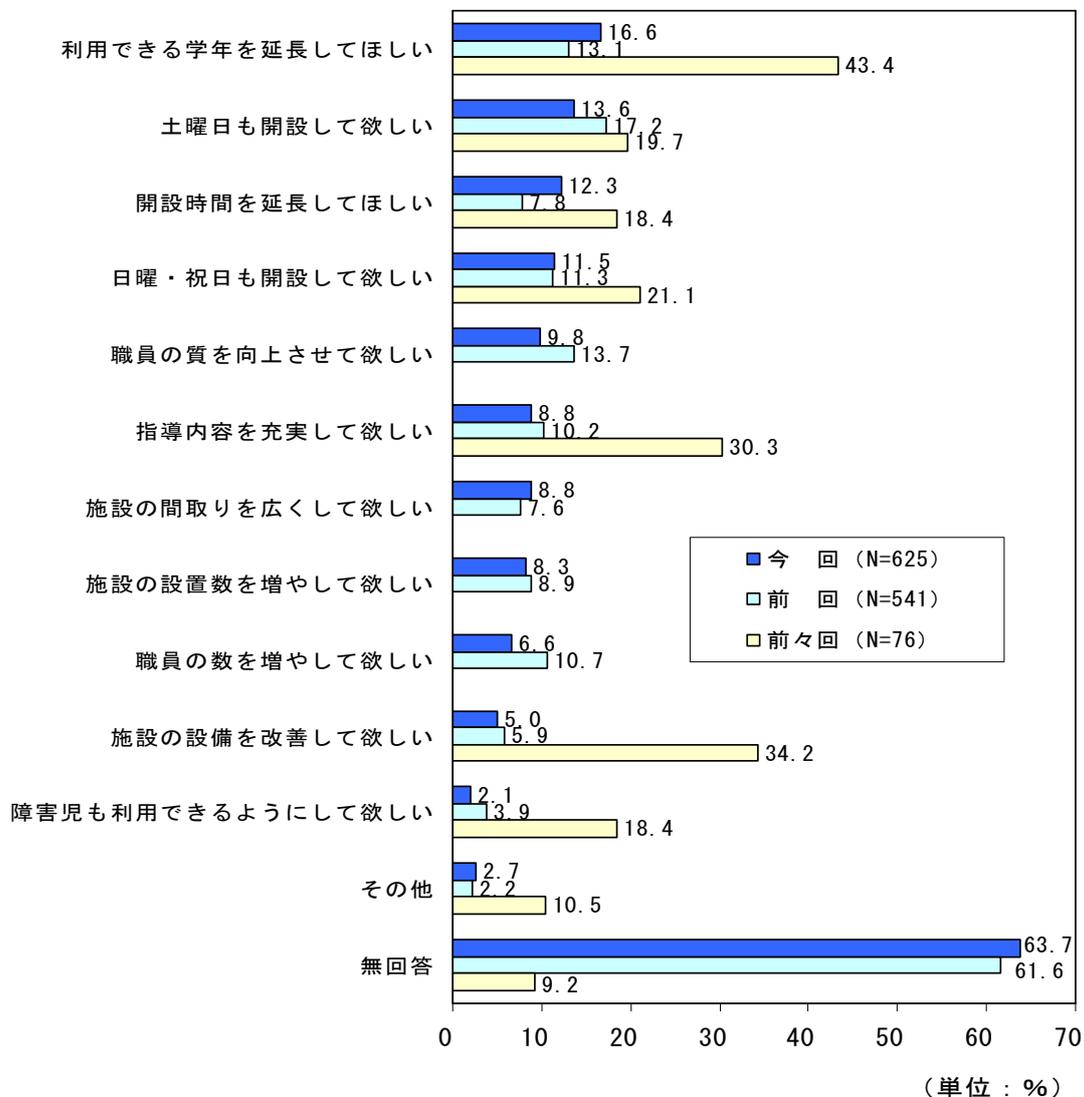
(6) 学童保育について

問 54 学童保育を利用している方（または、していた方、する予定の方）にお聞きします。あなたは学童保育に対して、どのようなことを望みますか？次の中から、希望する番号にすべて○印を付けてください。

子どもを持つ 625 人を対象に、学童保育に対する希望を尋ねたところ（複数回答）、「利用できる学年を延長してほしい」の割合が 16.6%と最も高く、次いで「土曜日も開設して欲しい」が 13.6%、「開設時間を延長してほしい」が 12.3%と続いている。

前回調査と比較しても、大きな異同はない。

学童保育について（複数回答）



(7) 各種子育て支援サービスについて

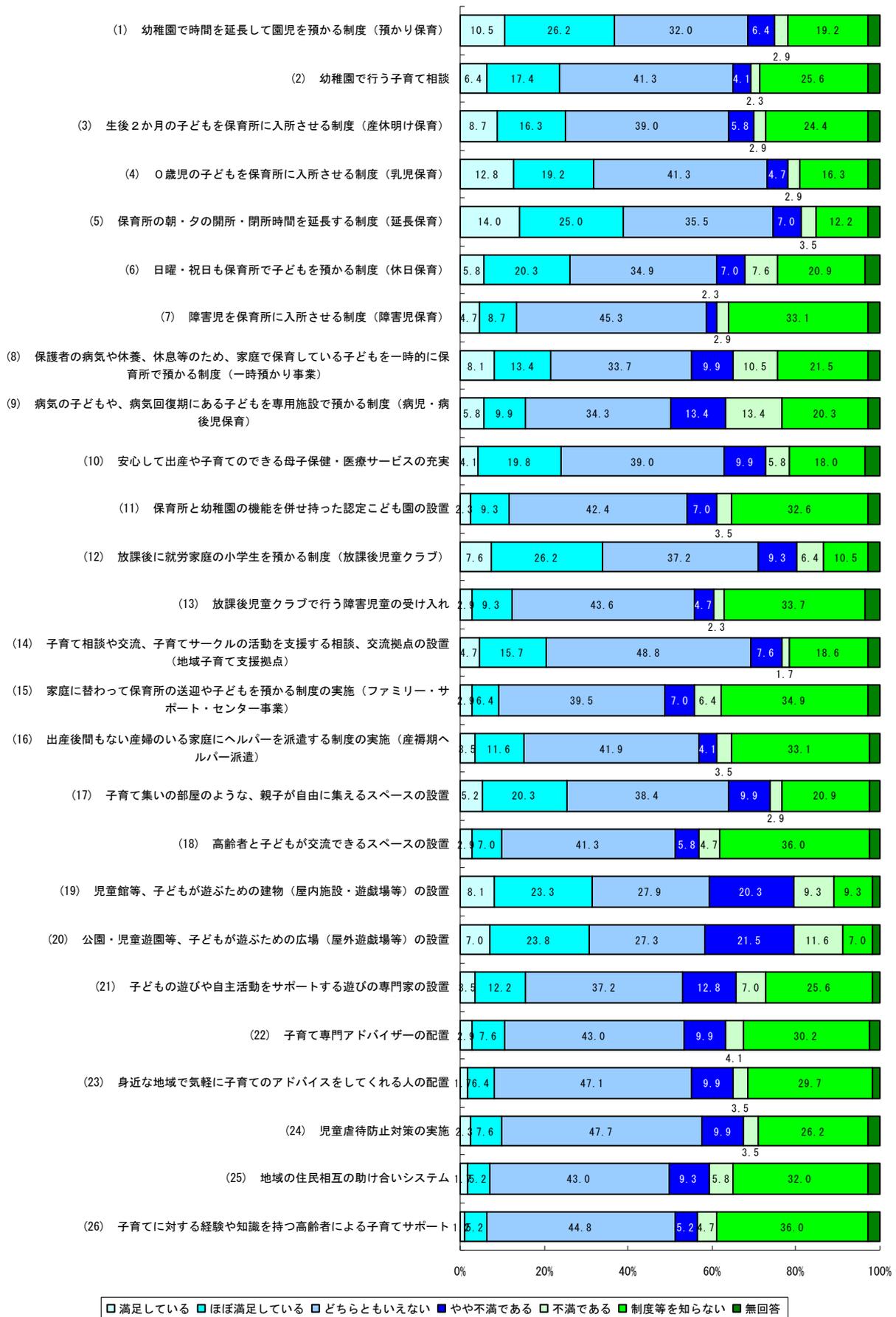
①各種子育て支援サービスに対する満足度

問 55 子育て支援の対策として、次の(1)～(27)について、それぞれの項目について、あなたの考えに当てはまる番号に1つだけ○印を付けてください。

子どもを持つ625人を対象に、各種子育て支援サービスに対する満足度を尋ねたところ、『満足している』または『ほぼ満足している』の割合が最も高かった項目は、「保育所の朝・夕の開所・閉所時間を延長する制度（延長保育）」（満足している：14.0%、ほぼ満足している：25.0%）となっており、次いで「幼稚園で時間を延長して園児を預かる制度（預かり保育）」（同10.5%、26.2%）、「放課後に就労家庭の小学生を預かる制度（放課後児童クラブ）」（同7.6%、26.2%）と続いている。

逆に、『やや不満である』または『不満である』の割合が最も高いのは、「公園・児童遊園等、子どもが遊ぶための広場（屋外遊戯場等）の設置」（やや不満である：21.5%、不満である：11.6%）となっている。

各種子育て支援サービスに対する満足度



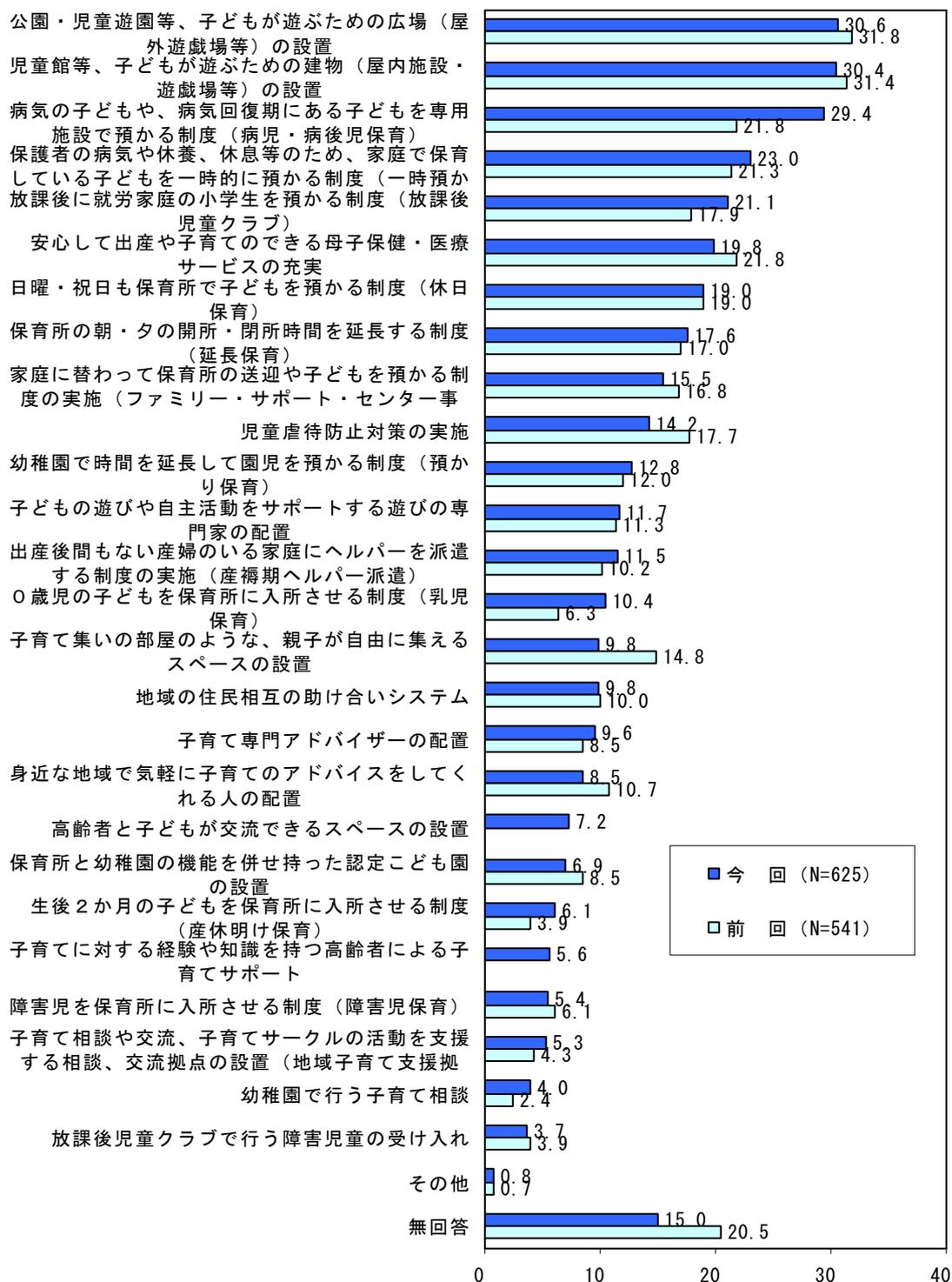
②特に取り組みを進めて欲しい子育て支援サービス

問 56 問 55 の中で、特に取り組みを進めてほしいものはどれですか？ 5 つまで選び(1) から (27) までの番号でお答えください。

子どもを持つ 625 人を対象に、前問の子育て支援サービスのうち、特に取り組みを進めて欲しい支援サービスは何かを尋ねたところ(5 つまでの複数回答)、「公園・児童遊園等、子どもが遊ぶための広場(屋外遊戯場等)の設置」の割合が 30.6%と最も高く、次いで「児童館等、子どもが遊ぶための建物(屋内施設・遊戯場等)の設置」が 30.4%、「病気の子どもや、病気回復期にある子どもを専用施設で預かる制度(病児・病後児保育)」が 29.4%と続いている。

前回調査と比較しても、大きな異同はない。

特に取り組みを進めて欲しい子育て支援サービス（複数回答）



（単位：％）

8. 自由意見（一部意見を抜粋し掲載）

問 57 最後に、すべての方にお聞きします。

新潟県の少子化社会における子育て環境づくりについて、これからのことも含めて御意見や御要望がありましたら、御自由にお書きください。

新潟県の少子化社会における子育て環境づくりについての意見・要望等を求めたところ、400人以上の方々から貴重な回答をいただいた。ここでは、その中からいくつかの意見を抜粋して掲載した。

[子育て支援全般に関すること]

- 保育料が高すぎる。もし払えない方には分割で支払える制度をつくってほしい。公園も新しい所は出来ているが昔からある所は草がたくさんはえていたり遊具もサビれていて遊ばせにくいので改善してほしい。高齢者のオムツ券があるように、赤ちゃんのいる家庭にもオムツ券を配布してほしい。(女性、35～39歳、会社員)
- 私が第1子を出産した10年前に比べると子育て支援の状況がずっと良くなっています(育児休業の延長ができる、短時間勤務ができる、子育て支援センターの充実など)。おかげで第3子も出産することができました。感謝しています。しかし、やはり困るのが子供が病気になった時。病児保育の充実も大事だと思いますが、急な欠勤の時でも大きな影響ないくらいの勤務者が確保できる雇用体制になれば、休みやすいし、職場の雰囲気も良くなります。そのためには事業主への補助?など必要と思いますが、子供が小さい、病気しやすい時期に環境が整っていれば働き続けることができ、労働世代が活気づいて、少子高齢化に対応できる社会になっていくと思います。(女性、35～39歳、会社員)
- 母子家庭に対する行政の対応はかなり手厚くなされているのは感じるが、父子家庭にはかなり厳しいのが現場だと思う。男・女の違いはあると思うが、父子家庭にも、育児、教育しやすい対応を希望します。(男性、45～49歳、会社員)
- いくら制度を良くしても、会社の子育てに対する考えは、上司や、同僚により、異ってくる。社会全体がもっと子育てにあたたかい気持ちを持ってほしい。子供がいると、母親の負担が大きくなり、父親がもっと、協力できる社会を作ってほしい。子供手当の増額、医療費の軽減をしてほしい。(女性、35～39歳、会社員)
- 働いている母が多いだけに、そちらの支援ばかり考えている気がします。自由に外出できない子育て中(3才位まで)の専業主婦はツライのです。「早く社会復帰したいから、もう産まない」そんな方も多いと思います。視点を変えて、専業主婦でいられる方、働きに出る事ができない方に、手厚く支援してもう1人産んでもらえたら?その為には、毎日2～3時間でも単独で自由に動ける時間が必要です。そんな保育サービスを望みます。(女性、40～44歳、パート・臨時職員)

[ワーク・ライフ・バランスに関すること]

- 私は育児休業を1年もらえましたが、同じ職場内で、(女性ばかりの職場なのですが)人により1年を希望していても1年以内しか取得できなかつたり、逆に1年以上(季節などにより)取得できたなど同じ職場でもバラバラのため不満があります。しかし、従業員が10名以下のため、きちんとした規則がなく、その時の状況で人により期間が違うため、同じ女性で同じ仕事をしているのに納得いかない方も多いと感じています。また、事業主からハッキリとやめてくれとは言われないが、1年希望していても1年未満に仕

事復帰出きないならこちらの方も考えさせてもらう等のことがあったこともあり、10名以下の事業所でも全ての女性が平等に産休、育休を取得できる環境づくりをしていただきたいと思います。事業主の考え方なのかもしれませんが、きちんとした規則を作らなければならないことを啓発してもらいたいです。(女性、30～34歳、会社員)

- 10歳未満の子供を持っている人は、就業時間を夕方の6時までにするなど、すれば、少しは家庭の時間が増えて2人目、3人目となるかもしれない。(女性、30～34歳、その他)
- 毎日帰りが遅い為、子供が生まれても子育てができるか心配です。(男性、35～39歳、会社員)
- 新潟県だけに限らず、働く女性が子どもを持つと思えるような環境づくり(会社の意識・経済的な助け等)が必要だと思います。(女性、25～29歳、会社員)
- 女性が働きやすいようにしてほしい。男性が子育てに積極的になれるよう、男性の職場も育児休暇などがとりやすいようになるといいのではないか。若い母親(近所に頼れる親などがいない方)の子育て相談を市町村が積極的に行動をおこしてほしい。助けてあげてほしい時もあると思います。(男性、45～49歳、公務員)
- 現在、幼稚園に長女を通わせています。まわりにも、仕事をしながら幼稚園に通わせている人も増えてきて、「幼稚園の子供の母親=仕事をしていない」という考えは古くなってきたようです。「保育園に通わせるほどまでいなくても、幼稚園に入れたまま、仕事をしたい」という人はとても多いと思います。私もそう思います。でも、「働きたいけれど、子供はどうしよう…」と考えると、子供がいながら働くことは、なぜこんなにハードルが高いのだろう、と思うことが多いです。少しでもいいから働きたい、という母親はたくさんいます。子供がいても、働くことを難しいと思わない社会になると良いなと思っています。(女性、30～34歳、専業主婦)

[医療に関すること]

- 医療助成について、所得制限をなくし、中学生まで通院を無料化して欲しいです。(女性、45～49歳、公務員)
- 昔に比べたら、子どもの医療費が530円になったり、良くなった点もあるとは思いますが、働き盛り世代の収入の低さや、教育格差などの現状をみると、低所得者には子育てが厳しい時代だだと思います。学校も、昔のように週6日制にして塾などに行かなくてもいいようになったり、国レベルでの対策も是非お願いしたいです。ちなみに以前はさいたま市にいたのですが、子どもの医療費は通院も入院も無料でした。新潟県でもそうになってくれたらいいなと思います。子育て広場や、子どもの健診は、以前いた所よりも、とても充実していて、とても満足しています。1歳を過ぎた後も3歳まで半年ごとに健診を受けられるのは他県の友達からもうらやましがられます(歯科健診となっても、全体のことをみてくれるし、相談員さんもいて不安な事が聞けて安心です)。(女性、30～34歳、専業主婦)
- 小児科、産婦人科をとり止める病院数が増加している。幼稚園、保育所に入れないう待機児童の問題などのニュースを見るたび、出産、育児で満足なサービスを受けられないのではないかと不安が募り、子供がほしいという気持ちがどんどん小さくなっています。特に医療サービスの縮小については、深刻な問題だと考えます。県には、医師の確保、休日・夜間での受診、などの医療面での充実を強くお願いしたいです。(男性、35～39歳、会社員)

[経済的支援に関すること]

- 子育てはお金がかかることなので、様々の面において費用の軽減と助成をしてほしいです。(女性、30～34歳、パート・臨時職員)
- 他県にも比べて、色々と遅れている面があると思います。特に新潟市外の地方市は特に！我が家は、子供も2人大きくなっていますが、それでも高校、大学にはお金がかかり過ぎます。今さらどうなるかわかりませんが、もう少し、低所得の家は本当にたいへんです。母子家庭の家より正直苦勞しています。低所得家庭にもう少し何か期待したいものです。(男性、45～49歳、会社員)
- 子どもを増やしたいなら、出産費用の無料化。住民税の大幅な軽減。幼稚園、保育園の無料化。子供を持つ親はできるだけ子供と過ごす時間を増やしたいと思っているが、経済的な理由で仕事についている。出来る事なら、父母どちらかの収入のみで暮らせればよいが、難しい。保育園、幼稚園の定員が少なく預ってもらえない。無職の60歳以上の家族がいると保育園には入れてもらえない。出来ない事が多く、子供を産みたいという選択にまでむすびつかない。子供を産む、産みたいが、(私自身)お金の問題が大半だと思う。大好きな新潟の未来のために良い対策をお願いします。(女性、30～34歳、公務員)
- 少子化対策として、出産一時金を増額していますが、増額した以上に医療費があがったり、全然効果がないと思います。そういった現実でおきていることを、理解しているのか非常に疑問です。少子化対策は、1にも2にも、家計の問題が全てだと思います。そういった援助が充実するのであれば、もう一人子供をとる人が多いはずだと思います。(男性、35～39歳、会社員)
- 金銭的な負担が大きいので、子どもの数を抑えている家庭が多いと思います。高齢化社会において、今後、高齢者を支えるためには、子どもを増やすことが必要なのに、子どもを持つ家庭に対する金銭的援助は少なすぎると思います。教育費、税制面の負担を援助すべきだと思います。未婚又は子どものいない家庭と、子どもがいる家庭とでは、将来の国家を考えると大きな違いがあるのだから、いろんな面で子どもがいる家庭を援助する体制、制度が必要。(男性、35～39歳、公務員)
- 出産費用等の軽減。子供はたくさんほしいですが子供＝お金がかかる、というイメージで自分的にも余裕がなく産んだ後もかなり不安です。(女性、25～29歳、パート・臨時職員)
- ひとり親家庭なので、収入が少ないです。18歳まで児童扶養手当等があり大変助かりました。今は大学生になり、ますますお金がかかります。やはり、いちばんありがたいのは経済的支援だと思います。大学を卒業するまで、経済的援助を受けられたら…と日々感じております。考え方が甘いかもしれませんが、よろしく願いいたします。(女性、40～44歳、会社員)
- 教育費が高すぎて困っています。高校、大学、専門学校への教育費の軽減。学生の交通費等。(女性、45～49歳、パート・臨時職員)

[結婚に関すること]

- 独身でいる人がとても多いです。結婚して、子育てををするという意識(希望)がない人もいます。縁がなく、結婚できない人もいます。せめて、縁がない人には、きっかけとして何か紹介制度などがあるとよいと思います。20代ではなく、30後～40代の人に多い。でも結婚しても少子化は変わらないかもしれませんが。(男性、35～39歳、公務員)
- やはり、結婚するにも、妊娠しようと思う気持ちも、きっかけが必要だと感じます。一時金が出るとか、何かあれば、より多くの人に関心を示すのではないかと思います。普

段、制度や、支援の情報が入ってこないの、関心がある人にしか情報は入りません。なのでもう少し、情報の発信があるといいと思います。(女性、25～29歳、会社員)

- 結婚したいのに、出会うきっかけがなく悩んでいる人、出会っても、どう付き合っているのか不安に思っている人がまわりにたくさんいるのが、とてももったいないと感じています。出会いの場、その後のサポートなどが充実してくれるとありがたいです。もっと、いろんな企画を定期的で開催していただくと(そのような企業の応援などでも可)いいと思います。まずは成婚率を上げる。もちろん、その後の子育て支援も大事だと思います。今は、共働きが当り前の時代になっていますから、いかに母(女性)の負担を取り除けるかだと思います。(女性、30～34歳、会社員)

[保育所等に関して]

- 1人目の出産の時パート勤めだったのですが、出産の為、退職しました。パートだから、正社員ではないので、出産後の復帰はできません。パートでも復帰ができるとありがたいです。子供の具合が悪くなった時に面倒を見るのは母親の私であり、夫も仕事、おじいちゃん、おばあちゃんも仕事なので、私が見るほかありません。でも、私も仕事があり、仕事に穴をあけられない時に子供の具合が悪くなると、調整するのにひと苦労です。私の市町村には病気のときに見てくれる施設がありません。1つあると助かります。(女性、35～39歳、その他)
- 保育園の数が足りない・・・(受け入れられる子どもの人数が少なすぎる)特に市内中心部の保育園はどこもいっぱい…これからパート(仕事)をしたいと思っているのに預ける場所がない…保育の内容が市立と私立では多少ちがうと思うので、やはり私立が人気で空きがない…色々な保育園を見学したが、子どもを行かせたいと感じた園はどこもいっぱいなので、仕事をあきらめます。(女性、35～39歳、専業主婦)
- 仕事と子育てが両立できる環境整備が重要だと思います。特に病児保育等の充実を望みます。(女性、45～49歳、公務員)
- 子どもを預ける施設は、現在4月でないと入園できないがもっと流動的に、別の月でも預けられるようにしてほしい。新潟県の待機児童は少ないが、希望の施設に預けられているかという、そうでないと思う。需要に応じてもっと柔軟に対応してほしい。男性の育児休暇取得を推進する取り組みを行ってほしい。雰囲気づくり、取得事例を増やして、父親の育児休暇取得があたりまえの社会にしてほしい。(女性、25～29歳、公務員)
- 病児保育の受け入れがまだ不十分だと思います。私の住んでいる地域にはないので、早期の充実が進められるとよいと思います。保育料も、育児休業取得中は収入が減るのに仕事をしている時と同額で支払うのはかなりの負担でした。もう一人欲しくても、上の子供達で更に金額がかかるのに、保育料が同額であるとかかなり厳しいと思います。改善されると少子化対策につながると思います。また、保育園で預かってもらっていますが、産休に入ると同時に16:00までに必ず迎えを、と言われました。色々用事や家事、出産の準備等あるのに、延長はやめて下さい、というのはどうかと思います。それも、他の市町村や保育園によって対応が違っており、特に産後の里帰り中も早めの迎え、と言われて心苦しかったです。子供と触れ合う時間は大事ですが、ある程度保育園の対応も柔軟にして頂けると子育てしやすい環境になるのではと思います。(女性、30～34歳、会社員)
- 学童保育の施設が狭いので、もう少し広い場所だと子供達ものびのび遊べると思います。現在、学童保育は3年生までですが、我が家は共働きで帰りも遅い方なので、4年生以降帰宅後家に一人でいる時間が心配です。勤務先が遠いので、18:30までに迎えに行く

のがやっつです。都会ほどニーズはないかもしれませんが、もう少し時間を延長していただけると助かります。核家族・共働きで、勤務先が遠いという人はそうたくさんいないかもしれませんが。各町内にある公民館で高齢者を含む大人達と一緒に過ごすというのもいいと思います。(女性、45～49歳、会社員)

- 保育園での未満児受入れがとても厳しい状況で、出産しても途中入園できないです。生後3ヶ月から入園できるときいても、出産月によって募集が終了していっぱいです。と断られてしまいます。育休をとっても、仕事の席を必ず確保できているのか不安ばかりで、子供を産めません。生後3ヶ月から入園できる未満児保育を(できれば2ヶ月から)増やして欲しいです。(男性、35～39歳、会社員)
- 働きたいと思った時に、子供の年齢にかかわらず、預けられる保育園があったらいいと思います。実際、働こうと考えましたが、保育園の空きがなく、手続き等も面倒なので、断念しました。もし、2人目、3人目を出産する事になったら、低料金でサポートしてもらえるサービスがあったら良いと思います。(女性、30～34歳、専業主婦)
- とにかく保育料を下げしてほしい。今、妊娠中であつわりがあつて仕事を辞めてしまって主人の収入だけで、共働きだった時の保育料を払うのがとても大変です。また働き始めたら、その時払えなかった保育料の差額を払うなどの対策があればすごく助かります。(女性、25～29歳、専業主婦)
- 認可された保育園はあるが、無認可で、自由のきく保育園がないのが残念です。親も一人になりたい時があるし、預ける先がなければ、そういう所を頼るしかないのに、例えば週3(月・水・金)預けたりして、月額2万円とか、うまく好きに曜日や時間を決められる保育園がほしいです。(女性、30～34歳、専業主婦)
- 保育所、幼稚園、小学校の子ども1人に対する職員の数をもっと増やしてもらいたい。職員が増えないのは、給料が安いからだと思う(特に、臨時・パート職員)。(男性、40～44歳、会社員)

[その他]

- 若い人達が地元で働き、学べる場が増えればおのずと、少子化にも歯止めがかかるのではないかと思います。(女性、45～49歳、その他)
- 東京の大学を出て地元に戻って来たくても就職先がない。「雇用拡大」が第一条件。(男性、20～24歳、学生)
- 子供がいる方にとって良い社会になっていますが、私の周りには、男性でも臨時職員、契約社員が多く、収入もかなり少ないです。しかも将来も不安定なので、家庭を持つことが難しい状況です。女性に対しての雇用状況の改善(育休、産休など)より、男性の生活を安定させた方が良いのでは?産休、育休に関しても、人員が少ない会社では、残る社員の負担を考えると、新規社員を雇った方が良いと思います。育休をとり、一人が長く勤めるよりも若い人へ職を譲る意味でも、退職した方が良いと思います。(女性、40～44歳、その他)
- 様々な子育て支援サービスがあるにも関わらずその情報を知らない為に悩む人も多いと思います。出産前の妊婦検診や出産後の新生児検診等でこういった制度を説明していただくと良いと思います。(女性、40～44歳、パート・臨時職員)
- 地域で子育てをサポートできる支えあいの仕組みを推進してほしい。(男性、45～49歳、会社員)
- 子育てに不安な事があつたりした時の相談の場をたくさん作つたらいいと思います。(女性、45～49歳、パート・臨時職員)

- 不妊治療に対して経済的援助を強化して頂きたい。年齢制限はおかしい。(男性、40～44歳、会社員)
- 子どもを持たない女性が増え、職場での「お互い様」という感覚が薄れてきている。安心して子どもを生める環境と同時に子どもを持つことはすばらしい、という価値観ももう一度見直されるべきだと思う。また、不妊治療も早めのスタートが大切なので、もっと意識啓発に取り組んでほしい。(女性、40～44歳、公務員)
- 子供に虐待などのニュースがたくさんありますが虐待に至らなくても配偶者の仕事などで帰りや休みがなく、母親の負担は大きなものがあります。ぜひとも母親のリフレッシュの時間を作る場、子育てに疲れている親の発散の場、意見交換の場を作って頂きたい。(保育有りでも可)あと、新潟市の「はぐはぐ」で子供の発達相談をしたことがあります。結局は子供の発達による遅れではなく、母親の育児疲れで余裕がなく子供にガミガミ言ってしまい、子供が落ち着きがなくなったり、さわいだりしていることがわかった。「はぐはぐ」に来ていた母親たちは専門家の先生にアドバイスをもらいに来るというよりは同じ悩みを持つ親と会話することが大切だったようだ。親の余裕次第で子も変わる！(女性、30～34歳、専業主婦)
- 共働き(フルタイム)中です。土曜日も仕事で、休日は1日のみ。私達の子供は、かなりの人達の手を借りて、育てています。とにかく、家で一人で留守番をする時間をどう少なくするかばかり考えて、人を頼ってきました。今の時代、子供のあずかりが、19:00までは女性達、特にフルタイムでは無理があります。何とか、20:00まで。また、お腹がすくと不安になりますので、おにぎり程度の軽食があると助かります。また、学童もです。別に学童でなくても、小学6年生までは、部活が無理であれば何でもよいので、子供達を学校においていただく方法があれば、親は一人での留守番の時間が短くなって安心できます。休む(育休)という方法と、責任のある仕事で休めない方達のための方法、2つから考えていただけると助かります。(女性、40～44歳、農林漁業以外の自営業・会社経営)

(参 考 資 料)

県民アンケート 調査票

問4 あなたのご職業はなんですか？

(複数の職業をお持ちの方は、最も収入の多いものに1つだけ○印を付けてください。)

1. 会社員
2. 公務員
3. パート・臨時職員
4. 農林漁業
5. 農林漁業以外の自営業・会社経営
6. 学生
7. 専業主婦 (夫)
8. 無職
9. その他 (具体的に: _____)

問5 あなたは現在、結婚していますか？あるいはこれまでに結婚していたことがありますか？当てはまる番号に1つだけ○印を付けてください。

1. 現在結婚している
2. かつて結婚していたが、
現在は独身である
3. 未婚である

問6 あなたは、どなたと同居していますか？次の中から、当てはまる番号に1つだけ○印を付けてください。

1. ひとり暮らし
2. 配偶者 (あるいは、パートナー)
3. 配偶者 (あるいは、パートナー)・子ども
4. 配偶者 (あるいは、パートナー)・子ども・親
5. 子ども
6. 親
7. 子ども・親
8. その他 (具体的に: _____)

問7 子どもを何人お持ちですか？次の中から、当てはまる番号に1つだけ○印を付けてください。

1. 1人
2. 2人
3. 3人
4. 4人
5. 5人以上
6. いない

問8 子どもをお持ちの方にお聞きします。あなたの子どもの年齢は、次のどの項目に当てはまりますか？ すべての子どもについて○印を付け、□に人数をご記入ください。

- | | |
|-----------------|----|
| 1. 3歳未満 | □人 |
| 2. 3歳～就学前 | □人 |
| 3. 小学生（1年生～3年生） | □人 |
| 4. 小学生（4年生～6年生） | □人 |
| 5. 中学生 | □人 |
| 6. 高校生 | □人 |
| 7. その他 | □人 |

【子育てや子どもに関することをお聞きします（全員の方がお答えください。）】

問9 あなたは、子育てを楽しい、または将来、子どもをお持ちになった場合に楽しそうだと感じていますか？ 次の中から、当てはまる番号に1つだけ○印を付けてください。

1. とても楽しい（とても楽しそうだ）
2. 楽しい（楽しそうだ）
3. どちらでもない
4. あまり楽しくない（楽しそうでない）
5. 全然楽しくない（全然楽しそうでない）

問10 子どもがいる生活で良いと思う、または将来、子どもをお持ちになった場合に良さそうだと思うのはどんなことですか？ 次の中から、当てはまる番号にすべて○印を付けてください。

1. 家庭が明るく楽しい
2. 精神的な安らぎが持てる
3. 生活に張り合いができる
4. 親としての喜びや楽しみが得られる
5. 子育てを通じて自分が成長する
6. 夫婦の結びつきが強くなる
7. 子どもを通じて交流が強くなる
8. わからない
9. 特にない
10. その他（具体的に： _____)

問11 実際に出産するかは別として、あなたの理想としては全部で何人の子どもが欲しいと思いますか？ あるいは、思いましたか？ 次の中から、当てはまる番号に1つだけ○印を付けてください。

- | | | | |
|---------|------------|----------|-------------|
| 1. 1人 | 2. 2人 | 3. 3人 | 4. 4人 |
| 5. 5人以上 | 6. 特に希望はない | 7. わからない | 8. 子どもはいらない |

問12 それでは、実際には子どもが何人ですか、あるいは何人持てそうですか？ これから出産されるご予定も含めて、全部で何人になりそうか、次の中から、当てはまる番号に1つだけ○印を付けてください。

1. 0人 2. 1人 3. 2人 4. 3人
5. 4人 6. 5人以上 7. わからない

問13 問12でお答えの人数が、問11でお答えの人数よりも少ない方にお聞きします。
(それ以外の方は、問14へお進みください。)

実際に持てそうな子どもの人数が、欲しいと思う子どもの人数より少ないのはなぜですか？ 次の中から、当てはまる番号にすべて○印を付けてください。

1. 仕事や趣味を優先したいから
2. 仕事と子育ての両立が難しいから (仕事が忙しく、子育ての時間がとれないから)
3. 結婚が遅かったから
4. 年齢的に妊娠・出産が難しいから
5. 配偶者やパートナーとの関係を大切にしたいから
6. 配偶者やパートナーが子どもを欲しがらないから
7. 妊娠・出産が大変だから
8. 健康上の理由で妊娠・出産が難しいから
9. 不妊治療にお金がかかるから
10. 出産費用等の経済的負担が大きいから
11. 小児医療費等の経済的負担が大きいから
12. 育児休業期間中の所得保障が不十分だから
13. 子どもの数に応じた手当等による経済的援助が不十分だから
14. 保育所や幼稚園の保育料にお金がかかるから
15. 義務教育に対する教育費にお金がかかるから
16. 高等学校教育に対する教育費にお金がかかるから
17. 大学教育に対する教育費にお金がかかるから
18. 子どもの預け先がないから
19. 育児が大変だから
20. 育児に自信がないから
21. 子どもが苦手だから
22. 子育てに対する男性の参画が得られず、女性の負担が大きいから
23. 少ない子どもに手をかけて育てたいから
24. 育児に家族の協力が得られないから
25. 育児の社会的支援体制が不十分だから
26. 公園や道路の安全対策などが不安だから
27. 住宅がせまいから
28. その他 (具体的に： _____)

問14 次の子育て支援策について、もしその支援策がとられたら、あなたは子どもが欲しいと思いますか？ あるいは、欲しいと思う人数の子どもを持つとうとしますか？

次の(1)～(25)までの支援策それぞれについて、「持とうとする」か、「関係ない」のどちらかの番号を1つだけ選び、○印を付けてください。

	持とうとする	関係ない
(1) 男女ともに就業時間を短縮し、男女共同による家庭生活ができる環境づくり	1	2
(2) 育児休業期間中の賃金保障の充実	1	2
(3) 育児休業期間の延長	1	2
(4) 子育てに理解のある職場環境の整備	1	2
(5) 出産後・育児休業後の待遇保障	1	2
(6) 育児休業復帰後の職場のサポート体制	1	2
(7) 出産退職などの雇用慣行の見直し	1	2
(8) 出産一時金や祝い金等の支給	1	2
(9) 出産や育児などに関する相談・指導の充実	1	2
(10) 子育て等（子どもの成長・発達、家族のことなど）に関する専門相談機関の（告知等を含めた）充実	1	2
(11) 子育て相談や交流等を行う地域子育て支援拠点（地域子育て支援センターや子育てひろば）の充実	1	2
(12) 必要な人が必要な時に便利な場所で、保育が受けられる環境の整備	1	2
(13) 保育所や幼稚園の保育料の軽減	1	2
(14) 学童保育（放課後児童クラブ）や一時的に子どもを預かってくれる公共施設の整備	1	2
(15) 病気の子どもや、病気回復期にある子どもを専門施設で預かる制度の充実	1	2
(16) 身近な地域で子育てのサポートを得られる環境の整備	1	2
(17) 子どもの数に応じた手当による経済的支援の充実	1	2
(18) 税負担の軽減	1	2
(19) 出産費用の助成	1	2
(20) 小児医療費の助成	1	2
(21) 教育費用の軽減	1	2
(22) 受験競争の解消など、ゆとりある教育の実現	1	2
(23) 遊びの場の確保、ゆったりおおらかに育てられる環境の整備	1	2
(24) 住宅費用の支援	1	2
(25) 子育てを社会的・経済的に評価する社会の実現	1	2

問15 問14で「持とうとする」とお答えの支援策のうち、あなたが最も重視するものはどれですか？ 特に重視する支援策の番号を3つまで選び、(1)から(25)の番号でお答えください。

問21 あなたが育休を取得する（または、した、する予定）際に、どのような事への不安がありますか（ありましたか）？ 次の中から、当てはまる番号にすべて○印を付けてください。

1. 育児休業前の仕事・配属場所に戻るかどうか
2. 仕事のことで職場に大きな迷惑をかけていないかどうか
3. 復帰後、仕事にすぐ慣れることができるかどうか
4. 休業していた期間の仕事の変化などに対応できるかどうか
5. 自分自身が生活のリズムの変化に対応できるかどうか
6. 復帰後、子どもが保育所等預ける場所や人に慣れてくれるかどうか
7. 復帰後、保育所への迎えに間に合うかどうか
8. 復帰後、子どもが病気になった時の対応をどうするか
9. その他（具体的に： _____)
10. 不安はない

問22 あなたが育休を取得した際、育休中の生活をどのように感じましたか？ 次の中から、最も当てはまる番号に1つだけ○印を付けてください。

1. 子どもと一緒にいられて楽しかった
2. 育児が苦痛だった
3. 仕事のことが気がかりで早く復帰したかった
4. 経済的な不安を感じた
5. その他（具体的に： _____)

問23 問19で「9. 取得しない」とお答えの方にお聞きます。育児休業を申請しないのはなぜですか？ 次の中から、理由として当てはまる番号にすべて○印を付けてください。

1. 制度があっても、申請しにくいから
2. 経済的に困難になるから
3. 職場復帰後の処遇が心配なため
4. 家族の理解がないから
5. 自分自身がスムーズに職場復帰できるかどうか心配なため
6. 取得期間の仕事の進行状況が心配なため
7. 職場の同僚に迷惑をかけるから
8. 子どもをしてくれる親がいるから
9. 配偶者が育児休業を取るから
10. 仕事を優先したいから
11. 経済的な保障がないから（収入を確保したいから）
12. 子どもとだけで家にいたくないから
13. 出産を契機に退職し、子育てに専念したいから
14. その他（具体的に： _____)

問 24 あなたは、社会的に育児休業制度が推進されるようになるためには、どのような条件を整備することが必要だと思いますか？ 次の中から、必要だと思う項目の番号にすべて○印を付けてください。

1. 職場における管理職の理解
2. 職場における同僚の理解
3. 家族の理解
4. 休業期間中の経済的保障
5. 職場復帰後の処遇改善
6. 職場復帰の際の研修
7. 育児休業を推進する事業主への経済的支援
8. 育児休業を推進する事業主の公開や表彰
9. 育児休業を推進しない事業主への罰則規定
10. その他（具体的に： _____)
11. 今のままでよい

【仕事と家庭生活についてお聞きします。（子どもをお持ちの方はお答えください。）】

※子どもをお持ちでない方は、問 40 へお進みください。

問 25 あなた自身の仕事（仕事・趣味・その他ご自身のやりたいこと）と、家庭生活（家事・育児）のバランスについて、あなたが希望するスタイルはどれですか？ 次の中から、当てはまる番号に1つだけ○印を付けてください。

1. 仕事に専念したい
2. 家庭生活にも関わっているが、仕事などを優先させたい
3. 仕事と家庭生活を両立させたい
4. 仕事も行うが、家庭生活を優先させたい
5. 家庭生活を優先させたい

問 26 あなた自身の仕事（仕事・趣味・その他ご自身のやりたいこと）と、家庭生活（家事・育児）のバランスについて、次の中から、当てはまる番号に1つだけ○印を付けてください。

1. 仕事に専念している
2. 家庭生活にも関わっているが、仕事などを優先させている
3. 仕事と家庭生活を両立させている
4. 仕事も行うが、家庭生活を優先している
5. 家庭生活を優先している

問 27 あなたは、自身の仕事（仕事・趣味・その他ご自身のやりたいこと）と家庭生活（家事・育児）のバランスについて、どのように感じていますか？ 次の中から、当てはまる番号に1つだけ○印を付けてください。

1. 満足している
2. どちらかといえば満足している
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば不満である
5. 不満である

問 28 あなたまたは配偶者がお勤めになっている方にお尋ねします。お勤めになっている方のもとのふれあい時間は勤務日にどのくらい欲しいですか？ 次の中から、当てはまる番号に1つだけ○印を付けてください。

※夫婦ともにお勤めの場合、あなたにとって当てはまる番号に1つだけ○印を付けてください。

1. 30分未満
2. 30分以上1時間未満
3. 1時間以上2時間未満
4. 2時間以上3時間未満
5. 3時間以上4時間未満
6. 4時間以上

問 29 あなたまたは配偶者がお勤めになっている方にお尋ねします。お勤めになっている方のもとのふれあい時間は勤務日にどのくらいありますか？ 次の中から、当てはまる番号に1つだけ○印を付けてください。

※夫婦ともにお勤めの場合、あなたにとって当てはまる番号に1つだけ○印を付けてください。

1. 30分未満
2. 30分以上1時間未満
3. 1時間以上2時間未満
4. 2時間以上3時間未満
5. 3時間以上4時間未満
6. 4時間以上

問 30 あなたは、子どもとふれあう時間が十分にあると感じていますか？ 次の中から、当てはまる番号に1つだけ○印を付けてください。

1. 満足している
2. どちらかといえば満足している
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば不満である
5. 不満である

問 31 あなたと配偶者（あるいは、パートナー）との家事・育児分担について、どのようになって
いますか？ 次の中から、当てはまる番号に1つだけ番号に○印を付けてください。

1. 女性が行っている
2. 女性を中心となって行っているが、男性も手伝う
3. 半分ずつ分担して行っている
4. 男性を中心となって行っているが、女性も手伝う
5. 男性が行っている
6. 配偶者（あるいは、パートナー）はいない

問 32 あなたは、家事・育児に対して負担を感じていますか？ 次の中から、当てはまる番号に1つだけ○印を付けてください。

1. 非常に感じている
2. 少し感じている
3. どちらでもない
4. あまり感じていない
5. 全然感じていない

問 33 あなたは、あなたの配偶者（あるいは、パートナー）との家事・育児の分担に満足していま
すか？ 次の中から、当てはまる番号に1つだけ○印を付けてください。

1. 満足している
2. どちらかといえば満足している
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば不満である
5. 不満である
6. 配偶者（あるいは、パートナー）はいない

問 34 自分が希望する時間の取り方のために必要だと思うことはなんですか？ 次の中から、当て
はまる番号に3つまで○印を付けてください。

1. 育児休業や短時間勤務など、仕事と家事・育児を両立するための制度が整備されること
2. 職場の雰囲気が変わること
3. 育児休業や短時間勤務といった制度の利用が、キャリアにおけるハンデとならないこと
4. 再雇用制度や子育て中（後）の就労支援を充実すること
5. 仕事のやり方が変わること
6. 仕事の量が少なくなること
7. 保育所など仕事と子育てを両立するための施設が整備されること
8. 配偶者が家事・育児などに参加すること
9. 行政が子育ての大切さや楽しみなどの啓発を行うこと
10. 行政が子育てに優しい企業に支援を行うこと
11. ゆとりある教育の推進を行うこと
12. その他（具体的に： _____)

【子育てへの支出についてお聞きします。(子どもをお持ちの方はお答えください)】

※子どもをお持ちでない方は、問 40 へお進みください。

問 35 あなたの家庭全体での1年間の収入をお聞かせください。次の中から、当てはまる番号に1つだけ○印を付けてください。

※ ご夫婦両方に収入がある場合は合算した金額でお答えください。また、ご夫婦以外のご家族の収入は含めないでください。

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 200万円未満 | 5. 800万円～1,000万円未満 |
| 2. 200万円～400万円未満 | 6. 1,000万円以上 |
| 3. 400万円～600万円未満 | 7. 答えたくない |
| 4. 600万円～800万円未満 | |

問 36 あなたは、子育てのために、月にどのくらい支出していますか？

円

問 37 あなたは子育て費用の負担について、子どもをお持ちになる前に思っていた負担感と比べて、どのように感じていますか。次の中から、当てはまる番号に1つだけ○印を付けてください。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 非常に重く感じる | 4. あまり重く感じない |
| 2. 少し重く感じる | 5. 全然重く感じない |
| 3. どちらともいえない | |

問 38 あなたは、子育て費用が家計に占める割合についてどのように感じていますか？ 次の中から当てはまる番号に1つだけ○印を付けてください。

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. もっと子育てにお金をかけたい | 4. もう少し子育てのお金を減らしたい |
| 2. もう少し子育てにお金をかけたい | 5. もっと子育てのお金を減らしたい |
| 3. ちょうどよい | |

問 39 子育て等に対する経済的支援対策として、行政に対してどのような制度を望みますか？ 当てはまる番号に3つまで○印を付けてください。

1. 不妊治療に対する経済的援助の充実
2. 出産に対する経済的援助の充実
3. 育児休業期間中の所得保障の充実
4. 子ども数に応じた手当による経済的援助の充実
5. 小児医療費助成の増額や期間延長
6. 子育て世代に買い物カードを発行し協賛店から割引を受ける制度の実施
7. 保育所や幼稚園の保育料の軽減
8. 義務教育に対する教育費の軽減
9. 高等学校教育に対する教育費の軽減
10. 大学教育に対する教育費の軽減
11. その他(具体的に: _____)

【未婚、または現在独身(離婚、死別などを含む)の方にお聞きします】

※結婚されている方は、問 43 にお進みください。

問 40 あなたは、結婚についてどのようなお考えをお持ちですか？ 次の中から、最も当てはまる番号に1つだけ○印を付けてください。

1. 結婚したい
2. どちらかといえば結婚したい
3. どちらかといえば結婚したくない
4. 結婚したくない
5. 特に何も考えていない

問 41 あなたが現在、未婚または独身でいるのはなぜですか？ 次の中から、理由として当てはまる番号に3つまで○印を付けてください。

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1. 年齢がまだ若いから | 11. 結婚生活に自信がないから |
| 2. 必要を感じないから | 12. 従来 of 結婚形態がいやだから |
| 3. 相手が見つからないから | 13. 異性に興味がないから |
| 4. 仕事(学業)が忙しいから | 14. 家族の世話をする必要があるから |
| 5. 仕事(学業)に打ち込みたいから | 15. 結婚するのが面倒だから |
| 6. 自由さや気楽さを失いたくないから | 16. 相手の都合 |
| 7. 健康上・身体的な理由 | 17. 子どもとだけの生活がいいから |
| 8. 職がないから | 18. 今のままで生活していけるから |
| 9. 給与が少ない、または不安定だから | 19. その他 (具体的に： _____) |
| 10. 住居の問題 | 20. 特別な理由はない |

問 42 結婚したい人が結婚できるような環境を整えるためには、行政や企業がどのような取り組みを行うことが望ましいと思いますか。次の中から、当てはまる番号に2つまで○印を付けてください。

1. 出会いの場(婚活イベントなど)の創出
2. 結婚紹介所等 of 入会金補助
3. 結婚サポーター(出会いを支援するボランティア)の活動支援
4. 結婚が望ましいと思える気運の醸成
5. 福利厚生制度 of 充実(結婚祝金、結婚休暇など)
6. 住宅費用 of 支援
7. 結婚一時金(市町村 of 制度など)
8. その他(具体的に： _____)

【子どもをお持ちの方にお聞きします】

***子どもをお持ちでない方は、問57（自由意見）へお進みください。**

◆以下の設問は、中学生以上など、大きい子どもをお持ちの方には答えにくい内容もありますが、子どもが小さい当時を思い出してお答えください。

問43 あなたは、子育てに関して、特に不安に思っていることや悩んでいることがありますか？
あるいはありましたか？ 次の中から、当てはまる番号にすべて○印を付けてください。

1. 子育ての仕方がわからない
2. 子どもの発達や成長に心配がある
3. 子どもが好きになれない
4. 子育てによる身体の疲れが大きい
5. 自分の自由な時間が持てない
6. 夫（妻）が協力してくれない
7. 夫（妻）以外の家族が協力してくれない
8. 子育てについて相談できる人が身近にいない
9. 子どもが病気の時の対処に不安がある
10. 子育てで出費がかさむ
11. 子育てと仕事の両立が難しい
12. 住居がせまい
13. 特に不安や悩みはない
14. 随分前のことなので、忘れた
15. その他（具体的に： _____)

問44 あなたは普段、子育てに関する知識や情報をどこから得ていますか？ 次の中から、当てはまる番号にすべて○印を付けてください。

1. テレビ・ラジオ
2. 新聞
3. 雑誌・情報誌
4. 市町村や保健所の広報誌・パンフレット
5. 子育て講座・育児教室
6. 育児書
7. インターネット
8. 親・配偶者・兄弟姉妹・親戚
9. 友人・知人
10. 近所の人
11. 子育てサークル
12. 保育所・幼稚園・学校
13. 地域子育て支援拠点（地域子育て支援センターや子育てひろば）
14. 子育て等（子どもの成長・発達、家族のことなど）に関する専門相談機関
15. その他（具体的に： _____)
16. 特になし

問 45 あなたは、子育てに関するどのような情報が欲しいと思いますか？ あるいは思いましたか？ 次の中から、当てはまる番号にすべて○印を付けてください。

1. 子育ての具体的な方法に関すること
2. 子どもの発育・発達に関すること
3. 子どものけがや病気に関すること
4. 子どものしつけや教育に関すること
5. 子どもを預かってくれる保育所・幼稚園などの施設について
6. 子どもの遊び場について
7. 子育ての体験談
8. 親同士の交流の場に関すること
9. 育児等の相談機関
10. その他（具体的に： _____)
11. 特に欲しい情報はない

問 46 あなたは、育児のことや子どものことで悩みや相談ごとがある時、日ごろはどなたに相談していますか？ あるいは、していましたか？ 次の中から、主に相談している人（していた人）の番号に3つまで○印を付けてください。

- | | |
|-----------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 配偶者 | 11. 保育所の保育士 |
| 2. 自分の親 | 12. 幼稚園や学校の教員 |
| 3. 配偶者の親 | 13. 子育てサークルの仲間 |
| 4. 自分の兄弟姉妹 | 14. 職場の上司や先輩 |
| 5. 配偶者の兄弟姉妹 | 15. 病院の母親学級や乳幼児健診で知り合った人 |
| 6. 以前からの友人 | 16. 市役所のマタニティ学級や
赤ちゃん相談会等で知りあった人 |
| 7. 近所の人 | 17. 近所の公園で知り合った人 |
| 8. かかりつけの医療機関の医師や看護師 | 18 その他（具体的に： _____) |
| 9. 役所等、行政の相談窓口 | 19. 特にいない |
| 10. 地域子育て支援拠点（地域子育て支援センターや子育てひろば） | |

問 47 子どもが病気になった時、主にどなたが看病しますか？ 次の中から、最も当てはまる方の番号（1～6は、子どもにとっての続柄で）に1つだけ○印を付けてください。

- | | |
|-------------|----------------------|
| 1. 母親 | 7. 友人 |
| 2. 父親 | 8. 近所の人 |
| 3. 母親方の祖父母 | 9. ファミリー・サポート・センター |
| 4. 父親方の祖父母 | 10. 病児・病後児保育施設 |
| 5. 母親方の兄弟姉妹 | 11 その他（具体的に： _____) |
| 6. 父親方の兄弟姉妹 | |

問 51 あなたが希望する保育所の朝の開所時間と夕方の閉所時間のそれぞれについて、当てはまる番号に1つずつ○印を付けてください。

- (1) 朝、開所する時間
1. 午前6時29分以前から
 2. 午前6時30分から6時59分
 3. 午前7時から7時29分
 4. 午前7時30分から7時59分
 5. 午前8時以降
- (2) 夕方、閉所する時間
1. 午後4時59分以前
 2. 午後5時から5時29分
 3. 午後5時30分から5時59分
 4. 午後6時から6時29分
 5. 午後6時30分から6時59分
 6. 午後7時から7時29分
 7. 午後7時30分から7時59分
 8. 午後8時から8時29分
 9. 午後8時30分から8時59分
 10. 午後9時から9時29分
 11. 午後9時30分から9時59分
 12. 午後10時以降

問 52 現在、通っている保育所（または、今後通う予定、過去に通っていた保育所）の開所時間は、あなたの就労時間等、希望する実態と合っていますか？ または、合っていましたか？ 開所時間、閉所時間のそれぞれについて、最も当てはまる番号に1つずつ○印を付けてください。

- (1) 開所時間
1. 出勤時間に十分間に合う時間である（であった）
 2. 出勤時間にぎりぎり間に合う時間である（であった）
 3. 出勤時間に間に合わない時間である（であった）
- (2) 閉所時間
1. 退社時間後、迎えに行くのに十分間に合う時間である（であった）
 2. 退社時間後、迎えに行くのにギリギリ間に合う時間である（あった）
 3. 退社時間後、迎えに行くのには間に合わない時間である（であった）

問 53 あなたは保育所に対して、どのようなことを望みますか？ 次の中から、希望する番号にすべて○印を付けてください。

1. 開所時間を早くしてほしい
2. 開設時間を延長してほしい
3. 3歳未満児保育の受入児童数を増やして欲しい
4. 土曜日も開設して欲しい
5. 日曜・祝日も開設して欲しい
6. 障害児保育を充実して欲しい
7. 病児・病後児保育を実施して欲しい
8. 保育内容を充実して欲しい
9. 保育士の数を増やして欲しい
10. 保育士の質を向上させて欲しい
11. 保育所の数を増やして欲しい
12. 施設の間取りを広くして欲しい
13. 施設の設備を改善して欲しい
14. その他（具体的に： _____)

問 54 学童保育（放課後児童クラブ）を利用している方（または、していた方、する予定の方）にお聞きします。あなたは学童保育に対して、どのようなことを望みますか？ 次の中から、希望する番号にすべて○印を付けてください。

1. 開設時間を延長してほしい → □時□分まで
2. 利用できる学年を延長してほしい → □年生まで
3. 土曜日も開設して欲しい
4. 日曜・祝日も開設して欲しい
5. 障害児も利用できるようにして欲しい
6. 指導内容を充実して欲しい
7. 職員の数を増やして欲しい
8. 職員の質を向上させて欲しい
9. 施設の設置数を増やして欲しい
10. 施設の間取りを広くして欲しい
11. 施設の設備を改善して欲しい
12. その他（具体的に： _____)

問 55 子育て支援の対策として、次の(1)～(27)について、それぞれの項目について、あなたの考えに当てはまる番号に1つだけ○印を付けてください。

子育て支援サービス		満足している	ほぼ満足している	どちらともえない	やや不満である	不満である	制度等を知らない
(1)	幼稚園で時間を延長して園児を預かる制度 (預かり保育)	1	2	3	4	5	6
(2)	幼稚園で行う子育て相談	1	2	3	4	5	6
(3)	生後2か月の子どもを保育所に入所させる制度 (産休明け保育)	1	2	3	4	5	6
(4)	0歳児の子どもを保育所に入所させる制度 (乳児保育)	1	2	3	4	5	6
(5)	保育所の朝・夕の開所・閉所時間を延長する制度 (延長保育)	1	2	3	4	5	6
(6)	日曜・祝日も保育所で子どもを預かる制度(休日保育)	1	2	3	4	5	6
(7)	障害児を保育所に入所させる制度 (障害児保育)	1	2	3	4	5	6
(8)	保護者の病気や休養、休息等のため、家庭で保育している子どもを一時的に保育所で預かる制度(一時預かり事業)	1	2	3	4	5	6
(9)	病気の子どもや、病気回復期にある子どもを専用施設で預かる制度 (病児・病後児保育)	1	2	3	4	5	6
(10)	安心して出産や子育てのできる母子保健・医療サービスの充実	1	2	3	4	5	6
(11)	保育所と幼稚園の機能を併せ持った認定こども園の設置 ※1	1	2	3	4	5	6
(12)	放課後に就労家庭の小学生を預かる制度 (放課後児童クラブ)	1	2	3	4	5	6
(13)	放課後児童クラブで行う障害児童の受け入れ	1	2	3	4	5	6
(14)	子育て相談や交流、子育てサークルの活動を支援する相談、交流拠点の設置(地域子育て支援拠点)	1	2	3	4	5	6

※1 認定こども園は、保護者の就労の有無によらず同一施設に預けたいというニーズや、保育と教育を同時に受けたいというニーズにも対応している施設で、県内では、現在26か所の設置となっております。

子育て支援サービス		満足している	ほぼ満足している	どちらともえない	やや不満である	不満である	制度等を知らない
(15)	家庭に替わって保育所の送迎や子どもを預かる制度の実施（ファミリー・サポート・センター事業）	1	2	3	4	5	6
(16)	出産後間もない産婦のいる家庭にヘルパーを派遣する制度の実施（産褥期ヘルパー派遣）	1	2	3	4	5	6
(17)	子育て集いの部屋のような、親子が自由に集えるスペースの設置	1	2	3	4	5	6
(18)	高齢者と子どもが交流できるスペースの設置	1	2	3	4	5	6
(19)	児童館等、子どもが遊ぶための建物（屋内施設・遊戯場等）の設置	1	2	3	4	5	6
(20)	公園・児童遊園等、子どもが遊ぶための広場（屋外遊戯場等）の設置	1	2	3	4	5	6
(21)	子どもの遊びや自主活動をサポートする遊びの専門家の配置	1	2	3	4	5	6
(22)	子育て専門アドバイザーの配置	1	2	3	4	5	6
(23)	身近な地域で気軽に子育てのアドバイスをしてくれる人の配置	1	2	3	4	5	6
(24)	児童虐待防止対策の実施	1	2	3	4	5	6
(25)	地域の住民相互の助け合いシステム	1	2	3	4	5	6
(26)	子育てに対する経験や知識を持つ高齢者による子育てサポート	1	2	3	4	5	6
(27)	その他 (具体的に：)	1	2	3	4	5	6

問 56 問 55 の中で、特に取り組みを進めて欲しいものはどれですか？ 5つまで選び（1）から（27）までの番号でお答えください。

--	--	--	--	--

問 57 最後に、すべての方にお聞きします。

新潟県の少子化社会における子育て環境づくりについて、これからのことも含めて御意見や御要望がありましたら、御自由にお書きください。

以上で、アンケートは終わりです。お忙しいところ、ご協力いただき、誠にありがとうございました。

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れて、9月13日(金)までにご投函ください。

お手数をおかけしますが、よろしく申し上げます。

発行・編集 新潟県福祉保健部児童家庭課

新潟市中央区新光町4番地1

025-280-5215 (直通)
